

壹錢	赭色
貳錢	綠色
參錢	濃青色
四錢	橙黃色
五錢	紫色
拾錢	深紅色

第三條 印紙ハ藥品ノ容器又ハ包紙等ニ貼用シ營業者ニ於テ之ヲ消印スヘシ
但印紙面ノ中心ヨリ他所ニ掛ケ消印スヘシ

第四條 「賣藥」印紙ハ官ノ許可シタル賣捌所ニ限り賣捌クモノトス

第五條 營業者ニシテ無印紙ノ藥品ヲ發賣シタル者ハ貳圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處シ印紙不足ノ藥品ヲ發賣シタル者ハ二圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 請賣者行商者ニシテ無印紙ノ藥品ヲ所持シ若クハ之ヲ販賣シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ印紙不足ノ藥品ヲ所持シ若クハ之ヲ販賣シタル者ハ貳圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 貼用印紙ニ消印セサル者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 印紙賣捌所ノ外ニ於テ印紙ヲ賣捌ク者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其品ヲ沒收ス
其情ヲ知リテ之ヲ買受ケタル者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其品ヲ沒收ス

(印紙貼用雛形略之)

●收入印紙明治三十一年七月 勅令第四百十號

朕收入印紙ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

證券印紙、煙草印紙、訴訟用印紙、賣藥印紙、登記印紙ヲ貼用スヘキ場合ニハ自今一樣ノ收入印紙ヲ用ウヘシ其ノ形式ハ大藏大臣之ヲ定ム但シ從來ノ證券印紙、煙草印紙、訴訟用印紙、賣藥印紙、登記印紙ハ當分ノ内收入印紙ニ代へ使用スルコトヲ得

●印紙ヲ以テ手数料ヲ納ムルノ件明治二十四年十二月 勅令第二百四十五號

朕登記印紙ヲ以テ手数料ヲ納ムルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

政府ニ納ムヘキ手数料ハ其金額ニ相當スル「登記印紙」ヲ以テ納メシムルコトヲ得但其種目ハ主務大臣之ヲ定ム

本令ハ明治二十五年四月一日ヨリ施行ス

●收入印紙賣下方明治三十二年三月 勅令第五十號

朕收入印紙賣下ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

郵便切手ノ賣下ヲ爲ス郵便及電信局所並郵便切手賣下所ニ於テ收入印紙ノ賣下ヲ爲スコトヲ得其ノ賣下ニ關スル規程ハ遞信大臣之ヲ定ム

●印紙税法 明治三十二年三月 法律第五十四號

沿革畧記

明治六年二月第五十六號布告ヲ以テ諸證文印紙貼用規則ヲ制定ス●七年七月第八十一號布告ヲ以テ前令ヲ廢シ更ニ證券印紙規則ヲ制定ス●八年七月第二十號布告ヲ以テ人民ヨリ各廳ニ差出ス受負並約定筋ニ涉ル書類ニ證券印紙界紙ノ用法モ本則ニ據ラシム●十七年五月第十一號布告ヲ以テ前令ヲ改正ス●三十二年三月法律第五十四號ヲ以テ印紙税法ヲ定メ證券印紙規則ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル印紙税法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

印紙税法

第一條 財産權ノ創設、移轉、變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書、帳簿及財産權ニ關スル追認若ハ承認

ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙稅ヲ納ムヘシ

第二條 證書ニ關シテハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限リ記載金高一萬分ノ五ノ割合ヲ以

テ印紙稅ヲ納ムヘシ但シ印紙稅額五十圓トナルトキハ五十圓ニ止メ一錢未滿トナリ又ハ一錢未滿ノ

端數ヲ生スルトキハ一錢ニ切上クルモノトス

金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價格ノ單位又ハ其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコ

トヲ得ルモノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

第三條 (三十四年法律第十

六號ヲ以テ削除)

第四條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ下ニ定ムル所ノ印紙稅ヲ納ムヘシ (三十四年法律第十六號ヲ以テ條中追加)

- 一 委任狀 印紙稅一錢
- 一 爲替手形 印紙稅二錢
- 一 約束手形 印紙稅二錢
- 一 銀行預金證書 印紙稅二錢
- 一 船荷證券 印紙稅二錢
- 一 運送貨物引換證 印紙稅二錢
- 一 倉荷預證券 印紙稅二錢
- 一 倉荷質入證券 印紙稅二錢
- 一 保險證券 印紙稅二錢
- 一 株券 印紙稅二錢
- 一 債券 印紙稅二錢
- 一 株式申込證 印紙稅二錢
- 一 地上權、永小作權、地役權ニ關スル證書 印紙稅二錢
- 一 使用貸借、賃貸借、雇傭、寄託、定期金ニ關スル契約證書 印紙稅二錢
- 一 定款及組合契約書 印紙稅二錢
- 一 權利ノ變更ニ關スル證書 印紙稅二錢
- 一 追認、承認ニ關スル證書 印紙稅二錢

- 一 物品切手 印紙税二錢
 - 一 賣買仕切書 印紙税二錢
 - 一 送狀 印紙税二錢
 - 一 受取書 印紙税二錢
 - 一 金高記載ナキ證書 印紙税二錢
 - 一 擔保品差入證書、擔保品預證書 印紙税二錢
 - 一 通帳 印紙税二錢
 - 一 判取帳 印紙税二十錢
- 第五條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ印紙税ヲ納ムルコトヲ要セス
- 一 官廳又ハ公署ヨリ發スル證書、帳簿
 - 一 官廳又ハ公署ニ職ヲ奉スル者ノ職務上發スル證書、帳簿
 - 一 國庫金ノ取扱ニ關シ發スル證書
 - 一 慈善又ハ公共事業ノ爲ニスル金員物件ノ寄附ニ關シ人民ヨリ官廳若ハ公署ニ提出スル證書
 - 一 俸給、給料、歳費、手當金、賞與金、年金、恩給金、扶助料、旅費及救恤金ノ受取書
 - 一 小切手
 - 一 金高五圓未満ノ爲替手形、約束手形
 - 一 營業ニ關セサル受取書

- 一 金高五圓未満若ハ金高記載ナキ送狀、受取書又ハ賣買仕切書
 - 一 主タル債務ノ證書ニ併記シタル擔保契約
 - 一 證券ノ裏書及手形ノ裏面ニ記載シタル受取書
 - 一 株券、債券ノ讓渡ヲ證明スヘキ裏面記載
 - 一 手形ノ引受、保證
 - 一 手形及證券ノ拒絕證書
 - 一 手形及證券ノ複本、謄本
- 第六條 印紙税ハ證書、帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ印紙税額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納付シテ税印ノ押捺ヲ受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得(三十四年法律第十六號ヲ以テ條中創除)
- 第七條 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス
- 第八條 證書ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載スルトキハ内國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ
- 第九條 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケテ證書又ハ帳簿作成者ノ印章又ハ署名ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ
- 第十條 印紙ヲ貼用スヘキ帳簿、賣買仕切書、送狀ハ當該官吏之ヲ検査スルコトアルヘシ
- 第十一條 證書、帳簿ニ相當印紙ヲ貼用セス又ハ第六條但書ニ依リ税印ノ押捺ヲ受ケサル者ハ脱税高二十倍ノ科料又ハ罰金ニ處ス

第十二條 第十條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第十三條 第九條ニ違背シタル者ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
 第十四條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪、減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用弗ス

附則

第十五條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス
 第十六條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス
 第十七條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ニ依ル手形用紙ニシテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此ノ法律施行後ニ於テ仍之ヲ使用スルコトヲ得但シ手形用紙記載ノ税金高以上ニ之ヲ使用セムトスルトキハ其ノ不足額ハ印紙ヲ貼用シテ之ヲ補足スヘシ

●印紙類賣下賣捌規則明治二十三年十一月 勅令第二百七十一號

沿革略記 明治十五年十二月第二十七號布達ヲ以テ印紙賣捌手續ヲ定ム●十七年四月第九號布達ヲ以テ前令ヲ廢止シ印紙賣捌規程ヲ定ム●十九年六月大藏省令第二十一號ヲ以テ前令ヲ廢止シ印紙類賣下賣捌規則ヲ定ム●二十三年十一月勅令第二百七十一號ヲ以テ前令ヲ廢止更ニ印紙類賣下賣捌規則ヲ定ム

朕印紙類賣下賣捌規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

印紙類賣下賣捌規則 第一條 此規則ニ依リ賣下又ハ賣捌ヲ爲スヘキ印紙類ハ左ノ如シ
 證券印紙手形用紙共

二十三年大藏省令第三十四號ヲ以テ施行細則ヲ定ム

「煙草印紙」
 登記印紙
 賣藥印紙
 訴訟用印紙

第二條 各府縣ニ左ノ印紙類賣捌人ヲ置ク
 元賣捌人
 府縣廳ヨリ印紙類ヲ拂受ケ之ヲ其管内ニ於ケル賣捌人ニ賣渡スモノトス

賣捌人
 元賣捌人ヨリ印紙類ヲ買受ケ之ヲ各需用者ニ賣捌クモノトス

第三條 賣捌人ハ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ許可スヘシ但本條第三ニ該當スル者ハ三箇年以内ノ期限ヲ定メ許可スルモノトス
 一 陸海軍人其他公務ノ爲メニ受ケタル傷痍又ハ疾病ヲ以テ法律ニ依リ恩給ヲ受クル者
 二 法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者
 三 一般人民

第四條 印紙類賣捌ヲ爲サントスル者ハ「府縣廳」ニ願出許可ヲ受クヘシ
 第五條 (三十二年勅令第百八十條ヲ以テ本條削除)

第六條 印紙類ノ賣下ハ其額面ニ對シ百分ノ七以内ノ割引ヲ爲スヘシ

第七條 印紙類ハ其代金納付ノ上之ヲ下渡スヘシ

印紙類ノ賣下代金一回貳千圓以上ハ公債證書ヲ抵當トナシ六箇月以内ノ延納ヲ許スコトヲ得

第八條 元賣捌人及賣捌人ハ左ノ場合ニ於テ印紙類額面ニ對シ百分ノ十以内ノ割引ヲ以テ交換又ハ買戻ヲ請求スルコトヲ得但交換印紙ハ拾錢以上取纏メタルモノニ限ル

一 印紙類損傷又ハ汚染シタルトキ

一 印紙不用ニ歸シタルトキ

第九條 印紙類賣捌ノ許可ヲ得タル者左ノ事項ニ該ルトキハ其効ヲ失フモノトス

一 恩給若ハ扶助料ヲ受クル者其權利消滅若ハ停止セラレタルトキ

一 賣捌區域外ニ移住スルトキ

第十條 印紙類ハ許可ヲ得タル場所ノ外ニ於テ賣捌クコトヲ得ス

印紙類ハ定價ヲ以テ需用者ニ賣捌クヘシ

前二項ノ規定ニ違フ者ハ印紙賣捌ノ許可ヲ取消スモノトス

第十一條 元賣捌人及賣捌人ノ配置並ニ第六條第八條ノ割引歩合其他此規則ニ關スル施行細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

附則

第十二條 此規則ハ府縣知事地方ノ實況ヲ量リ大藏大臣ノ認可ヲ經テ明治二十四年一月一日ヨリ漸次

之ヲ施行スヘシ

第十三條 此規則中印紙類ノ割引ニ關スル條項ハ此規則ノ施行ニ拘ラス來ル明治二十四年一月一日ヨリ施行ス

第十四條 明治十九年六月大藏省令第二十一號ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

第十五條 此規則ハ北海道沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ニハ之ヲ施行セス

●不用手形用紙處分明治三十二年三月 勅令第五十六號

朕不用手形用紙處分ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 印紙類元賣捌人又ハ賣捌人ノ所有スル不用ノ手形用紙ハ其ノ請求ニ依リ政府ニ於テ之ヲ買上又ハ印紙ト交換スヘシ

第二條 政府ハ所轄稅務管理局長ヲシテ前條ノ請求ヲ受理シ左ノ價格割合ニ依リ買上又ハ交換ヲ爲サシム

一 買上 手形用紙額面金額百圓ニ付金九十四圓ノ價格

二 交換 手形用紙額面金額百圓ニ付印紙額面金額百圓

第三條 印紙類元賣捌人及賣捌人間ニ於テハ前條ノ價格割合ニ依ラス任意ニ賣買交換スルコトヲ得

附則

第四條 本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

●清國及朝鮮國在留日本帝國臣民印紙賣捌規程明治二十六年一月 勅令第一號
 朕清國及朝鮮國在留日本帝國臣民印紙賣捌規程ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 清國及朝鮮國在留日本帝國臣民印紙賣捌規程

第一條 清國及朝鮮國在留日本帝國臣民ニシテ「訴訟用印紙」並ニ「登記印紙」ヲ賣捌カントスル者ハ其地ノ日本帝國領事館ニ願出許可ヲ受クヘシ
 第二條 前條ノ許可ヲ受ケタル印紙賣捌人ハ便宜各府縣印紙類元賣捌人ヨリ印紙ヲ買受ケ領事館ノ許可シタル區域内ニ於テ之ヲ各需用者ニ賣捌クモノトス
 第三條 印紙賣捌人ニハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外明治二十三年十一月勅令第二百七十一號印紙類賣下賣捌規則ヲ適用ス

●取引所税法明治二十六年三月 法律第六號

沿革略記 明治十一年九月第三十號布告ヲ以テ株式取引所稅額及納期ヲ定ム●十五年十二月第六十五號布告ヲ以テ米商會所株式取引所仲買人納稅規則ヲ定ム●十八年十一月第三十八號布告ヲ以テ前令ヲ廢シ更ニ米商會所並株式取引所收稅規則ヲ定ム●二十六年三月法律第六號ヲ以テ取引所稅法ヲ定ム
 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル取引所稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 取引所稅法 中略
 第一條 取引所ハ定期賣買ニ付左ノ割合ニ從ヒ稅金ヲ納ムヘシ

一 商品、有價證券 賣買各約定代金高 萬分ノ六箇
 一 國債及地方債證券 同 萬分ノ三箇

第二條 定期内ニ於ケル轉賣人ノ賣高及買戻人ノ買高ニ係ル稅金ハ之ヲ免除ス

第三條 賣買ヲ解約スルコトアルモ其ノ稅金ハ之ヲ免除セス

第四條 取引所ハ每一箇月分賣買取引ヲ爲シタル各約定代金高ヲ翌月五日迄ニ管廳ニ届出ヘシ

取引所稅額ハ前項ノ届出ニヨリ「地方長官」之ヲ定ム

第五條 取引所稅金ハ每一箇月分ヲ翌月二十日マテニ納ムヘシ

第六條 當該官吏ハ「地方長官」ノ命令ニ依リ隨時取引所並ニ會員仲買人ニ就キ其ノ賣買取引ニ關スル帳簿書類ヲ檢査スルコトアルヘシ

第七條 第四條ノ届出ヲ詐リ脫稅ヲ圖リ又ハ脫稅シタルトキハ取引所理事長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ仍取引所ヨリ其ノ脫稅ニ係ル金額ヲ徵收スヘシ

第八條 第四條ノ届出ヲ怠リタルトキハ理事長ヲ一圓以上一圓九十九錢以下ノ科料ニ處ス

第九條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用井ス

附 則

第十條 本法ハ取引所法實施ノ日ヨリ施行ス

●關稅法明治三十二年三月 法律第六十一號

●關稅法 明治三十二年三月 法律第六十一號

沿革略記

明治三年正月二十七日商船規則ヲ定メ免許ナク外國へ通船スルヲ禁ス●六年一月第八號布告ヲ以テ港内取締規則ヲ制定ス●七年十一月第百二十三號布告ヲ以テ前令ヲ廢シ更ニ國內回漕規則ヲ制定●八年二月第二十三號布告ヲ以テ外國形日本船輸出入稅未納内外貨物回漕規則ヲ定ム○同年十一月第百六十三號布告ヲ以テ七年第百二十三號布告國內回漕規則ヲ停止シ西洋形日本船各開港場出入規則ヲ定ム●九年十二月露領樺太島貿易當分船出入港手數料及輸出入物品稅ヲ免除ス●二十三年九月法律第八十號ヲ以テ總テ前令ヲ廢シ稅關法ヲ定ム○同年同月勅令第二百三號ヲ以テ稅關規則ヲ定ム●二十六年三月法律第十三號ヲ以テ宮津港ニ於テ露領浦鹽港等貿易ニ關スル船出入及貨物ノ積卸ヲ特許ス●二十七年五月法律第二號ヲ以テ伏木小樽兩港ニ於テ露領沿海州薩哈哩島及朝鮮國貿易ニ關スル船出入及貨物ノ積卸ヲ特許ス○同年同月法律第三號ヲ以テ琉球國那霸港ニ於テ清國貿易ニ關スル船出入及貨物ノ積卸ヲ特許ス●三十二年三月法律第六十一號ヲ以テ稅關法ヲ定メ二十三年法律第八十號同年勅令第二百三號二十六年法律第十三號二十七年法律第二號及第三號ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル關稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

關稅法

- 第一章 關稅ノ賦課及徵收
- 第二章 船舶
- 第三章 貨物
- 第一節 總則
- 第二節 輸出輸入及積戻
- 第三節 回漕
- 第四節 郵便物
- 第五節 收容

第十四章 稅關官吏ノ職權

第十五章 異議及訴願

第十六章 罰則

第十七章 犯則事件ノ調査及處分

第十八章 補則

關稅法

第一章 關稅ノ賦課及徵收

第一條 輸入貨物ニハ關稅定率法ニ依リ關稅ヲ課ス但シ條約ニ於テ特別ノ協定アル貨物ハ其ノ協定ニ依ル

通過ノ爲輸入スル貨物ニハ關稅ヲ課セス但シ輸入ノ際擔保トシテ税金ニ相當スル金錢其ノ他ノ有價物ヲ提供スヘシ

第二條 輸入貨物損傷シタル爲減稅ヲ請フ者アルトキハ輸入免許前ニ限リ相當ノ減稅ヲ爲スコトヲ得

第三條 關稅ハ輸入申告ノ日ニ於テ行ハルル法規ニ從ヒ徵收ス但シ保税倉庫ニ庫入シタル貨物ノ關稅ハ庫入申告ノ日、收容貨物ニシテ公賣ニ付スルモノノ關稅ハ公賣ノ日ニ於テ行ハルル法規ニ從ヒ徵收ス

第四條 關稅ハ輸入申告者ヨリ之ヲ徵收ス但シ逋脫ヲ圖リ又ハ逋脫シタル關稅ハ犯則者ヨリ之ヲ徵收

第五條 關稅未納ノ貨物ハ其ノ關稅ノ擔保トス

關稅ノ徵收ハ總テ他ノ公課及債權ニ先ツモノトス

第六條 擔保ヲ提供シタル場合ニ於テ徵收スヘキ關稅ヲ納付セサルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充ツ但シ金
錢以外ノ擔保ハ之ヲ公賣ニ付シ關稅及公賣ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ擔保提供者ニ還付ス

第七條 關稅ノ徵收權ハ貨物輸入ノ日ヨリ滿二箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因テ消滅ス但シ連脫ヲ
圖リ又ハ連脫シタル關稅ノ徵收權ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 關稅ノ過誤納ニ因テ生スル請求權ハ關稅納付ノ日ヨリ滿二箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因
テ消滅ス

第九條 前二條ノ期限内ニ爲シタル納稅告知若ハ仕拂請求ハ時効ヲ中斷ス

第二章 船舶

第十條 外國貿易船開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ稅關ニ入港届ヲ爲シ
積荷目録、艙口申告書、船用品目録及旅客氏名表ヲ提出スルト同時ニ船舶國籍證書及仕出港ノ出港
免狀若ハ之ニ代ルヘキ書類ヲ預クヘシ

第十一條 沿海通航船外國貨物船卸ノ爲開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ
其ノ貨物ノ積荷目録ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十二條 外國貨物ヲ積載セル船舶ハ稅關長ノ認許ヲ得タル場合ノ外積荷目録ヲ提出シタル後ニ非サ

レハ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品及郵便物ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 外國貿易船開港ヲ出港セントスルトキハ船長ハ稅關ニ出港届ヲ爲シ出港免許ヲ受クヘシ

第十四條 外國貿易船貨物ノ積卸ヲ爲サスシテ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ出港スルトキハ第十條及

第十三條ノ規定ヲ適用セス

第十五條 沿海通航船外國貨物ヲ積載シテ開港ヲ出港セントスルトキハ船長ハ其ノ貨物ノ積荷目録ヲ

稅關ニ提出スヘシ

前項ノ積荷目録ハ貨物ノ船卸ヲ爲スヘキ地ヲ異ニスル毎ニ之ヲ調製スヘシ

第十六條 積荷目録ハ其ノ提出ノ時ヨリ二十四時以内ニ限リ稅關ノ認許ヲ得テ之ヲ訂正補足スルコト
ヲ得

第十七條 外國貨物ヲ積載セル船舶ハ日没ヨリ日出迄ノ間及稅關ノ休日ニハ稅關長ノ特許ヲ受クルニ
非サレハ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品及郵便物ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 外國貿易船ハ不開港ニ出入スルコトヲ得ス但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アルトキハ此
ノ限ニ在ラス

外國貿易船前項但書ノ事故ニ因リ不開港ニ入港シタルトキハ船長ハ直ニ其ノ事由ヲ稅關官吏、稅關
官吏在ラサル時ハ警察官吏ニ届出ツヘシ

第十九條 左ニ掲クル外國貨物ヲ不開港ヨリ開港ニ回漕セントスル船舶ノ船長ハ稅關官吏、稅關官吏
在ラサルトキハ警察官吏ノ認許ヲ受クヘシ

- 一 假ニ陸揚シタル貨物
- 二 運航ノ自由ヲ得サル船舶ニ積載セル貨物
- 三 難破貨物

第二十條 前條ノ貨物ヲ積載シ來リタル船舶開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以
内ニ認許證ヲ税關ニ提出スヘシ

第二十一條 外國貿易船舶用品ヲ積入レントスルトキハ船長ハ税關、税關ノ設置ナキ地ニ於テハ税關
官吏、税關官吏在ラサルトキハ警察官吏ニ申告スヘシ

第二十二條 税關官吏職務ノ爲船舶ニ乗込ムトキハ船長ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第二十三條 本法ニ於テ外國貿易船舶稱スルハ外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶ヲ謂フ

第三章 貨物

第一節 總則

第二十四條 貨物ハ開港ニ由ルノ外輸出若ハ輸入ヲ爲スコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在
ラス

- 一 遭難船舶ノ終繕救援若ハ救助ノ費用其ノ他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲貨物ヲ
賣却スルトキ
- 二 遭難船舶ニ積載セル損傷貨物若ハ腐敗シ易キ貨物ヲ讓渡スルトキ
- 三 遭難船舶若ハ難破貨物ヲ輸入スルトキ

第四 遭難船舶ヨリ上陸シタル旅客ノ携帶品ヲ輸入スルトキ

第二十五條 貨物ノ検査ヲ開始シタル後ハ貨物ニ關スル申告書ノ訂正補足ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 日没ヨリ日出迄ノ間及税關ノ休日ニハ税關長ノ特許ヲ受ルニ非サレハ貨物ヲ税關ニ送致
シ又ハ貨物ノ引取發送ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 税關ニ送致シ若ハ陸揚シタル貨物ノ取扱ハ總テ税關長ノ指揮ニ從フヘシ

第二十八條 貨物ノ陸揚、船積其ノ他船舶ト陸地トノ交通ハ税關長ノ特許ヲ得タル場合ノ外税關ニ於
テ定メタル場所ニ由ルヘシ

第二十九條 輸出シタル貨物ハ外國貨物トシ輸入シタル貨物ハ内國貨物トス

第三十條 貨物ニ關スル本法ノ規定ハ船用品ニ之ヲ適用セス

第二節 輸出、輸入及積戻

第三十一條 貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲サントスル者ハ税關ニ申告シ貨物ノ検査ヲ經テ其ノ免許ヲ受ク
ヘシ但シ第二十四條但書ノ場合ニ於テハ税關官吏、税關官吏現場ニ在ラサルトキハ收税官吏ニ申告
シ其ノ検査及免許ヲ受クルコトヲ得

第三十二條 輸入申告書ニハ仕入書ヲ添付スヘシ但シ當該官吏ニ於テ仕入書ヲ添付スルコト能ハサル
理由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項但書ノ場合ノ外輸入申告書ニ仕入書ヲ添付セサルトキハ關稅ノ賦課ニ關シ異議ヲ申立テ若ハ訴
願ヲ提起スルコトヲ得ス

第三十三條 通過ノ爲貨物ノ輸入ヲ爲サントスルトキハ之ヲ輸出スヘキ地ヲ異ニスル毎ニ其ノ目錄ヲ提出スヘシ

第三十四條 輸入貨物ハ輸入免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ引取り若ハ通過ノ爲發送スルコトヲ得ス但シ當該官吏ノ認許ヲ得税金ノ擔保トシテ金錢ヲ提供シタルトキハ輸入貨物ノ引取り爲スコトヲ得

第三十五條 通過ノ爲輸入シタル貨物ノ運送ハ關稅通路ニ由ルヘシ關稅通路ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 運送人ハ通過貨物ニ關シ職務ヲ執行スル官吏ニ對シ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第三十七條 輸出貨物ハ輸出免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ船積スルコトヲ得ス

第三十八條 外國貨物ノ積戻ニハ總テ輸出ニ關スル規定ヲ準用ス但シ假ニ陸揚シタル貨物ノ積戻ハ此ノ限ニ在ラス

第三節 回漕

第三十九條 内外國貨物ヲ外國貿易船ニ又ハ外國貨物ヲ沿海通航船ニ積載シ開港間ニ回漕セントスル者ハ稅關ニ申告シ貨物ノ検査ヲ經テ回漕免許ヲ受クヘシ

第四十條 前條ノ回漕貨物ハ回漕免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ船積スルコトヲ得ス

第四十一條 第三十九條ノ回漕貨物船卸ヲ爲スヘキ地ニ到達シタルトキハ貨物ノ検査ヲ受クヘシ

第四節 郵便物

第四十二條 郵便物中關稅ヲ課スヘキ物品アルトキハ稅關ハ其ノ稅金額ヲ郵便局ヘ通知スヘシ

第四十三條 關稅ヲ課スヘキ郵便物ヲ受取ラントスル者ハ郵便局ニ申出テ其ノ關稅ヲ納付スヘシ

第四十四條 郵便物ノ關稅ハ郵便物ヲ名宛人ニ交付スル場合ノ外之ヲ課セス

第四十五條 第一條第二項但書、第二十四條、第二十六條、第三十一條乃至第三十五條及第三十七條乃至第四十一條ノ規定ハ郵便物ニ之ヲ適用セス

第五節 收容

第四十六條 船積ノ爲稅關ニ送致シ若ハ陸揚シタル貨物ハ其ノ送致若ハ陸揚ノ時ヨリ七十二時以内ニ引取、船積、發送又ハ保稅倉庫ニ庫入ヲ爲ササルトキハ稅關ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ヲ以テ之ヲ收容スルコトヲ得

第四十七條 貨物ヲ收容シタルトキハ三日以内ニ其ノ旨ヲ揭示スヘシ

第四十八條 貨物收容ノ解除ヲ得ントスル者ハ稅關ニ申告シ其ノ貨物ニ關スル一切ノ費用及敷料ヲ納メ免許ヲ受クヘシ

第四十九條 前條ノ免許ヲ受ケタル時ヨリ四十八時以内ニ貨物ノ引取、船積、發送又ハ保稅倉庫ニ庫入ヲ爲ササルトキハ前條ノ申告及免許ハ無効トス

第五十條 貨物收容ノ日ヨリ六箇月以内ニ第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ稅關ハ其ノ記號、番號、種類、箇數ヲ公告スヘシ

前項公告ノ日ヨリ一箇月以内ニ仍第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ貨物ヲ競賣ニ付シ關稅、敷

料其ノ他其ノ貨物ニ關スル一切ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ供託スヘシ
第五十一條 收容貨物腐敗ノ虞アルトキ又ハ倉庫若ハ他ノ貨物ヲ害スルノ虞アルトキハ前條ノ期限ニ
拘ラス公告シテ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ得但シ公告スルノ暇ナキトキハ競賣シタル後之ヲ公告スヘ
シ

第五十二條 收容貨物ヲ競賣ニ付スルモ買受人ナキトキハ適宜之ヲ處分スルコトヲ得

第四章 税關官吏ノ職權

第五十三條 税關長ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ト認ムルトキハ船車ノ出發ヲ差止メ又ハ進行ヲ停止スル
コトヲ得

第五十四條 税關長ハ必要ト認ムルトキハ船舶若ハ貨物ニ關スル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第五十五條 税關長ハ運送貨物ニ對シ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 税關長ハ必要ト認ムルトキハ輸出入貨物ノ見本ヲ納付セシムルコトヲ得

第五十七條 税關官吏ハ船車ニ乗込ミ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 税關官吏ハ必要ト認ムルトキハ貨物ヲ檢査若ハ封鎖シ又ハ船車倉庫其ノ他貨物ノ藏置場
ヲ封鎖スルコトヲ得

第五十九條 税關長ハ職權ノ執行ニ必要ト認ムルトキハ海軍ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第六十條 前條ノ請求アリタルトキハ海軍艦船長ハ船舶ニ對シ進行停止ノ命令ヲ爲スコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル船舶進行ヲ停止セサルトキハ海軍艦船長ハ其ノ船舶ニ對シ兵力ヲ用ウルコト
ヲ得

ヲ得

第五章 異議及訴願

第六十一條 關稅ノ賦課ニ關スル税關長ノ處分ニ對シ不服アル者ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以
内ニ文書ヲ以テ税關長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得但シ貨物ヲ引取リタル後ハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 前條ノ規定ニ依リ異議ノ申立アリタルトキハ税關長ハ文書ヲ以テ之ヲ判定シ異議申立人
ニ之ヲ交付スヘシ但シ第六十三條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條 從價稅ヲ課スヘキ貨物ノ課稅價格ニ關スル異議ヲ不當ト認ムルトキハ税關長ハ申告價格
ニ其ノ百分ノ五ヲ加ヘタル價格ヲ以テ其ノ貨物ヲ買上ルカ若ハ評價人ヲシテ評價セシムヘシ

第六十四條 評價人ハ四人トシ二人ハ税關長之ヲ命シ二人ハ異議者之ヲ選定ス但シ左ニ掲クル者ハ評
價人タルコトヲ得ス

一 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル
トキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二 第七十四條乃至第七十六條ノ處罰ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者

三 剝奪公權者及停止公權者

四 當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者
異議者ニ於テ評價人ヲ選定シタルトキハ税關長ノ認可ヲ受クヘシ

第六十五條 評價人ヲシテ評價セシメタルトキハ其ノ評價價格ヲ以テ課稅價格トス但シ評價價格申告價格ヨリ少ナキトキハ申告價格ヲ以テ課稅價格トス

第六十六條 異議者ノ選定シタル評價人ニ關スル費用ハ異議者ノ負擔トス

第六十七條 異議ノ申立バ處分ノ執行ヲ停止セス但シ稅關長ハ必要ト認ムルトキハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第六十八條 稅關長ノ處分ニ對シ不服アル者ハ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六十九條 訴願ヲ審査セシムル爲委員會ヲ設ク

第七十條 委員會ハ委員過半數出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス決議ハ出席委員ノ過半數ニ依リ之ヲ爲ス可同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第七十一條 委員ハ自己ノ利害ニ關スル議事ニ參與スルコトヲ得ス

第七十二條 委員會ニ於テ審査ヲ了シタルトキハ其ノ結果ヲ大藏大臣ニ具申スヘシ

第七十三條 委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 罰則

第七十四條 輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ犯罪ニ係ル貨物ノ原價ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處シ其ノ貨物ヲ沒收ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條 關稅ノ逋脫ヲ圖リ又ハ關稅ヲ逋脫シタル者ハ其ノ逋脫ヲ圖リ又ハ逋脫シタル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處シ犯罪ニ係ル貨物ヲ沒收ス

第七十六條 免許ヲ受ケスシテ貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ前二條ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條 貨物ト符合セサル積荷目錄ヲ提出シタルトキハ船長ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 第十八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十九條 第十二條若ハ第十七條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條 第十條、第十一條、第十三條、第十五條、第十八條第二項、第十九條、第二十條若ハ第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十一條 第二十六條乃至第二十八條第四十條若ハ第四十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十二條 第七十七條乃至第八十一條ノ規定ニ該當スル者ハ不注意ニ出テタルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第八十三條 本法ニ依リ沒收スヘキ貨物ハ犯則當時ノ所有者ノ所有ニ屬スル間ハ之ヲ沒收シ既ニ之ヲ讓渡若ハ消費シタルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ犯則者ヨリ徵收ス

第七章 犯則事件ノ調査及處分

第八十四條 稅關官吏ハ犯則ノ事實發見ノ爲必要ト認ムルトキハ船車倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ搜索ヲナスコトヲ得

第八十五條 税關官吏ハ犯則ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ物件ヲ身邊ニ藏匿スル者アリト思料シタルトキハ其ノ開示ヲ求メ若之ニ従ハサルトキハ身邊ノ搜索ヲ爲スコトヲ得

第八十六條 税關官吏ハ犯則事件ノ調査ヲ爲スニ當リ必要ト認ムルトキハ犯則者證人ヲ参考人ヲ訊問スルコトヲ得

第八十七條 税關官吏臨檢、搜索、訊問ヲ爲ストキハ制服ヲ着用シ又ハ其ノ資格ヲ證明スル證票ヲ携帯スヘシ

第八十八條 税關官吏ハ臨檢、搜索ヲ爲スニ當リ必要ト認ムルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第八十九條 税關官吏搜索ヲ爲ストキハ搜索スヘキ船車倉庫其ノ他ノ場所ノ所持人又ハ其ノ同居ノ親族、傭人、鄰佑若其ノ在ラサルトキハ其ノ地ノ警察官吏若ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ但シ船車ニ在テハ其ノ役員ヲシテ立會ハシムルコトヲ得

前項ノ親族、傭人若ハ鄰佑ハ成年者ナルヲ要ス

第九十條 税關官吏犯則事件ノ調査ニ依リ發見シタル物件犯則ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘシト思料シタルトキハ之ヲ差押ヘ差押目錄ヲ作ルヘシ

差押物件ハ便宜ニ依リ所持者若ハ市町村役場ニ保管セシムルコトヲ得

差押物件廢敗其ノ他損傷ノ虞アルトキハ税關長ハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ代金ヲ供託スルコトヲ得

第九十一條 臨檢搜索及物件差押ハ日没ヨリ日出迄ノ間之ヲ爲スコトヲ得但シ現行犯ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十二條 税關官吏ハ前數條ニ記載シタル處分中何人ニ限ラス許可ヲ得スシテ其ノ場所ニ出入スルヲ禁スルコトヲ得

第九十三條 税關官吏臨檢、搜索、訊問ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ヲ作り立會人若ハ訊問ヲ受ケタル者ニ示シ共ニ署名スヘシ

立會人若ハ訊問ヲ受ケタル者署名セス又ハ署名スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第九十四條 税關長ハ犯則事件ノ調査ニ依リ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ理由ヲ明示シ罰金若ハ科料ニ相當スル金額、沒收ニ該當スル物品若ハ徵收金ニ相當スル金額ヲ税關ニ納付スヘキ旨ヲ通告スヘシ

第九十五條 犯則者前條ノ通告ヲ受ケタルトキハ其ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ履行スヘシ此ノ期間内ニ履行セサルトキハ税關長ハ直ニ告發スヘシ

第九十六條 犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ同一事件ニ付訴ヲ受クルコトナシ

第九十七條 税關長ハ通告ヲ爲シ難シト認ムルトキ若ハ通告ノ旨ヲ履行スル資力ナシト認ムルトキハ直ニ告發スヘシ

第八章 補則

第九十八條 船舶修繕ノ爲又ハ巨大重量ノ貨物ニシテ開港ニ於テ積卸シ難キ貨物ヲ陸揚スル爲必要ト認ムルトキハ當分ノ内税關長ハ外國貿易船ノ不開港ニ出入スル特許ヲ與フルコトヲ得

第九十九條 從來ノ開港ノ外開港トナスヘキ場所及其ノ開港ニ於テ輸出若ハ輸入スヘキ貨物ノ種類ハ

勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百條 本法ノ期間ヲ定ムルニ日時ヲ以テシタルモノハ其ノ期間中ニ税關ノ休日ヲ算入セス

日ト稱スルハ二十四時ヲ謂ヒ月ト稱スルハ三十日ヲ謂ヒ年ト稱スルハ曆ニ從フ

第百一條 本法ノ規定中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第百二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百三條 明治十六年布告第四十號、特別輸出港規則、同二十三年勅令第五十四號、税關法、税關規則、

同二十六年法律第十三號、同二十七年法律第二號、同年法律第三號、同二十九年法律第十八號其ノ他

本法ニ牴觸スル法令ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

● 關稅法施行規則 明治三十二年六月
勅令第三百十九號

朕關稅法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

關稅法施行規則

第一章 關稅ノ賦課徵收及擔保

第一條 關稅法第一條第一項但書ニ依リ特別協定ノ便益ヲ受ケントスル者ハ特別協定ノ適用ヲ受

ケルニ依リ該地域内ノ產出品又ハ製造品ナルコトヲ證明スヘシ但シ郵便物及課稅價格百圓ヲ超エザル
貨物ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 前條ノ證明ハ貨物ノ產出地、製造地若ハ積出地ノ帝國領事館若ハ貿易事務館、帝國領事

館及貿易事務館ナキトキハ其ノ地ノ税關其ノ他ノ官廳公署又ハ商業會議所ノ證明シタル製產原
地證明書ヲ以テスルヲ要ス

前項ノ製產原地證明書ニハ貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量及產出又ハ製造ノ地域ヲ記載スヘ
シ

第三條 關稅ヲ徵收セントスルトキハ納金額及納付金庫ヲ指定シタル文書ヲ以テ納稅人ニ告知ス

ヘシ但シ金庫ニ納付セシムル場合ノ外告知書ヲ要セス

第四條 納稅人前條ノ告知書ヲ受ケタルトキハ之ニ税金ヲ添ヘ指定ノ金庫ニ納付スヘシ

第五條 旅客ノ携帶品關稅法第二十四條但書ニ掲ケタル貨物等ニ付キ貨物ヲ檢査シタル官吏直ニ

關稅ヲ徵收スルトキハ他ノ官吏若ハ公吏ノ立會アルヲ要ス

前項ニ依リ關稅ヲ徵收シタルトキハ立會官吏若ハ公吏ノ證明ヲ受ケ税關ニ報告スヘシ

第六條 關稅法第四十二條ニ依リ郵便局ニ於テ税金額ノ通知ヲ受ケタルトキハ郵便物交付前ニ之

ヲ名宛人ニ通知スヘシ

第七條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ税金ニ相當スル收入印紙ヲ通知書ニ貼付シ郵便局ニ提出スヘ
シ

第八條 郵便局ニ於テ前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ當該税關ニ送付スヘシ

第九條 關稅法第二條ニ依リ減稅ヲ請ハントスル者ハ損傷貨物ノ記號、番號、品名、數量、原價、諸

費及請求ノ要領ヲ記載シタル文書ヲ税關ニ提出スヘシ

第十條 關稅ノ擔保トシテ提供スヘキモノハ金錢及有價證券ニ限ル

第十一條 擔保ヲ提供スルトキハ之ヲ供託シ供託受領證ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十二條 稅關ハ提供シタル有價證券ノ價格減少シタルトキハ增擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第十三條 關稅法第六條但書ニ依リ擔保物ヲ公賣ニ付スヘキトキハ之ヲ公告シ最初公告ノ日ヨリ少クトモ三日ヲ經過シタル後之ヲ競賣スヘシ

第十四條 前條ノ公告ハ擔保提供者ノ住所又ハ居所、氏名、證券ノ種類、金額、競賣ノ場所及時其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第十五條 公賣決行前ニ關稅及費用ヲ完納シタルトキハ公賣ヲ中止スヘシ

第十六條 關稅法第六條但書ニ依リ擔保提供者ニ還付スヘキ殘金アルトキハ之ヲ供託スルコトヲ得

第二章 船舶ニ關スル手續

第十七條 船舶ノ入港届ハ船舶ノ名稱、國籍、登簿噸數、仕出港、入港ノ時及乗組海員ノ數ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十八條 積荷目錄ニハ船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕出地、仕向地、記號、番號、品名、箇數、數量及荷受人ヲ記載スヘシ

關稅法第十五條ニ依リ提出スヘキ積荷目錄ニハ前項ニ掲ケタル事項ノ外貨物ノ船卸ヲ爲スヘキ地ヲ記載スヘシ

第十九條 艙口申告書ニハ艙口ノ所在、箇數、船用品目錄ニハ船用品ノ種類、數量及見積價格、旅客氏名表ニハ旅客ノ國籍、氏名、乗込地及上陸地ヲ記載スヘシ

前項ノ文書ニハ仍船舶ノ名稱及國籍ヲ記載スヘシ

第二十條 外國貨物ヲ積載セル船舶、積荷目錄提出前ニ於テ貨物積卸ノ認許ヲ得ントスルトキハ其ノ理由ヲ詳記シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第二十一條 船舶ノ出港届ハ船舶ノ名稱、國籍、仕向港及出港ノ時ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十二條 外國貿易船出港ノ免許ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ出港ヲ免許シタルトキハ曩ニ預リタル船舶國籍證書其ノ他ノ書類ヲ還付スヘシ

第二十三條 外國貨物ヲ積載セル船舶日没ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ於テ貨物ノ積卸ヲ爲ス爲稅關長ノ特許ヲ受ケントスルトキハ其ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第二十四條 前條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納付スヘシ但シ外國貨物ヲ積載セル沿海通航船内國貨物ノ積卸ヲ爲スニ止マルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 警察官吏關稅法第十八條第二項ノ届出ヲ受ケタルトキハ所轄稅關又ハ監視署ニ急報スヘシ

第二十六條 關稅法第十九條ニ掲ケタル外國貨物ヲ不開港ヨリ開港ニ回漕スルノ認許ヲ受ケントスルトキハ船長ヨリ船卸港、貨物ノ品名、箇數及數量ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

第二十七條 外國貨物ノ假陸揚ヲ爲サントスルトキハ其ノ記號、番號、品名、箇數及數量ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ税關ニ、税關ノ設置ナキ地ニアリテハ税關官吏又ハ警察官吏ニ申告スヘシ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ豫メ申告スル能ハサルトキハ陸揚シタル後直ニ申告スヘシ

第二十八條 關税法第二十一條ノ申告ハ物品ノ種類、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十九條 沿海通航船海難其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ外國ニ寄港シタルトキハ歸港後其ノ地所轄ノ税關ニ申告スヘシ
前項ノ船舶外國ニ於テ船用品ヲ積入レタルトキハ其ノ種類、數量及原價ヲ記載シタル目錄ヲ歸港地所轄ノ税關ニ提出スヘシ

第三章 貨物ニ關スル手續

第一節 總則

第三十條 日没ヨリ日出迄ノ間又ハ税關ノ休日ニ於テ貨物ヲ税關ニ送致シ又ハ貨物ノ引取若ハ發送ヲナス爲テ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ税關ニ提出スヘシ

第三十一條 前條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納付スヘシ

第三十二條 税關ニ於テ定メタル場所以外ニ於テ貨物ノ陸揚、船積其ノ他船舶ト陸地トノ交通ヲナス爲テ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ場所、期間、貨物ノ種類等ヲ記載シタル申請書ヲ税關ニ提出スヘシ

スヘシ

特許ノ條件ニ違反シタルトキハ税關ハ特許ヲ取消スヘシ

第三十三條 税關又ハ税關支署ノ構外ニ於テ貨物ノ検査ヲ受ケントスル者アルトキハ税關ハ之ヲ特許スルコトアルヘシ但シ關税法第二十四條但書ノ場合ニ於テハ特許ヲ受ケタルヲ要セス
前項ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ場所、期間、貨物ノ種類ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ
本條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納付スヘシ

第二節 貨物ノ輸出及積戻手續

第三十四條 輸出申告ハ積載スヘキ船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量、價格及仕向港ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ旅客携帶品ニ關スル申告ハ文書ヲ以テスルヲ要セス

輸出貨物外國産ナルトキハ仍其ノ產地ヲ記載スヘシ
修繕ノ爲輸出シ再ヒ輸入スヘキ貨物ノ輸出申告書ニハ仍輸出ノ目的再輸入ノ場所及期限ヲ記載スヘシ

前項再輸入ノ場所ヲ變更シタルトキハ文書ヲ以テ輸出港税關ニ申告スヘシ

第三十五條 關稅定率法第六條ニ依リ關稅ヲ免除セラレタル貨物ヲ輸入ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ輸出セントスル者又ハ通過ノ爲輸入シタル貨物ヲ輸出セントスル者ハ輸出申告ヲ爲スト同時ニ輸入免狀又ハ之ニ代ルヘキ税關ノ證明書ヲ税關ニ提出スヘシ

前項ノ貨物ニ付輸出ノ免許ヲ爲シタルトキハ輸入免狀又ハ證明書ニ輸出濟ノ旨ヲ記入シ提出者ニ交付スヘシ

第三十六條 第三十四條第一項ノ規定ハ積戻申告ニ之ヲ準用ス

第三節 貨物輸入ノ手續

第三十七條 輸入申告書及通過貨物ノ目錄ニハ積載船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕入地、産出地又ハ製造地、記號、番號、品名、箇數、數量、原價及諸費ヲ記載スヘシ

第三十八條 旅客携帶品ニ關スル申告ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 關稅定率法第五條第十號及第十一號ニ該當スル貨物ヲ輸入セントスル者關稅ノ免除ヲ得ントスルトキハ輸入申告ヲ爲スト同時ニ輸出免狀又ハ之ニ代ルヘキ稅關ノ證明書ヲ提出スヘシ

第四十條 關稅定率法第六條ニ掲ケタル貨物ノ輸入ヲ爲サントスル者ハ輸入申告書ニ仍輸入ノ目的及輸出港ヲ記載スヘシ

輸出港ヲ變更シタルトキハ文書ヲ以テ輸入港稅關ニ申告スヘシ

第四十一條 通過ノ爲輸入スル貨物ノ輸入申告書及通過貨物ノ目錄ニハ仍輸入ノ目的及輸出地ヲ記載スヘシ

第四十二條 關稅法第三十四條但書ニ依リ輸入免許前ニ貨物ノ引取認許ヲ得ントスル者ハ其ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ輸入申告書ニ記載シタル貨物ヲ分割シテ引取ノ認許

ヲ得ントスル者ハ仍該貨物ノ記號、番號、品名、數量及輸入申告ノ年月日ヲ記載スヘシ

第四十三條 貨物ノ仕入書ハ輸入免許ヲ爲スト同時ニ之ヲ提出者ニ還付スヘシ

第四十四條 郵便局ニ於テ輸入郵便物ヲ陸揚シタルトキハ當該稅關ニ通知スヘシ
郵便物ヲ檢査スルトキハ郵便局員立會ノ上之ヲ行フヘシ

第四十五條 郵便物ヲ名宛人ニ交付スル能ハサルトキハ郵便局ハ關稅法第四十二條ニ依リ發シタル通知書ニ其ノ理由ヲ記入シ稅關ニ還付スヘシ

第四節 貨物ノ回漕

第四十六條 貨物回漕ノ申告ハ積載スヘキ船舶ノ名稱、國籍、陸揚地、内外國貨物ノ區別、貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十七條 回漕貨物船卸ヲ爲スヘキ地ニ到達シタルトキハ回漕免狀ヲ稅關ニ提出スヘシ

稅關ニ於テ前項ノ免狀ヲ受ケタルトキハ貨物ノ檢査ヲ爲シ免狀ト符合スルトキハ該免狀ニ回漕濟ノ旨ヲ記入シテ提出者ニ還付スヘシ

第五節 貨物ノ收容ニ關スル手續

第四十八條 關稅法第四十七條ノ揭示及第四十八條ノ申告書ニハ貨物ノ記號、番號、品名及箇數ヲ記載スヘシ

第四十九條 關稅法第五十一條ノ公告ニハ前條ニ掲ケタル事項、競賣ノ事由、競賣ノ場所及時其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第六十七條 税關官吏犯罪事件ノ調査ヲ終リタルトキハ税關長ニ報告スヘシ

第六十八條 關稅法第九十四條ノ處分通告ハ通告書ヲ送達シテ之ヲ爲スヘシ
處分通告書ニハ關稅法第九十四條ニ掲ケタル事項ノ外犯罪ニ關スル詳細ノ事實、物品ノ數量、納付ノ場所及期間ヲ記載スヘシ

第六十九條 第五十三條及第五十四條ノ規定ハ處分通告書ノ送達ニ之ヲ準用ス

第七十條 沒收ニ該當スル物品ニシテ市町村役場ノ保管ニ係ルモノハ保管ノ儘納付ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十一條 税關長犯罪事件ヲ告發シタル場合ニ於テ差押物件アルトキハ差押目錄ト共ニ裁判所ニ引繼クヘシ
前項ノ差押物件所持者又ハ市町村役場ノ保管ニ係ルトキハ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘシ

七十二條 犯罪ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入、削除若ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ
文字ヲ削除スルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ

第六章 税關ノ執務時間及臨時開廳

第七十三條 税關ノ執務時間ハ休日ヲ除キ午前十時ヨリ午後四時迄トス

第七十四條 税關ノ執務時間外ニ於テ臨時開廳ノ特許ヲ請ハントスル者ハ開廳ノ期間及其ノ期間

中ニ爲スヘキ事項ヲ記載シタル申請書ヲ税關ニ提出スヘシ

前項ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手數料ヲ納ムヘシ

第七章 雜則

第七十五條 關稅法第九十八條ノ特許ヲ得ントスルトキハ港名、船舶ノ名稱、國籍、碇泊期間及理由、貨物ノ陸揚ニ係ルトキハ其ノ品名、數量ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ税關長ニ申請スヘシ

前項ノ特許ヲ得タルトキハ船長ヨリ特許手數料ヲ税關ニ納付スヘシ

第七十六條 税關ノ證明又ハ船舶貨物ニ關スル計表ヲ請フ者ハ手數料ヲ納ムヘシ

第七十七條 大藏大臣ハ棧橋、起重機其ノ他税關所屬ノ土地建設物又ハ備品ヲ使用スル者ヲシテ使用料ヲ納付セシムルコトヲ得

第七十八條 手數料及使用料ノ額ハ大藏大臣之ヲ定ム

第七十九條 手數料及使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

第八十條 收入印紙ヲ以テ手數料及使用料ヲ納付セントスル者ハ納付書ニ貼用シテ之ヲ提出スヘシ

第八十一條 税關官吏及收稅官吏ハ差押物件、沒收物件、收容貨物、關稅ノ擔保物等ニシテ當該官吏ノ賣却スルモノハ直接ト間接トヲ問ハズ之ヲ買受クルコトヲ得ス

第八十二條 關稅法若ハ本規則ニ依リ當該官吏ニ於テ作ルヘキ文書ニハ官廳名若ハ官氏名及年月日ヲ記載シ之ニ捺印スヘシ

第八十二條 申告書其ノ他ノ文書ニハ提出者ノ國籍、住所又ハ居所及提出ノ年月日ヲ記載シ提出者之ニ署名スヘシ

第八十三條 關稅法又ハ本規則ニ依リ稅關又ハ稅關長ニ提出スヘキ文書ハ稅關支署ノ管轄内ニ在リテハ稅關支署ニ提出スヘシ

前項ノ外稅關ニ關スル規定ハ稅關支署ニ之ヲ準用ス
附則
第八十四條 本規則ハ關稅法施行ノ日ヨリ施行ス但シ第一條及第二條ノ規定ハ關稅法施行ノ日ヨリ六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

第八十五條 明治三十年第三百八十五號勅令ハ本規則全部施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●關稅法ニ依ル通路明治三十二年九月勅令第三百八十三號
關稅法及保稅倉庫法ニ依ル通路ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
關稅法第三十五條ニ依ル通路左ノ如シ(三十四年勅令第二百二十號及三十五年勅令第九十七號ヲ以テ本令申改正)
橫濱新潟間 官設鐵道、日本鐵道及北越鐵道
橫濱大阪間 官設鐵道
四日市大阪間 關西鐵道
大阪敦賀間 官設鐵道

- 大阪神戸間 官設鐵道
- 神戸下關間 山陽鐵道
- 小樽室蘭間 北海道炭礦鐵道
- 門司博多間 九州鐵道
- 博多長崎間 九州鐵道

●稅關ニ納ムヘキ手數料明治三十五年七月大藏省令第十七號
明治三十二年大藏省令第三十四號左ノ通改正シ明治三十五年八月一日ヨリ施行ス

稅關及稅關支署臨時開廳特許手數料	一日出ヨリ日没マテ	一時間マテ毎ニ	拾圓
	一日没ヨリ午後十二時マテ	同	貳拾圓
	一午後十二時ヨリ日出マテ	同	參拾圓
稅關支署ニ在テハ其地ノ狀況ニ依リ半額迄ニ低減スルコトヲ得			
稅關及稅關支署貨物積卸、送致、引取及發送特許手數料	一日出ヨリ日没マテ	一時間マテ毎ニ	貳圓
	一日没ヨリ午後十二時マテ	同	四圓
	一午後十二時ヨリ日出マテ	同	六圓
稅關及稅關支署構外検査特許手數料		一時間マテ毎ニ	參圓
一検査ニ要スル時間			
但シ旅費ヲ要スルトキハ別ニ其ノ實費ヲ加フ			
外國貿易船不開港出入特許手數料			

第十六類 關稅法ニ依ル通路 稅關ニ納ムヘキ手數料

一回二付			
關稅法施行規則第七十六條ニ依ル手数料			
一 證明	每一件	貳圓	
一 輸出入貨物日計表	每一箇月	參拾圓	
一 其ノ他船舶貨物ニ關スル計表	每一件	五拾錢	

● 稅關假置場法 明治三十三年四月 法律第八十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル稅關假置場法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

稅關假置場法

- 第一條 稅關ニ假置場ヲ置キ陸揚シタル外國貨物ヲ假ニ藏置スルコトヲ許ス
假置場ヲ置クヘキ稅關ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二條 大藏大臣ハ假置場ニ藏置スヘキ貨物ノ種類ヲ制限スルコトヲ得
- 第三條 假置場ニ藏置ノ貨物ハ輸入セサルモノト看做ス
- 第四條 藏置貨物ハ假置場内ニ於テ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲スコトヲ得
- 第五條 貨物藏置ノ期間ハ滿三箇月以内トス但シ稅關長ハ申請ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得
- 第六條 稅關長ハ假置場ノ秩序若ハ取締又ハ貨物ノ整理ニ關シ必要ト認ムルトキハ貨物ノ移出ヲ命ジ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 第七條 藏置貨物藏置ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ前條ニ依リ藏置貨物ノ移出ヲ命セラレタル者稅關長ノ指定期間内ニ移出セサルトキハ關稅法ニ依リ之ヲ收容スルコトヲ得
- 第八條 稅關官吏ハ假置場ニ出入スル者ノ身體及之ニ屬スル物件ニ就キ搜索ヲ爲スコトヲ得
- 第九條 政府ハ藏置貨物ノ損害ニ付賠償ノ責ニ任セス
- 第十條 假置場ニ貨物ヲ移入セムトスル者ハ稅關ニ申告スヘシ
- 第十一條 藏置貨物ハ輸入、積戻、回漕又ハ保税倉庫庫入ノ免許ヲ受ケ又ハ稅關長ノ許可ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ移出スルコトヲ得ス

● 稅關假置場法施行規則 明治三十三年四月 勅令第三百三十九號

朕稅關假置場法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

稅關假置場法施行規則

- 第一條 橫濱、神戸及長崎稅關管轄區域内ニ稅關假置場ヲ置ク(三十四年勅令第六十八號ヲ以テ神戸ヲ加フ)
- 第二條 稅關假置場ノ地區ハ大藏大臣之ヲ指定ス
- 第三條 貨物ノ移入申告ハ積載船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
- 第四條 稅關假置場法第五條但書ニ依リ貨物藏置期間ノ延長ヲ申請セムトスル者ハ其ノ貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量、延長期間及理由ヲ記載シタル文書ヲ稅關ニ提出シ特許ヲ受クヘシ

第五條 税關假置場ハ日没ヨリ日出マテノ間及税關ノ休日ニハ之ヲ閉鎖ス但シ税關長ハ臨時開場ノ特許ヲ與フルコトヲ得

第六條 日没ヨリ日出マテノ間又ハ税關ノ休日ニ於テ臨時開場ノ特許ヲ受ケムトスル者ハ必要ノ事由及期間ヲ記載シタル申請書ヲ税關ニ提出スヘシ

第七條 第四條及第六條ノ特許ヲ受ケタル者ハ手數料ヲ納ムヘシ

第八條 税關假置場ヲ使用スル者ハ其ノ使用料ヲ納ムヘシ

第九條 使用料及手數料ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十條 使用料及手數料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得(三十四年勅令第六十八號ヲ以テ本條追加)

收入印紙ヲ以テ使用料又ハ手數料ヲ納付セムトスル者ハ納付書ニ貼付シテ之ヲ提出スヘシ

附 則

本令ハ明治三十三年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 税關假置場使用料及手數料 明治三十三年四月大藏省令第十五號

税關假置場法施行規則第九條ニ依リ税關假置場使用料及手數料左ノ通相定ム

第一條 税關假置場ヲ使用スル者ハ左ノ使用料ヲ納ムヘシ

一 貨物毎立方尺ニ付一箇月間金貳錢乃至五厘

二 建物ヲ使用スル者ハ一坪ニ付一箇月間金七拾五錢乃至四拾錢

第二條 左ニ掲ケル貨物ハ一立方尺ヲ以テ一立方尺ニ換算ス

關稅定率法附屬輸入稅表第二百十五號乃至第二百三十四號及第二百四十號乃至第二百五十九號ニ包含スル貨物及唐木

第三條 使用料ハ一箇月毎ニ計算ス一箇月未滿ナルトキハ十五日マテハ半箇月分十五日ヲ超ユルトキハ一箇月分ヲ徵收ス

一立方尺未滿ノモノハ一立方尺トシ一立方尺未滿ノモノハ一立方尺トシテ計算ス

第四條 使用料ノ總額ニ厘位ヲ生スルトキハ切捨トス

第五條 税關假置場ノ臨時開扉ヲ申請スル者ハ左ノ手數料ヲ納ムヘシ

日出ヨリ日没マテ

一時間マテ毎ニ

金壹圓

日没ヨリ日出マテ

同

金壹圓五拾錢

第六條 使用料ハ貨物移出ノトキ之ヲ納ムヘシ

第七條 建物使用ノ期間一箇月以上ナル場合ニハ其ノ使用料ハ一箇月毎ニ納メシムルコトヲ得(三十三年大藏省令第三十一號ヲ以テ本條追加)

第八條 税關假置場法施行規則第四條ニ依リ貨物藏置期間ノ延長ヲ申請スル者ハ一件毎ニ手數料金五拾錢ヲ納ムヘシ(同上)

● 税關貨物取扱人法 明治三十四年四月法律第二十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル税關貨物取扱人法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

税關貨物取扱人法

第一條 本法ニ於テ税關貨物取扱人ト稱スルハ貨主ノ爲ニ自己又ハ其ノ貨主ノ名ヲ以テ税關ニ對シ貨物ニ關スル手續ノ取扱ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 税關貨物取扱人タラムト欲スル者ハ其ノ業務ニ從事セムトスル地ヲ管轄スル税關長ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ヲ受クルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ免許料ヲ納ムヘシ

第三條 左ニ掲クル者ハ税關貨物取扱人タルコトヲ得ス

第一 剝奪公權者及停止公權者

第二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分産若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

第三 國稅滯納處分ヲ受ケ滿一箇年ヲ經過セサル者

第四 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及關稅法第七十四條乃至第七十六條ノ規定ニ違反シ處罰ヲ受ケ滿三箇年ヲ經過セサル者

第四條 税關貨物取扱人ハ其ノ業務ニ關シテ所轄税關長ノ監督ヲ受ク

第五條 税關貨物取扱人ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ身元保證トシテ金錢又ハ有價證券ヲ提供スルコトヲ要ス但シ身元保證金額ハ五千圓以上トス

税關貨物取扱人ハ前項ノ身元保證物ヲ提供シタル後ニ非サレハ其ノ業務ヲ行フコトヲ得ス

第六條 税關貨物取扱人税關ニ納付スヘキ金錢ヲ納付セサルトキハ税關ハ身元保證物ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

税關貨物取扱人ノ業務上ノ過失ニ因リ損害ヲ受ケタル貨主ハ其ノ債權ニ付他ノ債權者ニ先チ身元保證物ニ依リ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第七條 税關貨物取扱人ハ貨物ノ受取、引渡、保管及運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其ノ貨物ノ取扱料ヲ請求スルコトヲ得ス

第八條 税關貨物取扱人ハ取扱貨物ニ關シ受取ルヘキ取扱料、税金其ノ他委託者ノ爲ニ爲シタル立替ニ付テノミ其ノ貨物ヲ留置スルコトヲ得

第九條 税關貨物取扱人ハ取扱料ノ最高額ヲ定メ所轄税關長ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第十條 税關貨物取扱人其ノ業務ニ關スル法令ニ違反シ又ハ税關長ノ職權ニ基ケル命令ニ違反シタルトキハ税關長ハ其ノ營業ヲ停止シ若ハ其ノ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得但シ營業停止ノ期間ハ三箇月以内トス

第十一條 前條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得前項ノ處分ニ因リテ違法ニ權利ヲ傷害セラレタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十二條 免許ヲ受ケスシテ税關貨物取扱人ノ業務ヲ行ヒタル者又ハ第五條第二項ニ違反シタル者又ハ第九條ノ認可ヲ受ケス若ハ認可ニ違反シテ取扱料ヲ取得シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 税關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタル行爲ハ税關貨物取扱人ノ行爲ト看做ス

明治三十三年法律第五十二號ハ本法ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 税關貨物取扱人法施行細則 三十四年五月 大藏省令第八號

税關貨物取扱人法施行細則

- 第一條 税關貨物取扱人ノ業務ニ従事セムトスル者ハ營業所ヲ定メ管轄區域毎ニ所轄税關長ニ出願スヘシ但會社又ハ外國會社ノ支店ニ在テハ定款ノ謄本ヲ添フヘシ
- 第二條 税關長ハ免許ヲ與ヘムトスルトキハ本人ニ告知シ免許料ヲ納付セシメ免許狀ヲ交付スヘシ
- 第三條 免許料ハ貳拾圓トス收入印紙ヲ以テ納付スルコトヲ得
- 第四條 税關貨物取扱人ハ免許狀ヲ受ケタル日ヨリ二週間以内ニ身元保證トシテ五千圓又ハ之ニ相當スル價格ヲ有スル有價證券ヲ提供スヘシ
- 第五條 税關貨物取扱人カ身元保證トシテ提供シタル有價證券ノ價格減少シタルトキ又ハ税關貨物取扱人法第六條ノ適用ニヨリ身元保證金減少シタルトキハ税關長ハ本人ニ告知シ一箇月以内ニ其ノ不足額ニ相當スル金銭又ハ有價證券ヲ提供セシムヘシ
- 第六條 税關貨物取扱人カ身元保證トシテ提供スル金銭又ハ有價證券ハ之ヲ供託シ供託受領證ヲ所轄税關ニ提出スヘシ
- 第七條 税關貨物取扱人支店又ハ代理店ヲ設ケルトキハ擔當人ヲ定メ其ノ所在地ノ税關又ハ税關支署ニ届出ツヘシ
- 第八條 營業所又ハ代理店ヲ閉鎖シ若ハ移轉シ又ハ擔當人ヲ變更シタルトキ亦同シ
- 第九條 税關貨物取扱人又ハ擔當人ハ其ノ從業者ノ氏名ヲ届出ツヘシ其ノ變更アルトキ亦同シ

附則

本令ハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 關稅定率法 明治三十年三月 法律第十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル關稅定率法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

關稅定率法

第一條 外國ヨリ輸入スル物品ニシテ附屬稅表第一種ニ屬スルモノハ同表ノ稅率ニ依リ輸入稅ヲ課シ

第二種ニ屬スルモノハ輸入稅ヲ免シ第三種ニ屬スルモノハ輸入ヲ禁ス(三十四年法律第十四號ヲ以テ二項ヲ削除)

第二條 物品ノ課稅價格ハ其ノ仕入地、產出地若ハ製造地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送費、保險料其ノ他輸入港ニ到着スル迄ノ諸費ヲ加ヘテ算定ス

第三條 附屬稅表ニ掲ケル物品ニシテ從價稅ニ代フルニ從量稅ヲ以テスルヲ便宜トスルモノハ勅令ヲ以テ其ノ物品及細別ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ從量稅ハ前條ノ算法ニ依リ六箇月以上ノ平均價格ヲ算出シ附屬稅表ノ稅率ニ基キ之ヲ定ムヘキモノトス

第四條 附屬稅表中二箇以上ノ稅率ヲ適用シ得ヘキ物品ニ對シテハ其ノ最高ノ率ニ從テ課稅ス

第五條 左ノ物品ハ輸入稅ヲ課セス

- 第一 御料品
- 第二 帝國陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器彈藥及爆發物
- 第三 海軍艦船
- 第四 帝國ニ派遣セラレタル各國公使ニ屬スル自用品
- 第五 勳章賞牌
- 第六 記錄文書其ノ他ノ書類
- 第七 商品ノ見本但シ見本用ニノミ適スルモノニ限ル
- 第八 旅具(旅客ノ携帶スルモノ)

- 第九 官立公立ノ博物館及物品陳列所へ永久陳列ノ爲ニ輸入スル物品
- 第十 内國産ニシテ五箇年以内ニ外國ヨリ積戻リ輸出ノ時ノ性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ煙草類、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ヲ除ク(三十四年法律第十四號ヲ以テ本號中追加)
- 第十一 修繕ノ爲外國ニ輸出シ再ヒ輸入スルモノ
- 第十二 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品(三十二年法律第十號ヲ以テ追加)
- 第七號第八號第九號ハ物品ノ稅關ニ於テ相當ト認ムルモノニ限ル
- 第十一號ノ物品ハ輸出ノ際豫メ再輸入ノ期限ヲ定ムヘシ
- 第六條 左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ再ヒ輸出スルモノハ輸入稅ヲ課セス但シ輸入ノ際其ノ輸入稅金ニ相當スル金額ヲ預入レ又ハ擔保ヲ差入レテ之ヲ保障スヘシ
- 第一 修繕ノ爲一時輸入スルモノ
- 第二 學術研究旅行者使用ノ爲一時輸入スルモノ
- 第三 試驗品トシテ一時輸入スルモノ
- 第四 商人、工業者及注文取集旅商ノ見本品トシテ一時輸入スルモノ
- 第五 演劇其ノ他興業用ノ爲一時輸入スルモノ
- 第七條 附屬稅表中改正ヲ要スルトキハ施行期日ヨリ少ナクモ六箇月前ニ之ヲ公布ス
- 第八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

輸入稅表	番號	品名	從價及從量稅率
第一種 有稅品	第一類	兵器、時計、學術器具及機械類	一、〇
		一大砲、小銃、拳銃、刀劍、砲彈、裝藥其ノ他諸兵器	二、五
		二 權衡及尺度	一、〇
		三 晴雨計	一、〇
		四 雙眼鏡	一、〇
		甲 革ヲ以テ裝ヒ若クハ塗漆シタルモノ	一、五
		乙 其ノ他各種	二、〇
		五 置時計、掛時計及同部分品	二、〇
		六 鐘錶、時計及同部分品(航海用ノモノ)	一、〇
		七 塔壩(各種)	一、〇
第二種 無稅品	第一類	九 潛水器及同部分品	二、〇
		一〇 電燈器械及同部分品	一、〇
		一一 消防器及同部分品	一、〇
		一二 農具、工匠具及同部分品	一、五
		一三 樂器及同附屬品	一、五
		一四 理學器、化學器、製圖器、測量器、外科器其ノ他諸學術器(別項ニ掲ケサルモノ)	一、〇
		一五 寫眞器及同部分品	一、五
		一六 鐵道機關車及同部分品	一、〇
		一七 諸器械及同部分品(別項ニ掲ケサルモノ)	一、〇
		一八 顯微鏡及同部分品	一、〇
第三種 無稅品	第一類	一九 蓄音器及同部分品	一、〇
		二〇 唧筒器及同部分品	一、〇
		二一 縫衣機及同部分品	一、〇
		二二 眼鏡及同部分品	一、〇
		二三 獵銃及同部分品	一、〇
		二四 汽鐘、汽機及同部分品	一、〇
		二五 電話器及同部分品	一、〇
		二六 望遠鏡	一、〇
		二七 寒暖計	一、〇
		二八 印字機	一、〇
第四種 無稅品	第一類	二九 懷中時計懷中時計側及同附屬品	一、〇
		甲 金製及白金製ノモノ	三、〇
		乙 銀製及其ノ他各種	二、五
		三〇 懷中時計機械及同部分品	一、五
		三一 礦水、檸檬水、曹達水ノ如キ酒精ヲ含マサル諸飲料	一、〇
		三二 乾麵包	一、〇
		甲 船用ノモノ	一、〇
		乙 菓子製ノモノ	一、五
		三三 乳油	一、五
		三四 乾酪	一、五
第五種 無稅品	第一類	三五 珈琲	二、〇
		三六 糖菓類	四、〇
		甲 菓子	二、〇
		乙 砂糖、糖蜜若クハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ	二、五
		三七 生卵	一、〇
		三八 麥粉其ノ他穀粉、澱粉類	一、〇
		三九 生菜、乾菜及別項ニ掲ケサル核子	一、五
		四〇 ハム及ベーコン	一、五
		四一 鮮肉	一、五
		四二 乳膏及乳粉	一、五
第六種 無稅品	第一類	四三 胡椒	一、五
		四四 食鹽(海鹽ト礦鹽トヲ別タス)	一、五
		甲 粗製ノモノ	一、五
		乙 精製ノモノ	一、五
		四五 鹹魚	一、五
		四六 鹹肉	一、五
		四七 石花菜	一、〇
		四八 茶	一、〇
		四九 生菜、乾菜及鹹菜	一、五
		五〇 其ノ他各種ノ食物	一、五
第七種 無稅品	第一類	五一 長靴及短靴(各種)	二、〇
		五二 袴鈞	二、〇
		甲 絹製及絹入ノモノ	二、五
		乙 其ノ他各種	二、〇
		五三 第三類 衣服及附屬品	一、五
		五四 第三類 衣服及附屬品	一、五
		五五 第三類 衣服及附屬品	一、五
		五六 第三類 衣服及附屬品	一、五
		五七 第三類 衣服及附屬品	一、五
		五八 第三類 衣服及附屬品	一、五
五九 第三類 衣服及附屬品	一、五		

五三 鈕釦、扣子、鈎子類(飾鈕釦ヲ除ク)	二、〇	六二 粧飾料品(平組、組組、レース、總、ノツツ、ス、タールス、金屬絲及金屬組其ノ他別項ニ掲ケサル各種)	三、〇	甲 攝氏驗温器十五度ノトキニ於テ原容量百分中メチールアルコールノ容量十五以下ノモノ	四拾貳錢
五四 襪卷	二、五	甲 金銀製及金銀入ノモノ	二、〇	乙 同十五以上ノモノ	四拾貳錢
五五 手袋(各種)	二、〇	乙 絹製及絹入ノモノ	二、五	六九ノ二 各種丁幾(阿片丁幾ヲ除ク)	四拾貳錢
五六 帽子	三、〇	丙 其ノ他各種	二、〇	七〇 明礬	一、〇
五七 襟飾	二、五	甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	七一 安知歇貌林	一、〇
五八 肩衣	二、〇	乙 絹製及絹入ノモノ	二、五	七二 安知必林	一、〇
五九 襦袢	二、〇	丙 其ノ他各種	二、〇	七三 檳榔子	一、〇
六〇 足袋(長短ヲ別タス、メリヤス製ノモノ)	二、五	甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	七四 白朮	一、〇
六一 飾鈕釦(襦袢ノ襟袖胸ニ用ルモノ)	二、〇	乙 絹製及絹入ノモノ	二、五	七五 次硝酸蒼鉛	一、〇
甲 金製及白金製ノ(珠玉ヲ嵌メタルト否トヲ別タス)	三、〇	丙 其ノ他各種	二、〇	七六 晒白粉(格魯兒石灰)	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	六三 肌衣(上下ヲ別タス、メリヤス製ノモノ)	二、〇	七七 礬砂(礬酸曹達)	一、〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	甲 絹製、毛製及毛綿製ノモノ	二、〇	七八 龍腦及艾片	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	乙 絹製及絹入ノモノ	二、五	七九 桂皮	一、〇
甲 絹製、毛製及毛綿製ノモノ	二、〇	丙 其ノ他各種	二、〇	八〇 桂皮油	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	六四 雨衣	二、〇	八一 霍香	一、〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	八二 規那皮	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	乙 其ノ他各種	二、〇	八三 聖古尼涅(鹽酸若クハ流酸)	一、〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	六五 其ノ他各種ノ衣服及附屬品	二、〇	八四 辰砂(赤色硫化汞)	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	八五 丁香	一、〇
甲 絹製、毛製及毛綿製ノモノ	二、〇	乙 其ノ他各種	二、五	八六 鹽酸古加乙涅	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	六六 石炭酸	一、〇	八七 肝油	一、〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	六七 撒里矢爾酸	一、〇	八八 寫真用古魯胃誤及附屬ノ沃度意撒兒	一、〇
乙 其ノ他各種	二、五	六八 酒石酸	一、〇	八九 古倫僕	一、〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇	六九 酒精(アルコール)	一、〇		
乙 其ノ他各種	二、五	六九ノ一 メチレーテット、アルコール	四拾貳錢		

二五三〇

九〇 牛黃	一、〇	一一一 消美蘭	一、〇	一四七 乾藍	一、〇
九一 阿仙藥及檳榔膏	一、〇	一一二 硝石(硝酸割篤亞斯)	一、〇	一四八 水藍	一、〇
九二 健質亞那(龍膽)	一、〇	一一三 珊篤寧	一、〇	一四九 インヂゴ、エキストラクト及インヂゴ、カルマイン	一、〇
九三 人參	一、〇	一一四 撒兒沙巴利刺	一、〇	一五〇 鉛粉(各色)	一、〇
九四 備里設林	一、〇	一一五 攝綿支奈	一、〇	一五一 ロクウイード	一、〇
九五 亞拉昆亞謨謨	一、〇	一一六 沙刺克	一、〇	一五二 ロクウイード越幾斯	一、〇
九六 安息香	一、〇	一一七 曹達灰	一、〇	一五三 梛皮	一、〇
九七 麒麟血	一、〇	一一八 重炭酸曹達	一、〇	一五四 紅花	一、〇
九八 沒藥	一、〇	一一九 苛性曹達	一、〇	一五五 蘇木	一、〇
九九 乳香	一、〇	一二〇 結晶曹達(洗濯曹達)	一、〇	一五六 花紺青	一、〇
一〇〇 苦草	一、〇	一二一 撒里矢爾酸曹達	一、〇	一五七 蘇木	一、〇
一〇一 沃度仿謨	一、〇	一二二 蒼朮	一、〇	一五八 姜黃	一、〇
一〇二 吐根	一、〇	一二三 紫梗	一、〇	一五九 郡青	一、〇
一〇三 葯刺巴根	一、〇	一二四 ウアスリン	一、〇	一六〇 洋漆	一、〇
一〇四 醋酸鉛(鉛糖)	一、〇	一二五 黃芩	一、〇	一六一 支那漆	一、〇
一〇五 甘草	一、〇	一二六 其ノ他諸藥材、化學藥及製藥	一、〇	一六二 綠青	一、〇
一〇六 麻黃	一、〇	一二七 アリザリン	一、〇	一六三 朱	一、〇
一〇七 過酸化納佈	一、〇	一二八 アニリン染料	一、〇	一六四 碗青	一、〇
一〇八 莫兒比涅(鹽酸若クハ硫酸)	一、〇	一二九 紺青(乾燥ヲ別タス、礦物ヨリ製シタルモノ)	一、〇	一六五 白色亞鉛粉	一、〇
一〇九 麝香	一、〇	一三〇 紺青(乾燥ヲ別タス、礦物ヨリ製シタルモノ)	一、〇	一六六 其ノ他各種ノ染料、彩料及塗料	一、〇
一一〇 麝香(人造ノモノ)	一、〇	一三一 洋紅	一、〇	一六七 隱玻璃片(尋常ノモノ)	一、〇
一一一 甘松	一、〇	一三二 酸化古拔爾篤	一、〇	一六八 プレート玻璃片(水銀ヲ	一、〇
一一二 鹽酸必魯加兒必涅	一、〇	一三三 呀囉蟲	一、〇	甲 無色及無著色ノモノ	一、〇
一一三 靛羅謨割篤亞斯	一、〇	一三四 花綠青	一、〇	乙 其ノ他各種	一、〇
一一四 沃度割篤亞斯	一、〇	一三五 沒食子及五倍子	一、〇		
一一五 木香	一、〇	一三六 雌黃	一、〇		
一一六 規尼涅(鹽酸若クハ硫酸)	一、〇	一三七 金液、銀液及白金液	一、〇		
一一七 松脂	一、〇				
一一八 大黃(塊粉ヲ別タス)	一、〇				
一一九 塊粉ヲ別タス)	一、〇				
一二〇 塊粉ヲ別タス)	一、〇				

第十六類 關稅定率法

二五三一

二八四 蠟白蠟(蜡)	一、〇	三二四 アルバカ	一、〇
二八六 其ノ他各種ノ油蠟	一、〇	三二五 絹吳呂	一、五
第十一類 紙及文具		三二六 旗布	一、五
二八七 集畫帖(寫真用及郵便切符貼用ノモノ)	二、五	三二七 吳呂、綾吳呂及畔吳呂	一、五
二八八 白紙帳簿及書式類	一、五	三二八 カムレット、コールド	一、五
二八九 墨汁(印刷用、寫字用、筆記用及石版用ノモノ)	一、五	三二九 紋吳呂	一、五
二九〇 唐紙類(各種)	一、五	三三〇 フランセル(毛製及毛綿製ノモノ)	一、五
二九一 壁紙	一、五	三三一 イタリアン、クロイツ	一、五
二九二 印刷料紙	一、五	三三二 羅世伊多	一、五
二九三 其ノ他各種ノ紙類	一、五	三三三 縮緬吳呂(毛製及毛綿製ノモノ)	一、五
二九四 鉛筆	一、五	三三四 チェルリアンズ及ラストル	一、五
甲 金製及白金製ノモノ	三、〇	三三五 セルダス	一、五
乙 其ノ他各種	一、五	三三六 スパニシ、ストライプス	一、五
二九五 筆嘴	三、〇	三三七 羅紗(各種)	一、五
甲 金製ノモノ	一、五	三三八 毛純子	一、五
乙 其ノ他各種	一、五	三三九 毛フェルト地	一、五
二九六 封蠟	一、五	三四〇 其ノ他各種ノ毛布(純毛ト他物ヲ交ヘタルトナ別タス但シ毛ノ重量超過スルモノ)	一、五
二九七 蠟紙	一、五	第三類	
二九八 其ノ他各種ノ文具	一、五	三四一 生絲、熟絲、玉絲、熨斗	一、五
第十二類 砂糖		三四二 眞綿	一、五
二九九 砂糖	二、五	三四三 絹織絲(紡績シタル)及絹	一、五
三〇〇 精糖	二、〇		
三〇一 氷砂糖	二、〇		
三〇二 糖蜜	一、〇		
三〇三 糖水	一、〇		

三四四 絹織類(別項ニ掲ケサルモノ)	二、〇	三六三 其ノ他各種ノ地氈	二、〇
三四五 支那縮緬	二、〇	三六四 竹布	一、五
三四六 支那絹紬	二、〇	三六五 應帷	二、〇
三四七 支那絹織子	二、〇	甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇
三四八 支那絹織子	二、〇	乙 其ノ他各種	二、〇
三四九 絹織子	二、〇	甲 絹入ノモノ	二、〇
三五〇 刺繍絹布及刺繍絹織布	二、五	乙 其ノ他各種	二、〇
三五一 其ノ他各種ノ絹布(純絹ト他物ヲ交ヘタルトナ別タス但シ絹ノ重量超過スルモノ)	二、〇	第三類	
第四類		三六六 靴護襪類	一、五
三五二 麻織絲	一、〇	甲 絹製、麻製及麻綿製ノ(單製連製ヲ別タス)	一、五
三五三 麻織絲	一、〇	乙 絹製及レース製ノモノ	一、五
三五四 麻帆布	一、五	三六七 護襪類	一、五
三五五 麻布(生晒、染色若クハ形付ノモノ)	一、五	三六八 手巾	一、五
三五六 麻純子	一、五	甲 絹製、麻製及麻綿製ノ(單製連製ヲ別タス)	一、五
三五七 其他各種ノ麻布(純麻ト他物ヲ交ヘタルトナ別タス但シ麻ノ重量超過スルモノ)	一、五	乙 絹製及レース製ノモノ	一、五
第五類		三六九 蚊帳(各種)	二、〇
三五八 プランケット(單製連製ヲ別タス各種)	一、五	三七〇 革布(家具等ニ用ルモノ)	二、〇
三五九 プラツセルス氈	一、五	三七一 油布及リノリウム(牀ニ用ルモノ)	一、五
三六〇 フェルト氈	二、〇	三七二 襪衣	一、五
三六一 麻氈	二、〇	甲 絹製及絹入ノモノ	二、〇
三六二 パテント、タペストリー	二、〇	乙 其ノ他各種	二、〇
		三七三 浴巾(單製連製ヲ別タス各種)	一、五
		三七四 旅氈(單製連製ヲ別タス各種)	一、五
		三七五 絹線及苧麻線	一、五
		乙 其ノ他各種	一、五
		三七六 絹織及縫絲(別項ニ掲ケサル各種)	一、五
		第三類	
		三三七 其ノ他各種ノ布帛	一、五
		三三八 其ノ他各種ノ布帛製品	一、五
		甲 絹製及絹入ノモノ	一、五
		乙 其ノ他各種	一、五
		第十四類 煙草	
		三三九 卷煙草及小卷煙草	一、〇
		三四〇 紙卷煙草	一、〇
		三四一 嗅煙草	一、〇
		三四二 刻煙草	一、〇
		三四三 葉煙草	一、〇
		三四四 其ノ他諸製煙草	一、〇
		第十五類 酒類	
		三四五 麥酒及黑麥酒	拾錢四厘
		三四六 シヤムパン	三、五
		三四七 支那酒(醸造シタルモノ)	一、〇
		三四八 ポルト	一、〇
		三四九 清酒	一、〇
		三九〇 シェリー	一、〇
		三九一 ウェルモット	一、〇
		三九二 葡萄酒(赤白ヲ別タス)	一、〇
		三九三 其ノ他各種ノ酒類	一、〇
		但シ攝氏驗温器十五度ノ時ニ於テ〇、七九四七ノ比重ヲ有スルモノヲ純酒精トシ原容量百分中純酒精ノ容量五十以上一ヲ増	一、〇

五二五ノ一	燐礦石	五二二	茶籃、茶篩及茶箕	五二八	法律命令ニ依リ公共ノ衛生又ハ動物ニ危険ナリト認ムヘキ物品
五二六	雜形及工事圖面	五二三	茶鍋	五二九	特許意匠商標及版權ニ關スル帝國ノ法律ニ違反シタル物品
五二七	油槽(塊粉ヲ別タス)	五二四	茶鉛	五三〇	贋造貨幣及贋造ト認ムヘキ模造貨幣
五二八	藥料阿片(政府ノ輸入スルモノ)	五二五	羊毛、山羊毛及駱駝毛(新故ヲ別タス)	五三一	阿片(政府ノ輸入スル藥料阿片ヲ除ク)
五二九	無味香蠟	五二六	亞鉛板(二號板ニ限ル)	五三二	公安及風俗ヲ害スヘキ書籍、圖畫、彫刻物其ノ他ノ物品
五三〇	格魯兒酸割篤亞斯	五二七	法律命令ニ依リ有害ナリト認ムヘキ純長ナラサル藥材、化學藥製藥、食物若クハ飲料		
五三一	赤燐				
五三二	草木及苗根				
五三三	米、粃				
五三四	米、粃				

●輸入物品從量稅目 明治三十五年九月 勅令第二百十九號
 朕輸入物品從量稅目改定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 關稅定率法第三條ニ依リ輸入物品從量稅目左ノ通定ム

附則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治三十一年勅令第二百二十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

輸入稅表	輸入稅表	輸入稅表	輸入稅表
兵器、時計、學術器具及機械類	散彈	乾麵包	甲 船用ノモノ
飲食物	乙 菓子製ノモノ	乳油	乾酪
咖啡(種子ノ)	麥粉	火腿及ベーコン	鮮肉(羊肉)

四二	乳膏	〇三四七	規那皮	每百斤	三〇二二
四四	食鹽(海鹽ト礦鹽トヲ別タス)	八四	辰砂(赤色硫化汞)	每百斤	〇〇九八
四四	甲 粗製ノモノ	八五	丁香	每百斤	一八二二
四四	乙 精製ノモノ	八六	鹽酸古加乙涅	每百斤	一八四九
四五	鹹魚	八九	古倫僕	每百斤	〇九九七
四六	鹹肉(牛肉若クハ豚肉ノ樽入ニ爲タルモノ)	九一	阿仙藥及檳榔膏	每百斤	一三三一
四七	石花茶	九二	健質亞那(龍膽)	每百斤	〇〇七七
四七	人造乳油	九三	人參	每百斤	〇四四七
五〇	衣服及附屬品	九四	偏里設林	每百斤	〇〇三五
六三	肌衣(上下ヲ別タス、メリヤス製ノモノ)	九五	亞拉亞亞護謨	每百斤	一四六三
六三	綿製ノモノ	九六	安息香	每百斤	一一一〇
六三	毛製ノモノ	九九	乳香	每百斤	一一四一
六三	毛製ノモノ	一〇〇	苦草	每百斤	〇〇九二
六六	石炭酸	一〇一	沃度仿謨	每百斤	〇四三三
六七	撒里矢爾酸	一〇二	吐根	每百斤	六七〇三
六八	酒石酸	一〇三	葯刺巴根	每百斤	四二七九
七〇	明礬	一〇五	甘草	每百斤	〇九三九
七一	安知狀貌林	一〇六	麻黃	每百斤	〇六二六
七二	安知必林	一〇八	莫兒比涅(鹽酸若クハ硫酸)	每百斤	四六五四
七四	白朮	一〇九	麝香(人造ノモノ)	每百斤	一〇四九
七五	次硝酸若鉛	一一一	麝香	每百斤	一〇七五
七七	礬砂(礬酸曹達)	一一二	甘松	每百斤	一八〇七
七八	艾片	一一四	貌羅謨刺篤亞斯	每百斤	〇一〇一
七九	桂皮	一一六	沃度刺篤亞斯	每百斤	〇二八三
八〇	桂皮油	一一七	木香	每百斤	一七〇六
八一	霍香	一一八	規尼涅(鹽酸若クハ硫酸)	每百斤	一三二二
		一一九	松脂	每百斤	〇三〇八
		一二〇	大黃(塊粉ヲ別タス)	每百斤	一三九二
		一二一	泊美蘭	每百斤	一七一八
		一二二	硝石(硝酸割篤亞斯)	每百斤	〇九七二

一三三	珊篙寧	每百斤	〇九六七	一五二	ロケウード越幾斯	每百斤	二一六六
一三四	撒兒沙巴利刺	每百斤	二一七五	一五三	椴皮	每百斤	〇一四九
一三五	攝綿支奈	每百斤	一七八一	一五四	色油	每百斤	一四一八
一三六	沙刺克	每百斤	〇〇四三	一五五	紅花	每百斤	二四九八
一三六	曹達灰	每百斤	〇三九四	一五六	蘇木	每百斤	〇三三四
一三六	重炭酸曹達	每百斤	〇三六七	一五八	姜黃	每百斤	〇四八六
一三六	苛性曹達	每百斤	〇六三三	一五九	郡青	每百斤	一七九三
一三六	結晶曹達(洗濯曹達)	每百斤	〇四二三	一六〇	洋漆	每百斤	〇〇四四
一三六	撒里失爾酸曹達	每百斤	〇一五	一六一	支那漆	每百斤	四一七三
一三六	紫梗	每百斤	〇五三三	一六二	綠青	每百斤	三六七八
一三六	ウアスリン	每百斤	一四四〇	一六三	朱	每百斤	一四一三
一三六	黃芩	每百斤	一六六四	一六四	碗青	每百斤	六一七四
一三六	硼酸	每百斤	〇六五一	一六五	白色亞鉛粉	每百斤	一三一三
一三六	醋酸	每百斤	一六五八	一六六	フラスチック越幾斯	每百斤	〇〇二二
一三六	單寧	每百斤	〇〇二四	一六七	玻璃球(威尼斯珠ト稱スルモノ)	每百斤	六八九六
一三六	炭酸安母紐膜	每百斤	七四二五	一六八	ブレート玻璃片(水銀ヲ塗リタルト否ト別タス)	每百斤	〇六二八
一三六	炭酸結麗阿曹葛	每百斤	〇三五一	一六九	玻璃球(威尼斯珠ト稱スルモノ)	每百斤	一七三八
一三六	重格魯酸阿曹葛	每百斤	二一一三	一七〇	屑玻璃及粉玻璃	每百斤	〇六五
一三六	染料彩料及塗料	每百斤	一九二二	一七一	穀物及種子	每百斤	〇一三〇
一三九	紺青(乾濕ヲ別タス、礦物ヨリ製シタルモノ)	每百斤	六二二三	一七二	大麥	每百斤	〇一〇六
一四一	酸化古拔爾篤	每百斤	四七三〇八	一七三	大豆	每百斤	〇一三七
一四三	花綠青	每百斤	〇〇三五	一七四	胡麻子	每百斤	〇二五〇
一四四	沒食子及五倍子	每百斤	二八九二	一七五	小麥	每百斤	〇一五九
一四五	雌黃	每百斤	五九二四	一七六	綿種子	每百斤	〇〇六八
一四六	金液	每百斤	一八三三九	一七九	豚毛	每百斤	〇四〇三
一四七	乾藍	每百斤	二一四二七	一八〇	獸骨	每百斤	八五九四
一四八	水藍	每百斤	七三三七	一八三	豚毛	每百斤	八五九四
一五〇	鉛粉(各色)	每百斤	一三二七				

一八五	牛皮及水牛皮(生、乾若クハ鹽漬等)	每百斤	二一七六	二二五	塊	每百斤	〇一三
一八六	鹿皮(生、乾若クハ鹽漬等)	每百斤	二二二一	二二七	條及竿(經一因ノ四分ノ一ヲ超ヘタルモノ)	每百斤	〇四六四
一八七	山馬皮(生、乾若クハ鹽漬等)	每百斤	一〇五三	二二七	繩及帶	每百斤	〇五〇二
一八八	獸蹄	每百斤	〇一七二	二二八	タイ形、アングル形其ノ他類似ノ熱鐵及軟鋼	每百斤	〇五三九
一九〇	牛角及水牛角	每百斤	〇四五四	二二八	軌條	每百斤	〇三八〇
一九二	象牙	每百斤	〇四九九	二二九	ドクスバイキス(軌條附屬ノ)	每百斤	〇五八八
一九五	海馬牙	每百斤	〇一一二	二二九	フレスプレット(軌條附屬ノ)	每百斤	〇四七一
一九六	靴底皮	每百斤	一〇一三七	二二九	板(波形)	每百斤	〇八六七
一九七	羊革	每百斤	一三三六	二二〇	板(波形ヲ除ク)	每百斤	〇八九九
一九七	印度紅革	每百斤	五三三五	二二〇	電鍍板(波形ト否ト別タス)	每百斤	〇九五三
一九八	鼈甲	每百斤	一一一八	二二一	有紋板	每百斤	〇四八六
	甲及ツメ	每百斤	〇一二二	二二二	釘及線釘(大釘、無頭釘、平頭釘、曲頭釘トモ、電鍍セサルモノ)	每百斤	〇五八三
	其他各種	每百斤	〇一二二	二二二	葉鐵鋼(無地)	每百斤	〇九六一
二〇二	安知母尼(塊錠ヲ別タス)	每百斤	〇三九一	二二六	線及經一因ノ四分ノ一ヲ超ヘサル細竿(錫鍍セサルモノ)	每百斤	〇六〇五
二〇三	真鍮	每百斤	五一九五	二二七	電線(電鍍線)	每百斤	〇六七六
二〇三	條及竿	每百斤	四七四八	二二八	線索(電鍍シタルモノ)	每百斤	一八七四
二〇三	板	每百斤	四九二四	二二九	線索(電鍍セサルモノ)	每百斤	〇一七
二〇四	筒及管	每百斤	〇九八六	二二九	故線索(電鍍シタルト否ト別タス)	每百斤	〇一四一
二〇六	故真鍮(改造適用ノモノ)	每百斤	五二〇六	二三〇	故線其ノ他改造適用ノ故鐵及故軟鋼	每百斤	〇一四四
二〇八	條及竿	每百斤	五二〇六	二三一			
二〇八	板	每百斤	五二〇六	二三一			
二〇九	釘	每百斤	六〇一〇	二三二			
二〇九	筒及管	每百斤	五九四八	二三二			
二一〇	線	每百斤	六三〇六	二三三			
二一一	故鋼(改造適用ノモノ)	每百斤	一三四二	二三四			
二一一	日耳曼銀(板、竿及線)	每百斤	一三四二	二三五			
二二四	鐵及軟鋼	每百斤	七五八三	二三五			

箱入ノモノ(半「リットル」ヲ超ヘ「リットル」ヲ超ヘサル十二邊若クハ半「リットル」ヲ超ヘサル二十四邊入)	每箱	九一三六	四二八	塞子	每百斤	六五三〇
葡萄酒 純酒精ノ容量十六度ヲ超ヘサル樽入ノモノ	每リットル	〇〇五一	四三〇	ダイナマイト	每百斤	〇〇六一
箱入ノモノ(半「リットル」ヲ超ヘ「リットル」ヲ超ヘサル十二邊若クハ半「リットル」ヲ超ヘサル二十四邊入)	每箱	二九七二	四三六	天蠶絲(漁用ノモノ)	每百斤	三二七五
純酒精ノ容量十六度ヲ超ヘ二十四度ヲ超ヘサル樽入ノモノ	每リットル	〇一七七	四四〇	海羅	每百斤	〇二八六
箱入ノモノ(半「リットル」ヲ超ヘ「リットル」ヲ超ヘサル十二邊若クハ半「リットル」ヲ超ヘサル二十四邊入)	每箱	四六九三	四四三	阿膠(普通)	每百斤	〇八八六
雜品	每箱	一二五八一	四四五	火藥(無煙火藥ヲ除ク)	每百斤	四九四四
沈香	每百斤	一二六八	四四六	石膏	每百斤	〇〇六四
石絨(板)	每百斤	一七九〇五	四四七	飼草	每百斤	〇一三六
護謨及備答百兒沙	每百斤	一八八九	四五三	牛脂	每百斤	一三三〇
甲生	每百斤	一七九〇五	四五三	豚脂	每百斤	一八六八
乙板	每百斤	〇一〇二	四五三	獸脂類(牛脂及豚脂ヲ除ク)	每百斤	〇九〇九
セリユロイド(板若クハ竿)	每百斤	〇一〇二	四五五	麥芽	每百斤	〇五八一
ホルトランド、セメント	每百斤	〇二四五	四五七	支那蓆(一卷四十碼)	每方ヤール	〇一〇四
白堊及ホワイチンケ	每百斤	一一二九	四五八	椰皮蓆	每百斤	〇七四九
石炭	每ト	一五五七	四六一	チークム(船蓆)	每百斤	〇〇九三
焦炭	每ト	二八四七	四六二	パツキンク(汽機用ノモノ)	每百斤	〇一四九
芋麻繩索(船用ト否トナ別タス)	每百斤	〇九九〇	四六四	瀝青	每百斤	〇三一七
塞子樹皮	每百斤	〇九九〇	四六五	木鋸兒	每百斤	〇一五五
			四六七	巴黎灰	每百斤	〇三九二
			四七一	石墨	每百斤	〇三九二
			四七二	ホルブ(製紙料ノモノ)	每百斤	〇三二九
			四七三	パツテ井	每百斤	〇二八二
			四七五	籐(割キタルト否トナ別タス)	每百斤	〇四八二
			四七八	白檀	每百斤	〇一八五
			四七九	石鹼(普通洗濯用ノモノ)	每百斤	一一五六
			四八四	滑石(塊粉ヲ別タス)	每百斤	〇一二七
			四八五	紫檀	每百斤	〇一六六
				チーキ材	每百立方	一〇〇三五
				本税目ニ掲グル所ノ斤ハ帝國ノ度量衡法ニ依ル		
				「ヤールド」「フット」及「インチ」ハ英國ノ定法尺度ニ依ル		

「ボンド」及「トン」ハ英國ノ「アウチイルヤウボイス」秤量ニ依ル
「ガルロン」ハ米國ノ「スタンダード、ガルロン」ニ依ル
「リットル」ハ佛國ノ「メートル」量法ニ依ル

●加工ノ爲輸入スル物品關稅免除ノ件 明治三十三年八月
法律第八十五號
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル加工ノ爲輸入スル物品關稅免除ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

加工ノ爲輸入スル物品ハ勅令ヲ以テ指定シタルモノニ限り輸入ノ日ヨリ滿一箇年以内ニ再ヒ輸出スルトキハ輸入稅ヲ課セス但シ輸入ノ際擔保トシテ税金ニ相當スル金錢又ハ有價證券ヲ提供スルヲ要ス

●加工ノ爲輸入スル物品ニ關スル件 明治三十三年十一月
勅令第三百九十九號
朕加工ノ爲輸入スル物品ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 明治三十三年法律第八十五號ニ依ルコトヲ得ヘキ物品左ノ如シ

一 彫刻、七寶又ハ象眼ヲ施ス爲輸入スル各種ノ製品

二 繪畫燒附ノ爲輸入スル磁器及陶器

三 色染、捺染若ハ友禪染ノ爲輸入スル布帛又ハ布帛製品

四 刺繡若ハ縁縫ヲ施ス爲輸入スル布帛又ハ布帛製品

第十六類 加工ノ爲輸入スル物品關稅免除ノ件 加工ノ爲輸入スル物品ニ關スル件 二五四五

第三條 海難其ノ他止ムヲ得サル事故ニ由リ入港シタル船舶ニハ噸税ヲ課セス但シ本條ノ事故ニ由ルニアラズシテ貨物ノ積卸ヲ爲ストキハ此ノ限ニアラス

第四條 税關長ニ於テ必要ト認ムルトキハ船舶ノ測度ヲ爲スコトヲ得

第五條 噸税ノ逋脱ヲ圖リ又ハ噸税ヲ納付セスシテ出港シタルトキハ船長ヲ其ノ逋脱ヲ圖リ若ハ納付セザリシ税金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第六條 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關税法ヲ準用ス但シ通告履行ノ期間ハ通告ヲ受ケタル時ヨリ四十八時以内トス

第七條 噸税ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ヲ適用セス

附則

第八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

三十三年勅令第三百十八號
同日施行

●噸税法施行規則 明治三十三年六月勅令第三百二十號

朕噸税法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 噸税法第一條但書ニ依リ一時ニ噸税ヲ納付セントスル者ハ其ノ旨税關又ハ税關支署ニ申告スヘシ

第二條 税關又ハ税關支署ニ於テ噸税ヲ徵收セントスルトキハ其ノ稅金額及納付金庫ヲ指定シテ

納税人ニ告知スヘシ

第三條 海難其ノ他止ムヲ得サル事故ニ因リ開港ニ入港シタル外國貿易船ハ其ノ事由ヲ税關又ハ税關支署ニ證明スヘシ但シ噸税ヲ納付スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 噸税納付濟ノ證明又ハ噸税法第四條ニ依リ測度ヲ受ケタル場合ニ於テ船舶測度證ヲ受ケントスル者ハ税關又ハ税關支署ニ申請シ證書一通ニ付手数料一圓五十錢ヲ納付スヘシ

前項ノ手数料ハ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ之ヲ納付スルコトヲ得

第五條 犯則ノ調査及處分ノ手續ニ關シテハ關税法施行規則ヲ準用ス

附則

本令ハ噸税法施行ノ日ヨリ施行ス

●保稅倉庫法 明治三十年三月法律第十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル保稅倉庫法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

保稅倉庫法

第一章 總則

第一條 保稅倉庫ハ輸入手續未濟ノ貨物ヲ藏置スル所トス

第二條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物ハ其ノ藏置中ハ輸入シタルモノト看做サス

第三條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入税ハ其ノ最初庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス

第四條 保税倉庫ニ若ハ保税倉庫ヨリ輸入手數未済貨物ヲ運搬スルトキハ命令ヲ以テ定ムル通路ニ依ルベシ

第五條 保税倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ貨物ノ種類ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 保税倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入ニ關シテハ此ノ法律ニ規定シタルモノノ外稅關法及稅關規則ヲ適用ス

第七條 保税倉庫ノ貨物藏置期限ハ庫入ノ日ヨリ滿一箇年トス

第八條 保税倉庫ニ藏置ノ貨物庫移ヲ爲ストキハ其ノ藏置期限ハ總テ最初庫入ノ日ヨリ通算ス

第九條 輸入手數未済ノ貨物ヲ運搬スルトキハ當該官廳ハ貨主ヲシテ其ノ貨物ニ對スル輸入稅金ヲ假納セシムルコトヲ得

前項ノ貨物陸揚申告ノ日ヨリ滿一箇年ヲ過キテ仕向地ニ到達セサルトキハ其ノ輸入稅ヲ徵收ス

第二章 官設保税倉庫

第十條 官設保税倉庫ニ藏置スル貨物ニ對シテハ記名ノ預證券ヲ發スルモノトス

第十一條 預證券ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得

第十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其ノ旨當該官廳ニ届出ヘシ

前項ノ場合ニ於テ民事訴訟法ニ依リ其ノ證券ヲ無効トスル除權判決アリタルトキハ權利者ニ新證券ヲ交付ス

第十三條 前條第一項ノ届出アリタル預證券ヲ持參スル者アルトキハ持參人及届出人ニ於テ相當ノ手

續ヲ爲シ其ノ權利者確定スル迄藏置貨物ノ引渡ヲ停止ス

第十四條 藏置ノ貨物ハ預證券引換ニ交付スルモノトス

第十五條 藏置貨物引取ノ權利ニ付訴訟アルトキハ其ノ當事者ハ藏置期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 藏置期限ヲ經過シテ貨主貨物ヲ引取ラサルトキハ無請求品トシ當該官廳ハ其ノ貨物ノ記號、番號、品名、箇數等ヲ公告スヘシ

前項公告ノ日ヨリ滿六箇月ヲ經テ之ヲ引取ル者ナキ時ハ當該官廳ハ其ノ貨物ヲ競賣ニ付シ輸入稅、公告料、競賣手數料、庫敷料其ノ他一切ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ貨主ニ還付ス

第十七條 藏置ノ貨物腐敗其ノ他ノ事故ニ因リ倉庫又ハ他ノ貨物ヲ害スルノ虞アルトキハ當該官廳ハ公告シテ指定ノ期限内ニ其ノ引取ヲ命スヘシ此ノ期限ヲ經過スルモ其ノ貨物ヲ引取ラサルトキハ當該官廳ハ之ヲ滅却スルコトヲ得但シ緊急ノ必要アルトキハ期限内ニ於テモ仍之ヲ滅却スルコトヲ得

前項ニ依リ滅却シタル貨物ニ對シテハ輸入稅ヲ徵收セス

第三章 私設保税倉庫

第十八條 保税倉庫ヲ設ケ輸入手數未済ノ貨物ヲ保管スル業ヲ營マムトスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受クヘシ

第十九條 私設保税倉庫ノ庫主ハ當該官廳ノ指揮監督ヲ承クヘシ

第二十條 私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ保管スル貨物ノ輸入稅ニ付自ラ一切ノ責任ヲ有シ天災事變其ノ他何等ノ事故ニ因ルヲ問ハス貨物紛失滅失シ若ハ盜難ニ罹ルモ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十一條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保管貨物輸入税ノ擔保トシテ金錢又ハ國債證券ヲ供託スヘシ

第二十二條 私設保稅倉庫ニハ庫主ニ屬スル貨物ヲ藏置スルコトヲ得ス

第二十三條 私設保稅倉庫ニ保管スル貨物ニシテ其ノ庫入ノ日ヨリ滿一箇年ヲ過クルトキハ輸入税ヲ徵收ス

第二十四條 私設保稅倉庫ノ貨物保管規則及庫敷料ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第二十五條 當該官吏ハ監督上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ私設保稅倉庫ノ貨物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得其ノ貨物運搬中ニ在ルモノハ其ノ所在ニ就キ検査ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 私設保稅倉庫營業ノ特許ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

一 庫主其ノ營業ヲ廢シタルトキ

二 庫主死亡シタルトキ

三 庫主破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 特許ノ期限滿了シタルトキ

五 主務大臣ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ

第二十七條 私設保稅倉庫營業ノ特許消滅シタルトキハ當該官廳ハ其ノ旨ヲ公告シ貨主ヲシテ指定ノ期限内ニ其ノ藏置貨物ノ處分ヲ爲サシムヘシ但シ前營業者ノ業務ヲ引繼クカ爲ニ特許消滅後一箇月以内ニ營業ノ特許ヲ出願スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ指定期限ヲ過ルモ貨主其ノ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ當該官廳ハ之ヲ官設保稅倉庫又ハ他ノ私設保稅倉庫ノ保管ニ移スヘシ

前項庫移ノ費用ハ貨主ノ負擔トス

第二十八條 營業特許ノ消滅シタル私設保稅倉庫ノ庫主又ハ其ノ相續人ハ其ノ藏置貨物ノ引取又ハ庫移ノ了ル迄ハ私設保稅倉庫ニ關スル一切ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十九條 第二十七條第二項ニ依リ藏置貨物ノ庫移ヲ爲シタルトキハ貨主ハ其ノ保稅倉庫ニ於ケル諸般ノ規則慣例ヲ遵守スルノ義務アルモノトス

第三十條 左ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ營業ノ特許ヲ取消スコトヲ得

一 業務ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキ

二 庫主輸入税ノ負擔ニ堪ヘサルノ疑アルトキ

三 庫主重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

第四章 罰則

第三十一條 當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ保稅倉庫ヨリ貨物ヲ庫出スルコトヲ得ス犯ス者ハ其ノ貨物ヲ沒收ス若既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徵ス

第四條ノ規程ニ違背シタル者罰前項ニ同シ

第三十二條 當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ保稅倉庫ニ貨物ヲ庫入レスルコトヲ得ス犯ス者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 主務大臣ノ認可ヲ受ケスシテ私設保税倉庫ノ貨物保管規則又ハ庫敷料ヲ定メタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ規程ニ違背シタル者罰前項ニ同シ

第三十四條 第二十五條ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

附則

第三十五條 此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

●保税倉庫法施行細則明治三十年六月大藏省令第九號

保税倉庫法施行細則左ノ通相定ム

保税倉庫法施行細則

第一章 貨物ノ藏置及運搬

第一條 官設保税倉庫ニハ左ノ各項ニ觸レサル物品ハ之ヲ藏置スルコトヲ得

- 一 無税品
- 二 巨大ナルモノ及重量ナルモノ
- 三 損傷腐敗セシモノ又ハ損傷腐敗シ易キモノ
- 四 發火質、燃焼質又ハ爆發質ノモノ
- 五 倉庫又ハ他ノ貨物ヲ汚損スヘキモノ
- 六 動物及植物
- 七 不潔物

第二條 私設保税倉庫ニ藏置スル貨物ノ種類ハ大藏大臣ノ認可ヲ得タルモノニ限ル

第三條 保税倉庫ニ貨物ヲ藏置セントスル者ハ庫入申告ヲ倉庫所在地ノ税關又ハ税關支署ニ差出シ貨物ノ検査ヲ經庫入免狀ヲ受ケヘシ但同送貨物ナルトキハ第七條ノ同送免狀ヲ添付スヘシ(三十二年大藏省令第三十一號ヲ以テ削除)
(三十二年太藏省令第三十一號ヲ以テ削除)
(三十二年大藏省令第三十一號ヲ以テ條中改正)

第四條 藏置貨物ヲ庫移セントスル者ハ庫移願書ヲ税關又ハ税關支署ニ差出シ庫移免狀ヲ受ケヘシ但庫移ノ爲メ同送ヲ要スルトキハ此限ニアラス

第五條 藏置貨物ヲ外國ニ積戻スル者ハ積戻願書ヲ船積港ノ税關又ハ税關支署ニ差出シ積戻免狀ヲ受ケヘシ但同送貨物ナルトキハ第七條ノ同送免狀ヲ添付スヘシ

第六條 保税倉庫ニ藏置ノ貨物ヲ外國ニ積戻ス爲メ運搬ヲ要スルトキ亦前項ニ同シ

第七條 税關又ハ税關支署ニ於テ必要アリト認ムルトキハ貨主ヲシテ同送貨物ニ對スル輸入税金ヲ假納セシムヘシ

第八條 同送貨物仕向地ニ到達スルトキハ其同送免狀ニ仕向地ノ税關又ハ税關支署ノ證明ヲ受ケ發送地ノ税關又ハ税關支署ニ差出スヘシ其税金ヲ假納シタルモノハ其際之ヲ拂戻スモノトス

第九條 同送貨物仕向地ニ到達セサルモノアルトキハ其貨物ニ對スル税金ヲ徵收ス但假納金アルトキハ其假納金ヲ以テ税金ニ充ツルモノトス

第十條 税關又ハ税關支署ニ於テ必要ト認ムルトキハ貨物運搬ノ途中税關官吏ヲシテ之ヲ監督セシムルコトアルヘシ

第十一條 官設保税倉庫藏置ノ貨物引取ノ權利ニ付訴訟アル場合ニ於テ其當事者ヨリ藏置期限ノ延期ヲ請ハントスルトキハ其期限ヲ豫定シ出訴ノ年月日、事由及出訴シタル裁判所ノ名稱等ヲ記シタル藏置期限延期願書ヲ税關又ハ税關支署ニ差出シ認許ヲ受ケヘシ但延期豫定期限内ニ訴訟事件終結セサルトキハ更ニ延期ヲ求ムルコトヲ得

第十二條 包裝ノ完全ナラサル貨物ハ改装シタル上ニ非レハ庫入スルコトヲ得ス

第十三條 庫入シタル貨物ハ税關官吏ノ指定シタル場所ニ藏置スヘシ税關官吏ノ許可ヲ受クルニ非レハ其場所ヲ變更スルコトヲ得ス

第十四條 他ノ貨物ヲ傷害若クハ汚損スヘキ虞アル貨物ハ他ノ貨物ト混同シテ藏置スルコトヲ得ス

第十六條 藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスル者ハ其品名及數量ヲ記シタル書面ヲ税關又ハ税關支署ニ差出シ承認ヲ受クヘシ
官設保税倉庫ヨリ見本ヲ取出サントスルトキハ前項ノ書面ニ預證券ヲ添フヘシ税關又ハ税關支署ハ其取出シタル見本ノ數量及取
出ノ年月日ヲ預證券ニ記入シタル上之ヲ還付ス

第二章 預證券

第十七條 官設保税倉庫ニ貨物ノ庫入ヲ了シタルトキハ税關又ハ税關支署ハ税關長若クハ税關支署長ノ署名捺印シタル預證券ヲ貨
主ニ交付ス(三十二年大藏省令第三十
一號ヲ以テ第二號中改正)

預證券ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 貨物ノ品名、記號、番號、箇數、數量
- 二 最初陸揚及庫入ノ年月日
- 三 貨主ノ住所氏名
- 四 倉庫所在地及番號
- 五 輸入税額
- 六 庫敷料

第十八條 預證券ハ每品一通トス但貨主ノ請求ニ依リ分割スルコトアルヘシ

第十九條 預證券ノ裏書ハ被裏書人ノ氏名又ハ商號、裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス但裏書人ノ署名ノミ
ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得(三十二年大藏省令第
三十一號ヲ以テ改正)

第二十條 預證券ニ記載シタル貨物ノ一部ヲ庫出シタル者ハ其殘留スル貨物ニ對シ預證券ノ再渡ヲ請フヘシ(三十二年大藏省令第
三十一號ヲ以テ條中
改正)

第二十一條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其證券ヲ發シタル税關又ハ税關支署ニ届出ヘシ
前項ノ預證券發見ノ場合ニ於テモ亦同シ

第二十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキ新證券ノ交付ヲ請ハントスル者ハ再渡願書ニ除權判決書ノ謄本ヲ添ヘ其證
券ヲ發シタル税關又ハ税關支署ニ差出スヘシ

第二十三條 預證券ノ分割、再渡又ハ書換ヲ請フ者ハ手数料トシテ一通ニ付金三十錢ヲ納ムヘシ

第三章 私設保税倉庫營業ノ特許及庫主ノ責務

第二十四條 保税倉庫法ニ依リ保税倉庫ヲ設ケ輸入手數未済貨物ヲ保管スルノ業ヲ營マントスル者ハ其倉庫ノ位置、構造、棟數、
坪數、藏置スヘキ貨物ノ種類、營業年限ヲ記シタル書面及倉庫並附近ノ圖面ヲ添ヘ其倉庫ヲ設立セントスル地ノ管轄地方廳ヲ經
由シテ大藏大臣ニ出願スヘシ但會社又ハ外國會社ノ支店ニ在テハ別ニ定款ノ謄本ヲ添フヘシ(三十二年大藏省令第三十
一號ヲ以テ條中改正)

第二十五條 私設保税倉庫營業ノ特許ハ三十箇年以内ニ於テ相當ノ期限ヲ定メ之ヲ與フルモノトス但特許期限ノ延期ヲ出願スル者
アルトキハ調査ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十六條 私設保税倉庫營業ノ特許ヲ得タル者ハ少クモ開業ノ日ヨリ十日目前ニ擔保物ヲ供託シ其供託受領證ノ寫ヲ添ヘ税關又ハ
税關支署ニ届出ヘシ

第二十七條 擔保ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ徵ス但單一ノ種類ノ物品ヲ藏置スル倉庫ニ在リテハ擔保金額ハ左ノ割合ノ範圍内ニ於テ
特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第二十八條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第二十九條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十一條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十二條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十三條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十四條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十五條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十六條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十七條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十八條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十九條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第四十條 特許又ハ藏置貨物ノ種類變更ノ際大藏大臣之ヲ定ム(三十二年大藏省令第三
十一號ヲ以テ但書改正)

第三十二條 施設保税倉庫ノ修繕又ハ造作ノ變更ヲ爲サントスルトキハ庫主ハ税關又ハ税關支署ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第三十三條 庫主施設保税倉庫ノ營業特許期限内ニ營業ヲ廢セントスルトキハ其旨ヲ税關又ハ税關支署ニ届出ヘシ

第三十四條 施設保税倉庫營業ノ特許消滅ノトキ其業務ヲ引繼カントスル者ハ第二十四條ノ規定ニ準據シ大藏大臣ニ出願スヘシ但此場合ニ於テ其使用スル倉庫ニ異動ナキモノハ圖面ヲ添付スルヲ要セス

第三十五條 施設保税倉庫藏置ノ認可ヲ得タル貨物ノ種類ヲ變更セントスルトキハ大藏大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第三十六條 發火質、燃焼質又ハ爆發質ノ貨物ハ特ニ其貨物藏置ノ爲メ設ケタル倉庫ノ外之ヲ藏置スルコトヲ得ス

第三十七條 施設保税倉庫又ハ其藏置貨物ニ異状アリタルトキハ直チニ其旨ヲ税關又ハ税關支署ニ申出テ税關官吏ノ臨檢ヲ受クヘシ

第三十八條 施設保税倉庫藏置ノ貨物盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ庫主ハ其貨物ニ對スル輸入税ヲ納ムヘシ

第三十九條 施設保税倉庫藏置ノ貨物藏置期限ヲ經過シ貨主其貨物ヲ引取ラサルトキハ税關又ハ税關支署ハ庫主ヲシテ納税其他輸入ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第四十條 施設保税倉庫ノ庫主自身ニ業務ヲ擔當スル能ハサルトキハ相當ノ代理者ヲ置キ其業務ヲ擔當セシムヘシ

第四十一條 施設保税倉庫ノ庫主ハ税關長又ハ税關支署長ノ指揮ニ從ヒ貨物檢査上必要ノ場所ヲ設ケ器具機械ヲ具ヘ其他相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第四十二條 施設保税倉庫ノ庫主ハ貨物ノ檢査ヲ受ケルトキ檢査上一切ノ利便ヲ與フルノ義務アルモノトス

第四十三條 施設保税倉庫ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其鑰一箇ハ税關又ハ税關支署ノ保管ニ付スヘシ

第四十四條 施設保税倉庫ノ開閉又ハ貨物ノ出入ヲ爲ストキハ税關官吏ノ立會ヲ受クヘシ

第四十五條 施設保税倉庫ノ業務ニ從事スル者ノ氏名ハ其庫主ヨリ税關又ハ税關支署ニ届出ヘシ其變更アルトキ亦同シ

第四十六條 庫主ノ雇人及其使用スル人夫ニシテ施設保税倉庫内若クハ其構内ニ出入スル者ニ付テハ庫主ハ相當ノ取締方法ヲ設クヘシ

第四十七條 施設保税倉庫ノ庫主ハ藏置貨物ニ關スル帳簿ヲ設ケ其出入ヲ明カニスヘシ

第四十八條 施設保税倉庫ノ庫主ハ税關又ハ税關支署ノ要求ニ從ヒ其營業ニ關スル諸般ノ報告書ヲ差出スヘシ

第四章 雜則

第四十九條 施設保税倉庫ノ開扉ハ日出ヨリ日没マテノ間ニ限ルモノトス

第五十條 税關ノ休日ニ於テ保税倉庫ノ開扉ヲ要スルトキハ臨時開庫願書ヲ税關又ハ税關支署ニ差出シ特許ヲ受クヘシ

第五十一條 税關ノ休日ニ於テ保税倉庫ノ開扉ヲ要スルトキハ一時間ニ付金一圓ノ手数料ヲ納ムヘシ

第五十二條 保税倉庫法第十六條第十七條及第二十七條ノ公告ハ關係ノ税關又ハ税關支署ニ揭示スルノ外三日以上官報又ハ新聞紙ヲ以テ公告スヘシ

第五十三條 貨物庫入ノ日ヨリ起算スル期間ハ庫入免狀交付ノ日ヨリ計算ス

第五十四條 貨主其藏置貨物ノ調査ヲ爲サントスルトキハ税關又ハ税關支署ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第五十五條 庫内ニ火氣ヲ入ル、コトヲ得ズ燈火ヲ要スルトキハ軍艦用ノ提燈ヲ用ユヘシ

第五十六條 (三十二年大藏省令第三十一號ヲ以テ削除)

第五十七條 本規則ニ依ル手数料ハ其金額ニ相當スル收入印紙ヲ願書ニ貼用シテ納付スヘシ(三十二年大藏省令第三十一號ヲ以テ條中改正)

第五十八條 官設保税倉庫ニ藏置ノ貨物ニ係ル運搬費公告料其他貨物取扱ノ費用ハ貨主ノ負擔トス

前項ノ諸費ニシテ政府ニ辨償スヘキモノハ貨物庫出ノトキ税關又ハ税關支署ニ納ムヘシ

第五十九條 官設保税倉庫ノ藏置貨物取扱ニ從事スル人夫ハ豫メ税關又ハ税關支署ノ承認ヲ得タル者ニ限ルヘシ

第六十條 本規則ニ依リ税關又ハ税關支署ニ差出スヘキ申告書願書及届書ハ税關一定ノ書式ニ依ルヘシ(三十二年大藏省令第三十一號ヲ以テ條中改正)

●保税倉庫法ニ依ル通路(明治三十四年十一月大藏省令第二十五號)

保税倉庫法第四條ノ通路左ノ通相定ム(三十五年大藏省令第二號ヲ以テ本令中改正)

●横濱東京間

官設鐵道若ハ横濱港ヨリ隅田川口及ヒ隅田川口ヨリ小名木川ヲ經テ東京府南葛飾郡砂村大字表龜高ニ至ル直航水路

●横濱神戸間

官設鐵道

●國稅徵收法(明治三十年三月法律第二十一號)

第十六類 保税倉庫法ニ依ル通路 國稅徵收法

沿革略記

明治五年九月第二百八十五號布告ヲ以テ租稅延納者處分ヲ定ム●九年一月第四號布告ヲ以テ前令ヲ改正ス●十年十一月第七十九號布告ヲ以テ前令ヲ廢シ租稅未納處分ヲ定ム●二十二年三月法律第九號ヲ以テ國稅徵收法ヲ制定ス○同年十二月法律第三十二號ヲ以テ租稅未納處分ヲ廢シ國稅滯納處分法ヲ制定ス●三十年三月法律第二十一號ヲ以テ國稅徵收法及國稅滯納處分法ヲ廢シ更ニ國稅徵收法ヲ制定ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國稅徵收法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
國稅徵收法

第一章 總則

第一條 國稅ノ徵收ハ關稅其ノ他別ニ法律ヲ以テ定ムルモノノ外總テ此ノ法律ニ依ル

第二條 國稅ノ徵收ハ總テノ他ノ公課及債權ニ先ツモノトス

第三條 納稅人ノ財産上ニ質權又ハ抵當權ヲ有スル者其ノ質權又ハ抵當權ノ設定カ國稅ノ納期限ヨリ一箇年前ニ在ルコトヲ公正證書ヲ以テ證明シタルトキハ該物件ノ價額ヲ限トシ其ノ債權ニ對シテ國稅ヲ先取セサルモノトス

第四條ノ一 納稅人左ノ場合ニ該當スルトキハ未タ納期ノ到ラサルモ既ニ納稅義務ノ確定シタル國稅ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得(三十五年法律第三十六號ヲ以テ第(四條ヲ改メ第四條ノ一乃至八トス)

- 一 國稅ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
- 二 府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
- 三 強制執行ヲ受クルトキ
- 四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

五 競賣ノ開始アリタルトキ
六 法人カ解散ヲ爲シタルトキ
七 納稅人脫稅又ハ遁稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ
八 納稅人ニ對シテ其ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

第四條ノ二 前條第二號乃至第五號ノ場合ニ於テ徵收スヘキ國稅ハ府縣稅其ノ他ノ公課ノ督促手數料及滯納處分費、強制執行費用、破産手續上ノ費用又ハ競賣費用ニ先チテ之ヲ徵收セシム

督促手數料及滯納處分費ハ國稅其ノ他總テノ公課及債權ニ先チテ之ヲ徵收ス但シ第四條ノ一第二號乃至第五號ノ場合ニ於ケル府縣稅其ノ他ノ公課ノ督促手數料及滯納處分費、強制執行費用、破産手續上ノ費用又ハ競賣費用ニ先チテ之ヲ徵收セス

第四條ノ三 相續開始ノ場合ニ於テハ國稅、督促手數料及滯納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收ス但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ國稅、督促手數料及滯納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス

第四條ノ四 共有物、共同事業又ハ共同事業ニ因リ生シタル物件ニ係ル國稅、督促手數料及滯納處分費ハ納稅者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第四條ノ五 同年ノ地租、營業稅、所得稅、醬油稅及同酒造年度ノ酒造稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一稅目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第四條ノ六 納稅義務者納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲
納稅管理人ヲ定メ政府ニ申告スヘシ其ノ納稅管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ他ノ法令ニ特別ノ
規定アルモノハ各其ノ法令ニ依ル

第四條ノ七 納稅ノ告知、督促及滯納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相
續財團ニシテ財産管理人アルトキハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

納稅管理人アルトキハ納稅ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限り其ノ住所又ハ居所ニ送達ス
第四條ノ八 書類ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ若ハ其ノ住
所、居所共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送
達アリタルモノト看做ス

第二章 徵收

第五條 市町村ハ其ノ市町村内ノ地租及勅令ヲ以テ命シタル國稅ヲ徵收シ其ノ稅金ヲ國庫ニ送付スル
ノ責任アルモノトス

前項地租徵收ノ費用ハ其ノ市町村ノ負擔トシ其ノ他ノ國稅ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村
ニ交付スヘシ

第六條 國稅ヲ徵收セムトスルトキハ收稅官吏又ハ市町村ハ納稅人ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付
場所ヲ指定シ之ヲ告知スヘシ

第七條 納稅人非常ノ災害ニ罹リ政府ニ於テ其ノ被害調査ノ爲時日ヲ要スルトキハ其ノ間稅金ノ徵收

ヲ爲ササルコトアルヘシ

第八條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ事實ヲ證明シ大藏大臣
ニ稅金送付ノ責任ノ免除ヲ請フコトヲ得

前項ノ申出アリタルトキハ大藏大臣ハ其ノ事實ヲ審査シ其ノ免除ヲ爲スコトヲ得
第九條 國稅ノ納期限ヲ過キ其ノ稅金ヲ完納セサル者アルトキハ收稅官吏ハ期限ヲ指定シ之ヲ督促ス
ヘシ但シ第四條ノ一ニ依リ國稅ノ徵收ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス(三十五年法律第三十
六號ヲ以テ本條改正)

前項ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手数料ヲ徵收ス

第三章 滯納處分

第十條 左ノ場合ニ於テハ收稅官吏ハ納稅者ノ財産ヲ差押フヘシ(三十五年法律第三十
六號ヲ以テ本條改正)

一 納稅者督促ヲ受ケ其ノ指定ノ期限マテニ督促手数料及稅金ヲ完納セサルトキ
二 第四條ノ一第一號及第七號ノ場合ニ於テ納稅者納期ノ到ラサル國稅納付ノ告知ヲ受稅金ヲ完納
セサルトキ

第十一條 收稅官吏滯納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ストキハ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證票ヲ示ス
ヘシ

第十二條 差押フヘキ財産ノ價格ニシテ督促手数料、滯納處分費及第三條ニ依リ控除スヘキ債務額ニ
充テ殘餘ヲ得ル見込ナキトキハ滯納處分ノ執行ヲ止ム(三十五年法律第三十
六號ヲ以テ本條改正)

第十三條 收稅官吏滯納者ノ財産ヲ差押フルニ當リ質權ノ設定セラレタル物件アルトキハ質權設定時

期ノ如何ニ拘テス其ノ質權者ハ質物ヲ收稅官吏ニ引渡スヘシ
 第十四條 收稅官吏財産ノ差押ヲ爲シタル場合ニ於テ第三者其ノ財産ニ就キ所有權ヲ主張シ取戻ヲ請
 求セムトスルトキハ賣却執行ノ五日前ヲテニ所有者タルノ證憑ヲ具ヘテ收稅官吏ニ申出ヘシ
 第十五條 滯納處分ヲ執行スルニ當リ滯納者財産ノ差押ヲ免ルル爲故意ニ其ノ財産ヲ讓渡シ讓受人其
 ノ情ヲ知リ讓受ケタル場合ニ於テ政府ハ其ノ行爲ノ取消ヲ求ムルコトヲ得
 第十六條 左ニ掲クル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス
 一 滯納者及其ノ同居ノ家族ノ生活上缺クヘカラサル衣服、寢具、家具及廚具
 二 滯納者及其ノ同居家族ニ必要ナル一箇月間ノ食料及薪炭
 三 實印其ノ他職業ニ必要ナル印
 四 祭祀禮拜ニ必要ナル物及石碑、墓地
 五 系譜其ノ他滯納者ノ家ニ必要ナル日記書付類
 六 職務上必要ナル制服、祭服、法衣
 七 勳章其ノ他名譽ノ章票
 八 滯納者及其ノ同居家族ノ修學上必要ナル書籍器具
 九 發明又ハ著作ニ係ル物ニシテ未タ公ニセサルモノ
 第十七條 左ニ掲クル物件ハ他ニ督促手數料、滯納處分費及税金ヲ償フニ足ルベキ物件ヲ提供スルコ
 トキハ滯納者ノ撰擇ニ依リ差押ヲ爲ササルモノトス

一 農業ニ必要ナル器具、種子、肥料及牛馬並其ノ飼料
 二 職業ニ必要ナル器具及材料
 第十八條 差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然及法定ノ果實ニ及フモトス
 第十九條 滯納處分ハ裁判上ノ假差押又ハ假處分ノ爲ニ其ノ執行ヲ妨ケラルルコトナシ
 第二十條 收稅官吏財産ノ差押ヲ爲ストキハ滯納者ノ家屋、倉庫及筐匣ヲ搜索シ又ハ閉鎖シタル戸
 扉、筐匣ヲ開カシメ若ハ自ラ之ヲ開クコトヲ得滯納者ノ財産ヲ占有スル第三者其ノ財産ヲ引渡シ拒
 ミタルトキ亦同シ
 第二十一條 家屋、倉庫及筐匣ニ滯納者ノ財産ヲ藏匿スルノ疑アルトキハ收稅官吏ハ前項ニ準シ處分ス
 第二十二條 依リ家屋、倉庫又ハ筐匣ヲ搜索スルハ日出ヨリ日没マテニ限ル
 第二十三條 收稅官吏前條ノ處分ヲ爲ストキハ滯納者若ハ前條ニ掲ケタル第三者又ハ其ノ家族雇人ヲ
 シテ立會ハシムヘシ若シ立會フヘキ者不在ナルトキ又ハ立會ニ應セサルトキハ成丁者二人以上又ハ
 市町村吏員
 第二十四條 動産及有價證券ノ差押ハ收稅官吏占有シテ之ヲ爲ス但シ差押物件運搬ヲ爲スニ困難ナル
 場合ハ市町村長、滯納者又ハ第三者ヲシテ保管ヲ爲サシムル得此ノ場合ニ於テ封鎖封印其ノ他
 ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白トス

第三十五法律第三十
 第三十六法律第三十
 第三十七法律第三十
 第三十八法律第三十
 第三十九法律第三十
 第四十法律第三十
 第四十一法律第三十
 第四十二法律第三十
 第四十三法律第三十
 第四十四法律第三十
 第四十五法律第三十
 第四十六法律第三十
 第四十七法律第三十
 第四十八法律第三十
 第四十九法律第三十
 第五十法律第三十
 第五十一法律第三十
 第五十二法律第三十
 第五十三法律第三十
 第五十四法律第三十
 第五十五法律第三十
 第五十六法律第三十
 第五十七法律第三十
 第五十八法律第三十
 第五十九法律第三十
 第六十法律第三十
 第六十一法律第三十
 第六十二法律第三十
 第六十三法律第三十
 第六十四法律第三十
 第六十五法律第三十
 第六十六法律第三十
 第六十七法律第三十
 第六十八法律第三十
 第六十九法律第三十
 第七十法律第三十
 第七十一法律第三十
 第七十二法律第三十
 第七十三法律第三十
 第七十四法律第三十
 第七十五法律第三十
 第七十六法律第三十
 第七十七法律第三十
 第七十八法律第三十
 第七十九法律第三十
 第八十法律第三十
 第八十一法律第三十
 第八十二法律第三十
 第八十三法律第三十
 第八十四法律第三十
 第八十五法律第三十
 第八十六法律第三十
 第八十七法律第三十
 第八十八法律第三十
 第八十九法律第三十
 第九十法律第三十
 第九十一法律第三十
 第九十二法律第三十
 第九十三法律第三十
 第九十四法律第三十
 第九十五法律第三十
 第九十六法律第三十
 第九十七法律第三十
 第九十八法律第三十
 第九十九法律第三十
 第一百法律第三十

第二十三條ノ一 債權ノ差押ヲ爲ストキハ收税官吏ハ之ヲ債務者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ政府ハ督促手数料、滞納處分費及税金額ヲ限度トシテ債權者ニ代位ス
(三十五年法律第三十
六號ヲ以テ本條改正)

第二十三條ノ二 不動産又ハ船舶ヲ差押ヘタルトキハ收税官吏ハ差押ノ登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ(三十五年法律第三十
六號ヲ以テ本條追加)

差押ノ爲不動産ヲ分割シタルトキハ收税官吏ハ分割ノ登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ

第二十四條 差押ヘタル動産、有價證券、不動産及第二十三條ノ一ニ依リ收税官吏カ第三債務者ヨリ給付ヲ受ケタル物件ハ通貨ヲ除クノ外公賣ニ付ス公賣ノ手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(三十五年法律第三
十六號ヲ以テ本條改正)

公賣ニ付スルモ買受人ナキカ又ハ其ノ價格見積價格ニ達セサルトキハ其ノ見積價格ヲ以テ政府ニ買上ルコトヲ得

第二十五條 見積價格僅少ニシテ其ノ公賣費用ヲ償フニ足ラサル物件ハ隨意契約ヲ以テ之ヲ賣却スルコトヲ得

第二十六條 滞納者及賣却ヲ爲ス地方ノ稅務ニ關スル官吏、公吏、雇員ハ直接ト間接トヲ問ハス其ノ賣却物件ヲ買受クルコトヲ得ス

第二十七條 滞納處分費ハ財産ノ差押、保管、運搬、公賣ニ關スル費用及通信費トス(三十五年法律第三
十六號ヲ以テ本條改正)

第二十八條 物件ノ賣却代金、差押ヘタル通貨及第二十三條ノ一ニ依リ第三債務者ヨリ給付ヲ受ケタル通貨ハ督促手数料、滞納處分費及税金ニ充テ尙殘餘アルトキハ之ヲ滞納者ニ交付ス(上)

賣却シタル物件質權、抵當權ノ目的物タルトキハ其ノ代金ヨリ先ツ督促手数料、滞納處分費及税金ヲ控除シ次ニ其ノ債務額ニ充ツルマテヲ債權者ニ交付シ尙殘餘アルトキハ之ヲ滞納者ニ交付ス但シ第三條ニ掲ケタル質權、抵當權ノ目的タル物件ニ關シテハ其ノ代金ヨリ先ツ督促手数料、滞納處分費ヲ徵シ次ニ其ノ債務額ニ充ツルマテヲ債權者ニ交付シ次ニ税金ヲ控除シ尙殘餘アルトキハ之ヲ滞納者ニ交付ス

第二十九條 會社ニ對シ滞納處分ヲ執行スル場合ニ於テ會社財産ヲ以テ督促手数料、滞納處分費及税金ニ充テ仍不足アルトキハ無限責任社員ニ就キ之ヲ處分スルコトヲ得(三十五年法律第三十
六號ヲ以テ本條中改正)

第三十條 此ノ法律ニ依リ債權者又ハ滞納者ニ交付スヘキ金錢ハ之ヲ供託スルコトヲ得(三十五年法律第
三十六號ヲ以テ本條改正)

第三十一條 滞納處分ヲ結了シ若ハ之ヲ中止シタルトキハ納稅義務及督促手数料、滞納處分費納付ノ義務ハ消滅ス(上)

第四章 罰則

第三十二條 滞納者又ハ滞納者ノ財産ヲ占有スル者其ノ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ契約ヲ爲シタルトキハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

三十五年勅令第二百五十七號
沖繩縣宮古郡八重山郡三行
三十四年法律第三號參看

差押物件ノ保管者其ノ保管ニ係ル物件ヲ藏匿脱漏費消若ハ故意ニ毀損シタルトキ亦同シ
情ヲ知テ前二項ノ所爲ヲ幫助シ又ハ虚偽ノ契約ヲ承諾シタル者ハ各本刑ニ一等ヲ減ス
前各項ノ場合ニ於テ刑法ニ罰條アルモノハ本條ヲ適用セス

第五章 附 則

第三十三條 此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

沖繩縣及東京府管内小笠原島、伊豆七島ニハ當分ニテ施行セス

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テ本法中市町村ニ關スル條項ヲ適用スヘキ公共團體ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

北海道水産物營業人組合ハ本法ニ於テ市町村ニ準ス

第三十四條 明治二十二年法律第九號國稅徵收法、同年法律第三十二號國稅滯納處分法及同二十三年

法律第四號ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

●國稅徵收法施行規則明治三十五年四月勅令第三百三十五號

●國稅徵收法施行規則明治三十五年四月勅令第三百三十五號

第一條 收稅官吏國稅ヲ徵收セムトスルトキハ納稅人ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スヘシ但シ金庫ニ納付セシムル場合ノ外口頭ヲ以テ告知スルコトヲ得

第二條 市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ハ收稅官吏書面ヲ以テ其ノ金額ヲ市町村ニ通知スヘシ

市町村ハ前項ノ通知ニ依リ納稅人ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スヘシ

第三條 國稅徵收法第四條ノニ依リ納期ノ到ラサル稅金ヲ徵收セムトスルトキハ納期日ヲ定メ

第一條ノ告知又ハ第二條ノ通知ヲ爲スニ同時ニ其ノ旨告知又ハ通知スヘシ

納稅告知ヲ爲シタル後國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ納期日前之ヲ徵收セムトスルトキハ收稅官吏ハ納期日ヲ變更ヲ納稅人ニ告知スヘシ

前項ノ國稅ニシテ市町村ノ徵收スルモノナルトキハ納稅人ニ告知スルト同時ニ其ノ旨市町村ニ通知スヘシ

第四條 市町村ニ於テ稅金ヲ徵收シタルトキハ領收證ヲ納稅人ニ交付スルニ依リ

第五條 市町村ニ於テ徵收シタル稅金ハ送付書ヲ添ヘ漸次之ヲ金庫ニ送付スヘシ但シ納期後三日

第六條 市町村ニ於テ國稅徵收法第八條ニ依リ稅金送付ノ責任ノ免除ヲ請ハムトスルトキハ地方

長官ヲ經由シテ大藏大臣ニ申請書ヲ提出スヘシ

第七條 市町村ハ納期内ニ稅金ヲ納付了ラサル者アルトキハ直ニ其ノ氏名、住所若ハ居所及納

金額滯納ノ事由ヲ所轄稅務署ニ報告スヘシ

第十六類 國稅徵收法施行規則

二五六九

第八條 國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ徵收スルコトヲ得ル國稅ハ左ニ掲クルモノニシテ納期ニ到リ税金ノ徵收ヲ完ウスルコト能ハスト認ムルモノニ限ル

- 一 納稅ノ告知ヲ爲シタル諸稅
- 二 造石數査定濟ノ酒類、酒精、酒精含有飲料並醬油ノ造石稅及造石數査定濟ノ麥酒稅
- 三 當該年分ノ自家用醬油製造稅

第九條 納稅義務者納稅管理人ヲ定メ若ハ變更シタルトキハ其ノ氏名及住所若ハ居所ヲ所轄稅務署ニ申告スヘシ

納稅管理人其ノ氏名、住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ之ヲ所轄稅務署ニ申告スヘシ
市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ係ルトキハ前二項ノ申告ハ其ノ市町村ヲ經由スヘシ

第十條 國稅徵收法ニ依ル書類ノ送達ハ使丁又ハ郵便ニ依ルヘシ

第十一條 國稅徵收法第九條ニ依リ納稅ノ督促ヲ爲サムトスルトキハ收稅官吏ハ納稅者ニ對シ督促狀ヲ發スヘシ

督促狀ヲ發シタルトキハ手數料トシテ金十錢ヲ徵收ス

第十二條 質權又ハ抵當權ノ設定セラレタル財産ヲ差押フルトキハ收稅官吏ハ督促手數料、滯納處分費及税金額其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ債權者ニ通知スヘシ

國稅ニ對シ先取權ヲ有スル債權者前項ノ通知ヲ受ケ其ノ權利ヲ行使セムトスルトキハ證憑書類ヲ添ヘ其ノ事實ヲ證明スヘシ

第十三條 民事訴訟法ニ依リ假差押ヲ受ケタル財産ヲ差押フルトキハ之ヲ執行裁判所又ハ執達吏若ハ強制管理人ニ通知スヘシ假處分ヲ受ケタル財産ヲ差押フルトキ亦之ニ準ス

第十四條 差押フヘキ財産管轄區域外ニ在ルトキハ收稅官吏ハ其ノ財産所在地ノ收稅官吏ニ滯納處分ノ引繼ヲ爲スヘシ

第十五條 差押フヘキ財産數人ノ共有ニ係ルトキハ滯納者ニ屬スル持分ニ就キ滯納處分ヲ爲シ其ノ持分ノ定メナキモノハ持分相均キモノトシテ處分スヘシ

第十六條 收稅官吏財産ヲ差押ヘタルトキハ差押調書二通ヲ作り立會人ト共ニ之ニ署名捺印シ其ノ一通ハ立會人ニ交付スヘシ但シ立會人ニ於テ署名捺印ヲ拒ミ又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ
差押調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 滯納者ノ氏名及住所若ハ居所
- 二 差押財産ノ名稱、數量、性質、重要ナル事情並所在ヲ明ニスル事項
- 三 差押ノ事由
- 四 調書ヲ作りタル場所年月日

前二項ノ規定ハ債權ノミノ差押ニハ之ヲ適用セス
第十七條 收稅官吏財産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ滯納者又ハ第三者ヨリ督促手數料、滯納處分費及税金ヲ完納シタルトキハ其ノ財産ノ差押ヲ解クヘシ

第十八條 公賣ハ入札又ハ競賣ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十九條 國稅徵收法第二十四條ニ依リ公賣ヲ爲サントスルニキハ左ノ事項ヲ公告スヘシ

一 滞納者ノ氏名及住所若ハ居所

二 公賣財産ノ名稱、數量、性質、重要ナル事情並所在ヲ明ニスル事項

三 入札又ハ競賣ノ場所、日時

四 開札ノ場所、日時

五 保證金ヲ徵スルトキハ其ノ金額

六 代金納付ノ期限

第二十條 財産公賣ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ加入保證金又ハ契約保證金ヲ徵スヘシ

落札者又ハ買受人義務ヲ履行セサルトキハ其ノ保證金ハ之ヲ政府ノ所得トシ

第二十一條 公賣ハ財産所在ノ市區町村内ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ收稅官吏必要ト認ムルトキハ

他ノ地方ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 公賣ハ公告ノ初日ヨリ十日ノ期間ヲ過キタル後之ヲ執行スヘシ但シ其ノ物件不相應

ノ保存費ヲ要スルモノ若ハ著シク其ノ價格ヲ減損スルノ虞アルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 財産ヲ公賣セムトスルトキハ收稅官吏其ノ財産ノ價格ヲ見積リ之ヲ封書トシ公賣

ノ場所ニ置クヘシ

第二十四條 記名式又ハ指圖式有價證券ヲ賣却シタルトキハ收稅官吏ハ期限ヲ指定シ滞納者ヲシ

テ權利移轉ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前項ノ期間内ニ滞納者其ノ手續ヲ爲ササルトキハ收稅官吏ハ滞納者ニ代リテ之ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 入札ノ方法ヲ以テ公賣ニ付スル場合ニ於テ落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者

二名以上アルトキハ其ノ同價ノ入札人ヲシテ追加入札ヲ爲サシメ落札者ヲ定ム追加入札ノ價格

仍同キトキハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ム

第二十六條 財産ヲ公賣ニ付スルモ買受人ナキカ又ハ其ノ價格見積價格ニ達セサルトキハ更ニ

公賣ヲ爲スコトアルヘシ

第二十七條 公賣財産ヲ買受人代金納付ノ期限マテニ其ノ代金ヲ完納セサルトキハ收稅官吏ハ其

ノ賣買ヲ解除シ更ニ之ヲ公賣ニ付スヘシ

第二十八條 前二條ニ依リ再公賣ヲ爲ス場合ニ於テハ第二十二條ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第二十九條 國稅徵收法第四條ノ第二號乃至第六號ニ該當スル場合ニ於テハ收稅官吏ハ當該官

廳、公共團體、執行裁判所、執達吏、強制管理人、破産主任官又ハ清算人ニ督促手数料、滞納

處分費及滞納税金ノ交付ヲ求ムヘシ但シ他ニ差押フヘキ財産アル時ハ之ヲ差押フルコトヲ妨ケス

第三十條 滞納處分ヲ結了シタルトキハ收稅官吏ハ其ノ處分ニ關スル計算書ヲ作リ之ヲ滞納者ニ

交付スヘシ

賣却シタル財産ニ對シ質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ其ノ計算ニ關スル記録ノ閱覽ヲ收稅官吏ニ

求ムルコトヲ得

第三十一條 納稅告知督促及滯納處分ニ關スル公告ハ稅務署ニ之ヲ爲スヘシ但シ必要ト認ムルト
キハ稅務署ノ外適當ノ場所ニ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

附則

第三十二條 市制町村制ヲ施行セサル地方稅務署所在ノ地方ノ戶長ハ稅務署收稅官吏ノ通知ヲ受ケ其ノ町
村內ノ國稅酒類、酒精、酒精含有飲料並ニ醬油ノ遺石稅及麥酒稅ヲ除クヲ徵收シ之ヲ金庫ニ拂込ムヘシ

第三十三條 前條ニ依リ徵收スヘキ國稅ヲ其ノ納期內ニ完納セサル者アルトキハ戶長ハ本則中ニ
規定セル市町村ノ例ニ準シ所轄稅務署ニ報告スヘシ

第三十四條 本令中市町村ニ關スル規定ハ國稅徵收法第三十三條ニ依リ指定セラレタル公共團體
ニ之ヲ準用ス

第三十五條 本令ハ明治三十五年法律第三十六號國稅徵收法中改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十年勅令第二百二十一號ハ之ヲ廢止ス

●國稅徵收法ニ依ル公共團體指定明治三十三年三月勅令第四十七號
朕國稅徵收法ニ依ル公共團體指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道區制ニ依ル區北海道一級町村制及北海道二級町村制ニ依ル町村沖繩縣間切島規程ニ依ル間
切島ハ國稅徵收法第三十三條第三項ノ公共團體ト指定ス(三十五年勅令第五十五號同第二
百七十六號ヲ以テ本令中改正)

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國稅徵收法施行細則三十年六月大藏省令第十號

國稅徵收法施行細則左ノ通相定ム

第一條 國稅徵收法施行規則第一條ノ納稅告知書ハ稅務署長ニ於テ第一號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ(三十五年大藏省令第八號ヲ
以テ本條改正同第二十六號
ヲ以テ條
中改正)

第二條 市町村市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ戶長
ニ送付スヘシ其ノ異動ヲ生シタルトキハ更ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三條 一 市町村市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ戶長
前條ノ納額通知書ヲ受ケタルトキハ第三號書式ノ納稅告知書ヲ調製シ之ヲ納稅人ニ交付
スヘシ(三十五年大藏省令第八號ヲ以
テ第三條第三條ノ一トス)

第三條 二 納稅人納稅告知書ヲ受ケタルトキハ稅金ニ納稅告知書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ場所ニ納付スヘシ(三十五年大藏省令
第八號ヲ以テ追加)

第四條 市町村其ノ領收シタル稅金ヲ金庫ニ送付スルトキハ第四號書式ノ送付書ヲ添付スヘシ

第五條 市町村市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ戶長 滯納ノ報告ヲ爲ストキハ第五號書式ノ滯納報告書ヲ調製シ稅務署ニ送付スヘシ送付後ニ其ノ
報告書ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六條 稅金納付ノ督促ヲ爲ストキハ稅務署長ハ第六號書式ノ督促狀ヲ發スヘシ
前項ノ督促ヲ爲ストキハ第七號書式第八號書式ノ納付書ヲ添付スヘシ但シ收稅官吏ノ納稅告知書ヲ發シタル稅金ニ係ルトキハ第
七號書式ノ納付書ヲ添付スルヲ要セス(三十五年大藏省令第八號
ヲ以テ本項改正次項追加)

第七條 稅金及督促手数料、滯納處分費ハ郵便爲替、日本銀行若ハ其ノ代理店ニ宛テタル送金手形又ハ日本銀行若ハ其ノ代理店ニ於
テニ係ルトキハ納稅告知書ヲ添付スルヲ要セス

第十六類、國稅徵收法ニ依ル公共團體指定 國稅徵收法施行細則

テ證明シタル小切手ヲ以テ納付スルコトヲ得(三十五年大藏省令第
八號ヲ以テ條中改正)

第八條 納税人ハ指定ノ納付場所以外ノ地ニ於テ納税スルヲ便トスルトキハ稅務署ニ申告シテ納付場所ノ變更ヲ求ムルコトヲ得(三十四年大藏省令第十八號ヲ以テ本條追加三十五年同第二十六號ヲ以テ條中改正)

第九條 稅務署長ハ國稅滯納者ノ財產差押ヲ命シタル收稅官吏ニ左ノ證票ヲ交付スヘシ(三十五年大藏省令第二
十六號ヲ以テ條中改正)

(證票略)

第十條 收稅官吏債權ノ差押ヲ爲ストキハ債務者ニ對シ第九號書式ノ債權差押通知書ヲ發スヘシ(三十五年大藏省令第
八號ヲ以テ改正)

第十一條 國稅徵收法施行規則第十六條ノ差押調書ハ第十號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ(第八號ヲ以テ改正)

第十二條 收稅官吏財產ヲ賣却セシトスル場合ニ其ノ價格ヲ見積リ難キモノアルトキハ適當ナル鑑定人ヲ選ミ其ノ評價ヲ爲サシム
ルコトヲ得(三十五年大藏省令第
八號ヲ以テ條中改正)

第十三條 入札ノ方法ヲ以テ財產ヲ公賣スル場合ニハ買受望人ハ其ノ住所氏名買受財產ノ種類員額及入札價額ヲ記シタル入札書ヲ
封緘シテ差出スヘシ(同)

第十四條 入札書ハ公告ニ示シタル開札ノ場所、日時ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ開ケモノトス但シ入札人又ハ其ノ代理人開札ノ場
所ニ出席セザルトキハ其ノ立會ヲ以テ之ヲ開札スルコトヲ得

第十五條 競賣ノ方法ヲ以テ財產ヲ公賣スルトキハ競賣人ヲ選ミ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得(三十五年大藏省令第
八號ヲ以テ條中改正)

第十六條 加入保證金又ハ契約保證金ハ公賣財產ノ見積價格百分ノ十以内ニ於テ適宜其ノ金額ヲ定ムルモノトス

第十七條 公賣財產ノ買受人又ハ競賣人ハ納付書ヲ添ヘ其ノ代金ヲ稅務署長ニ納付スヘシ

第十八條 督促又ハ滯納處分ニ關シ使丁ヲ以テ書類ノ送達ヲ爲ストキハ第十一號書式ノ送達書ヲ交付シ同號書式ノ送達證ニ受取人
ノ署名捺印ヲ求ムヘシ(三十五年大藏省令
第八號ヲ以テ改正)

第十九條 滯納處分ヲ結了シタルトキハ收稅官吏ハ第十二號書式ノ計算書ヲ調製シ之ヲ滯納者ニ交付スヘシ

(書式略之)(三十五年大藏省令第九號
ヲ以テ書式中改正削除)

●課稅標準額及稅額計算ニ關スル件明治三十五年三月
法律第二十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル課稅標準額及稅額計算ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 國稅ノ課稅標準額及稅額ハ四捨五入ノ法ニ依リ錢位ニ止ム

第二條 法令ヲ以テ稅金ノ分納ヲ規定シタル場合ニ於テ稅金全額十錢以下ナルトキ又ハ各納期ニ於ケ
ル稅額錢位未滿ノ端數アルトキハ左ノ區別ニ依リ之ヲ徵收ス

一 稅金全額十錢以下ナルトキハ最初ノ納期ニ於テ全額ヲ一時ニ徵收ス

二 各納期ノ稅金額錢位未滿ノ端數アルトキハ錢位未滿ノ端數ニ限リ最初ノ納期ニ於テ合算シテ之
ヲ徵收ス

第三條 前條ニ依リ一時ニ徵收シ又ハ合算シテ徵收シタル稅金ハ左ノ場合ニ於テモ之ヲ還付セス

一 土地所有權ノ移轉又ハ質權ノ設定、移轉若ハ消滅アリタルトキ

二 地租ヲ課スル土地ニシテ之ヲ課セサル土地ト爲リタルトキ

第四條 前三條ノ規定ハ府縣市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ租稅及公課ニ之ヲ準用ス

第五條 一筆ノ土地ノ地價、地租ニシテ錢位未滿ノモノ及關稅、賣藥印紙稅ニ付テハ第一條ヲ適用セ
ス

附 則

第六條 明治三十二年法律第五十七號ハ之ヲ廢止ス

第七條 土地臺帳ニ登錄シタル地價、地租ハ漸次本法ニ依リ更正ス

●新舊地價地租計算ニ關スル件
●公共團體團體法第三十六條
●明治三十二年法律第五十七號

●課税標準額及税額計算ニ關スル法律ヲ準用スル公共團體明治三十五年四月勅令第三百三十九號

●朕明治三十五年法律第二十二號第四條ニ依リ公共團體ヲ指定スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

●朕明治三十五年法律第二十二號第四條ニ依リ公共團體ヲ指定スル左ノ如シ

水利組合

沖繩縣ノ區及間切島

北海道ノ區及土功組合

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅明治三十年六月勅令第九十五號

朕市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

左ノ諸稅ハ市町村ニ於テ徵收スヘシ

一 第三種ノ所得ニ係ル所得稅(三十二年勅令第二百一十九號ヲ以テ改正)

二 營業稅(三十三年勅令第四百一十五號ヲ以テ追加)

三 自家用醬油稅(三十五年勅令第四百一十五號ヲ以テ追加)

四 賣藥營業稅

三十四年法律第三號參看

五 「北海道地方稅」(三十三年勅令第四百一十八號ヲ以テ追加)

附則

本令ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

●沖繩縣小笠原島伊豆七島國稅徵收方明治二十二年十二月勅令第四百一十二號

朕沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ハ會計法實施後左ノ各條ノ外ハ從來ノ慣例ニ依ルヘシ

第一條 納稅人ハ税金沖繩縣酒類出港稅ヲ除クヲ金庫ニ拂込ミ其領收證ヲ受クヘシ(二十七年法律第十八號ヲ以テ條中改正)

第二條 國稅品ハ納稅人ヨリ直ニ收入官吏ニ納付スヘシ

第三條 前條國稅品ハ會計法規ニ依リ收入官吏之ヲ取扱ヒ其賣却代金ヲ領收シテ金庫ニ拂込ムヘシ但稅品ノ會計ハ本稅所屬ノ年度ニ依ル

●沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ノ件明治三十五年三月法律第二十三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣ノ區長、間切長若ハ島長及東京府管内伊豆七島中八丈島、大島及利島ノ名主若ハ一式引受人、三

第十六類 課税標準額及税額計算ニ關スル法律ヲ準用スル公共團體 市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅 沖繩縣小笠原島伊豆七島國稅徵收方 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ノ件 二五七九

宅島、新島、神津島及御藏島ノ地役人ハ國稅ノ徵集ニ關シ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ物品納ノ國稅ニ關スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ現金ニ換算シテ其ノ怠納額ヲ定
ム

附則

本法ハ明治三十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル物品納意納稅換算額明治三十五年六月
大藏省令第十二號
明治三十五年法律第二十三號沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律ニ依リ物品納ノ國稅ヲ現金ニ換算シテ意
納額ヲ定ムルニハ左ノ價格ニ依ルヘシ

品名	單位	價格	品名	單位	價格	品名	單位	價格
米	一石	九〇八二	砂	百斤	五八九〇	紺綿細上布	一段	五・四八七
粟	一石	七三九二	棕	一斤	〇・〇五五	紺地細上布	一段	一五・三三四
麥	一石	七〇八四	木綿	一斤	〇・〇二五	白綿布	一段	二九・七二
黍	一石	一三六三	白	一匹	一・六四三	白木綿布	一段	〇・五七三
胡麻	一石	九五〇〇	白中布	一段	〇・八四八	縞軸及紺軸	一段	六・〇九三
大豆	一石	七五〇〇	白下布	一段	〇・七八八	黃	一段	三・三一四
			白細上布	一段	二・八〇七	合	一段	七・四八五
						織		

●間接國稅犯則者處分法明治三十三年三月
法律第六十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル間接國稅犯則者處分法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

間接國稅犯則者處分法

- 第一條 間接國稅ニ關スル犯則アルトキハ收稅官吏ハ犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ノ差押ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 收稅官吏ハ犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ヲ藏匿スト認ムル場所ニ臨檢シ搜索ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 收稅官吏ハ犯則事件ヲ調査スル爲必要ト認ムルトキハ犯則嫌疑者、參考人ヲ尋問スルコトヲ得
- 第四條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲ストキハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ
- 第五條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スニ當リ必要ナルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得
- 第六條 收稅官吏搜索ヲ爲ストキハ搜索スヘキ家宅、倉庫、船車其ノ他ノ場所ノ所有主、借主、管理者、事務員又ハ同居ノ親族、雇人、隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ヲシテ立會ハシムヘシ
- 前項ニ掲タル者其ノ地ニ在ラサルトキ又ハ立會ヲ拒ミタルトキハ其ノ地ノ警察官吏又ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ
- 第七條 收稅官吏犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタルトキハ其ノ差押目錄ヲ作ルヘシ但シ所有者ハ其ノ差押目錄ノ謄本ヲ請求スルコトヲ得
- 差押物件ハ便宜ニ依リ保管證ヲ徵シ所有者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルコトヲ得差押物件ノ保管

證ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス
差押物件腐敗其ノ他損傷ノ虞アルトキハ「稅務管理局長」ハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ代金ヲ供託スルコトヲ得

第八條 收稅官吏ハ日没ヨリ日出マテノ間臨檢、搜索又ハ差押ヲ爲スコトヲ得ス但シ現行犯ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲ス間ハ何人ニ限ラス許可ヲ得シテ其ノ場所ニ出入スルヲ禁スルコトヲ得

第十條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキハ其ノ顛末ヲ記載シ立會人又ハ尋問ヲ受ケタル者ニ示シ共ニ署名捺印スヘシ立會人又ハ尋問ヲ受ケタル者署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第十一條 犯則事件ノ證憑集取ハ事件發見地ノ收稅官吏之ヲ爲ス同一犯則事件ニ付數稅務署管轄區域内ニ於テ發見セラレタルトキハ各發見地ニ於テ集取セラレタル證憑ハ之ヲ最初ノ發見地ノ收稅官吏ニ引繼クヘシ

第十二條 收稅官吏前各條ニ依リ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スハ其ノ所屬稅務署ノ管轄區域内ニ限ル但シ既ニ著手シタル犯則事件ニ關聯シ他ノ稅務署ノ管轄區域内ニ於テ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スヲ必要トスルトキハ此ノ限ニ在ラス
稅務署長ハ其ノ管轄區域外ニ於テ犯則事件ノ調査ヲ必要トスルトキハ之ヲ其ノ地ノ稅務署長ニ囑託

スルコトヲ得

第十三條 收稅官吏犯則事件ノ調査ヲ終リタルトキハ之ヲ「稅務管理局長」ニ報告スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ直ニ告發スヘシ

- 一 犯則嫌疑者ノ居所分明ナラサルトキ
- 二 犯則嫌疑者逃走ノ虞アルトキ
- 三 證憑湮滅ノ虞アルトキ

第十四條 「稅務管理局長」ハ犯則事件ノ調査ニ依リ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ理由ヲ明示シ罰金若ハ科料ニ相當スル金額、沒收品ニ該當スル物品、徵收金ニ相當スル金額及書類送達並差押物件ノ運搬、保管ニ要シタル費用ヲ指定ノ場所ニ納付スヘキ旨ヲ通告スヘシ但シ犯則者通告ノ旨ヲ履行スル資力ナシト認ムルトキハ直ニ告發スヘシ

第十五條 第十四條ノ通告アリタルトキハ公訴ノ時效ヲ中斷ス

第十六條 犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ同一事件ニ付訴ヲ受クルコトナシ

第十七條 犯則者通告ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ履行セサルトキハ「稅務管理局長」ハ告發ノ手續續ヲ爲スヘシ但シ七日ヲ過クルモ告發前ニ履行シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
第十八條 犯則事件ヲ告發シタル場合ニ於テ差押物件アルトキハ差押目録ト共ニ裁判所ニ引繼クヘシ
前項ノ差押物件所有者又ハ市町村ノ保管ニ係ルトキハ保管證ヲ以テ引繼ヲ爲シ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘシ

第十九條 「稅務管理局長」犯則事件ヲ調査シ犯則ノ心證ヲ得サルトキハ其ノ旨ヲ犯則嫌疑者ニ通知シ物件ノ差押アルトキハ之ヲ解除ヲ命スヘシ

第二十條 本法ニ於テ間接國稅ト稱スルハ勅令ヲ定ムル所ニ依ル

第二十一條 本法中市町村吏員又ハ市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ適用ス

●間接國稅犯則者處分法ニ依リ「稅務管理局長」ノ行フヘキ職權明治三十五年十月勅令第二百五十五號

●間接國稅犯則者處分法ニ依リ「稅務管理局長」ノ行フヘキ職權ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

間接國稅犯則者處分法ニ依リ「稅務管理局長」ノ行フヘキ職權ハ稅務署長之ヲ行フ

附 則

本令ハ明治三十五年十一月五日ヨリ之ヲ施行ス

三十五年勅令第二百五十三號ヲ以テ稅務管理局長トアルヲ改

●間接國稅犯則者處分法施行規則明治三十三年三月勅令第五十二號

●間接國稅犯則者處分法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 間接國稅犯則者處分法ニ於テ間接國稅ト稱スルハ左ノ國稅トス(三十四年勅令第七十號ヲ以テ本條改正三十五年勅令第四百四十五號ヲ以テ)

- 五號ヲ以テ條中改正)
- 一 酒造稅
 - 二 酒精及酒精含有飲料稅
 - 三 沖繩縣酒類出港稅
 - 四 麥酒稅
 - 五 醬油稅(白家用醬油稅トモ)
 - 六 砂糖消費稅
 - 七 賣藥印紙稅
 - 八 印紙稅
 - 九 骨牌稅
- 第二條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ所有者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルトキハ之ニ封印ヲ爲シ若ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスヘシ
- 第三條 差押目錄ニハ物件ノ品名、數量、帳簿、書類ノ名稱、箇數、差押ノ場所及時、所持者ノ住所又ハ居所、氏名ヲ記載スヘシ
- 第四條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ之ヲ官廳又ハ市町村ニ送致スルトキハ差押目錄ノ謄本ヲ其ノ所持者ニ交付スヘシ
- 第五條 收稅官吏市町村ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルトキハ其ノ旨ヲ差押當時ノ所持者ニ

通知スヘシ

第六條 稅務署長間接國稅犯則者處分法第七條ニ依リ差押物件ヲ公賣スルトキハ物件ノ品名、數量、公賣ノ事由、公賣ノ場所及時其ノ他必要ノ事項ヲ公告スヘシ

第七條 稅務署長間接國稅犯則者處分法第七條ニ依リ差押物件ノ公賣代金ヲ供託シタルトキハ其ノ金額ト共ニ其ノ旨ヲ差押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

第八條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキ調製スル顛末書ニハ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ノ事實、場所及時並供述ノ要領ヲ記載スヘシ

第九條 間接國稅犯則者處分法第十四條ノ通告ハ通告書ヲ送達シテ之ヲ爲スヘシ

第十條 通告書ノ送達ハ使丁ニ依リテ之ヲ爲シ其ノ受領證ヲ徵スヘシ但シ配達證明郵便ヲ以テ送達ヲ爲スコトヲ得

第十一條 稅務署長間接國稅犯則者處分法第十九條ニ依リ犯則ノ心證ヲ得サル旨ヲ犯則嫌疑者ニ通知スル場合ニ於テ同法第七條ニ依リ供託シタル金額アルトキハ供託受領證ニ供託金ヲ受取ルヘキ事由ヲ證スヘキ書面ヲ添付シ之ヲ差押當時ノ物件所持者ニ交付スヘシ

第十二條 犯則事件ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入、削除又ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ

第十三條 收稅官吏ハ直接ト間接トヲ問ハス差押物件又ハ沒收物件ヲ買受クルコトヲ得ス文字ヲ削除スルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ

附則

本令ハ間接國稅犯則者處分法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル規定明治三十三年三月法律第五十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力アルモノトス
前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

●手數料

●領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ニ關スル規程明治三十三年八月

領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ニ關スル規程左ノ通定ム

領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ニ關スル規程

第一條 領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ハ法令ニ特別ノ明文アル場合ノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 領事官ハ左記ノ手数料ヲ徵收ス

一 領事官職務規則第六條ニ依ル財産又ハ遺産ノ保護管理

財産價格百分ノ一トシ最多額ヲ五十圓トス但シ錢ニ滿タサル端數ノ金額ハ之ヲ徵收セス

二 領事官職務規則第七條ニ依ル名簿又ハ其ノ他ノ文書ノ閱覽

名簿又ハ其ノ他ノ文書ノ認證シタル謄本又ハ抄本ノ交付

三 民法及戶籍法ノ規定ニ依ル身分ニ關スル届書、證書又ハ航

海日誌謄本受理ノ證明書ノ交付

四 遺言ノ取扱

五 在留證明

六 船舶積量ノ測度又ハ改測ノ取扱

七 假船舶國籍證書ノ交付

八 船舶進水ノ證明

九 船舶ノ入港及出港ノ取扱

十 船舶ノ入港又ハ二百石以上ノ船舶ニ付

百噸又ハ千石以上ノ船舶ニ付

二百噸以上ノ船舶ニ付

五百噸以上ノ船舶ニ付

千噸以上ノ船舶ニ付

千噸未滿ノ船舶ニ付

十一 船舶發着ノ證明

千噸未滿ノ船舶ニ付

一圓五十錢

四圓

二圓五十錢

一圓五十錢

五十錢

三圓

三圓

三圓

二圓

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

五十錢

千噸以上ノ船舶ニ付

十二 船舶健全證書ノ交付

十三 航海獎勵法施行細則第四十二條ニ依ル公認

十四 航海獎勵法施行細則第二十九條ニ依ル船舶職員補缺ノ公認

十五 旅券ノ交付

十六 旅券ノ査證

十七 日本品ノ外國輸入證明ノ取扱

十八 人民ノ申請ニ因ル諸種ノ證明、公認、認證又ハ登録

十九 仲裁又ハ和解ノ取扱

第三條 特ニ費用ヲ要スル事項ニ關シテハ申請者ヲシテ手数料ノ外其ノ實費ヲ負擔セシム

第四條 第二條第一號ニ定メタル手数料ハ財産價格二百圓ニ滿タサルトキハ之ヲ免除ス

第五條 第二條第四號及第六號ニ定メタル手数料ハ申請者無資力ナルトキハ之ヲ免除スルコトヲ得

第六條 領事官ノ取扱ノ事項ニシテ第二條ニ掲ケサルモノニ關シテハ領事官ハ其ノ地ノ慣例ヲ參酌シ外務大臣ノ認可ヲ經テ二十圓

以內ノ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第七條 人民ノ申請ニ因リ領事館所在地外ニ出張シテ事務ヲ取扱チ爲スコトヲ要スルトキハ出張費用ヲ徵收ス

出張費用ハ最初一時間二圓トシ一時間ヲ加フル毎二一圓ヲ加フ又每一日八圓トス但シ一時間未滿ハ一時間トシテ計算シ六時間以

上二十四時間以下ハ一日トシテ計算ス

第八條 領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ハ外國ノ貨幣ヲ以テ納メシムルコトヲ得其ノ換算相場ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第九條 領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ハ外務大臣ノ特ニ指定スル地ニ於テハ收入印紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得

第十條 本令ハ貿易事務官ノ徵收スル手数料及出張費用ニ之ヲ準用ス

附則

第十一條 本令ハ領事官職務規則施行ノ日ヨリ施行ス

第十六類 領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ニ關スル規程

●農事試驗場分析手數料明治二十六年十二月勅令第二百三十號

朕農事試驗場分析手數料ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 農事試驗場ニ分析ノ依頼ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

- 一 土壤及肥料ノ定性分析ハ一成分毎ニ金三十錢トス
- 二 土壤ノ定量分析ハ一成分金一圓トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金五十錢ヲ加フ
- 三 土壤ノ普通含有セサル成分ノ定性ハ一成分毎ニ金二圓トシ其ノ定量ハ一成分毎ニ金五圓トス
- 四 肥料ノ定量分析ハ一成分金五十錢トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金二十五錢ヲ加フ
但水分及灰分全量ノ定量ハ各金十錢トス
- 五 農産物及飼料ノ有機質成分ノ定量ハ一成分金五十錢トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金三十錢ヲ加フ
但水分及可燃物全量ノ定量ハ各金十錢トス
- 六 農産物及飼料ノ灰分ノ定量ハ一成分金五十錢トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金三十錢ヲ加フ
但灰分全量ノ定量ハ金十錢トス
- 七 農産製造品ノ定性分析ハ一成分毎ニ金五十錢トス
- 八 農産製造品ノ定量分析ハ一成分金一圓五十錢トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金一圓ヲ加フ
- 九 水ノ定性分析ハ一成分金二圓トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金五十錢ヲ加フ

- 十 水ノ定量分析ハ一成分金三圓トス二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金一圓ヲ加フ
- 十一 以上列記シタルモノ、外農業上ニ關係アル物料ノ分析手數料ハ前示ノ割合ニ準シ時々農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

●工業試驗所ニ於テ行フ分析、試驗及鑑定ニ關スル手數料明治三十六年勅令第一百四號

朕工業試驗所ニ於テ行フ分析、試驗及鑑定ニ關スル手數料徵收ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 工業試驗所ニ分析及試驗ノ依頼ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

- 一 一成分ノ定性分析ハ金一圓トシ一成分ヲ増ス毎ニ金五十錢ヲ加フ
- 二 一成分ノ定量分析ハ金二圓トシ一成分ヲ増ス毎ニ金一圓ヲ加フ
- 三 一金屬ノ乾式定量分析ハ金二圓以上金三圓以下トシ一成分ヲ増ス毎ニ金一圓ヲ加フ
- 四 粘土又ハ耐火煉化石ノ耐火度、吸水量又ハ收縮度ノ檢定ハ一件毎ニ金一圓、粘土ノ器械分析ハ金一圓以上金十圓以下、陶磁器、玻璃、珪瑯、煉化石又ハ「セメント」ノ原料ノ應用試驗ハ一件毎ニ金五圓以上金五十圓以下トス
- 五 「セメント」ノ比重、一定容量ノ重量、凝結ノ時間、粉末ノ細度、膨脹又ハ龜裂ノ檢定ハ一件毎ニ金一圓、耐伸強又ハ耐壓強ノ檢定ハ一件毎ニ金二圓以上金十圓以下トス
- 六 建築用石材、煉化石若ハ瓦ノ吸水量、耐伸強、耐壓強若ハ凍寒ノ作用又ハ石灰ノ「モルタル」製出量ノ檢定ハ一件毎ニ金一圓以上金十圓以下トス

- 七 脂肪、蠟又ハ油類ノ比重、粘度、凝點、融點、沸點、引火點又ハ燃燒點ノ檢定ハ一件毎ニ金一圓、沃度價、酸價、鹼化價若ハ光度ノ檢定、酸、アルカリノ作用又ハ金屬ニ於ケル作用ノ試験ハ一件毎ニ金二圓、應用試験ハ一件毎ニ金二圓以上金二十圓以下トス
 - 八 漆汁其ノ他塗料ノ比重、粘度、乾燥度、色澤、透明度、被覆度若ハ固著力ノ檢定又ハ繪具ニ於ケル作用ノ試験ハ一件毎ニ金一圓以上金二圓、應用試験ハ金二圓以上金二十圓以下トス
 - 九 紙類ノ耐揉度、強度伸度又ハ「サイズ」ノ強度ノ檢定ハ一件毎ニ金一圓、原料ノ應用試験ハ金二圓以上金二十圓以下トス
 - 十 纖維、織糸又ハ織布類ノ練減若ハ強度伸度ノ檢定又ハ染色ニ於ケル日光、石鹼、酸若ハ「アルカリ」ノ作用ノ試験ハ一件毎ニ金一圓以上金十圓以下、精練、漂白、染色若ハ整理ノ試験又ハ染料、媒染劑ノ應用試験ハ一件毎ニ金二圓以上金二十圓以下トス
- 前項ノ手數料中最高及最低ノ限度ヲ定メタルモノニ付テハ事項ノ難易ニ從ヒ工業試験所長其ノ範圍ニ於テ手數料額ヲ定ム
- 第二條 前條ニ掲ケサル分析及試験ノ手數料ハ前條ノ規定ニ準シ工業試験所長ノ定ムル所ニ依ル
- 第三條 工業試験所ニ鑑定ノ依頼ヲ爲ス者ハ前二條ノ規定ニ準シ工業試験所長ノ定ムル手數料ヲ納ム
- ヘシ
- 第四條 分析、試験又ハ鑑定ヲ時日ヲ限リテ依頼スル者アルトキハ工業試験所長ハ前三條ニ定ムル額ノ五倍以内ニ於テ手數料ヲ増スコトヲ得

第五條 手數料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附則

本令ハ明治三十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治二十五年勅令第六十三號ハ之ヲ廢止ス

第十六類 租稅、關稅、專賣 附手數料

●沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ニ地租條例及國稅徵收法施行明治三十六年十二月勅令第二百七十八號
朕沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ニ地租條例及國稅徵收法施行ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ニ明治三十七年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行ス

●地租徵收ニ關スル件明治三十七年三月法律第十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地租徵收ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 地租ヲ課スル土地ニシテ納期開始前ニ地租ヲ課セサル土地トナリタルトキハ其ノ納期ヨリ地租ヲ徵收セス

地租ヲ課セサル土地ニシテ納期開始前ニ地租ヲ課スル土地トナリタルトキハ其ノ納期ヨリ地租ヲ徵收ス但シ地租ヲ課セサル土地ニシテ其ノ年經過後田地トナリタルトキハ其ノ年分地租ノ翌年ニ於ケル納期ニ於テハ地租ヲ徵收セス

第二條 地租ハ各納税人ニ付同一市町村内ニ於ケル同一地目ノ地價合計額ニ依リ之ヲ算出スヘシ前項ノ場合ニ於テ地目ヲ異ニスルモ地租ノ納期ヲ同フスル土地ハ之ヲ同一地目ノ土地ト看做スコト

ヲ得

第三條 市町村ハ地租ノ納期毎ニ其ノ開始前十五日マテニ地價及地租ノ總額竝ニ其ノ各納期ニ於ケル納額ヲ所轄收稅官廳ニ報告スヘシ但シ前報告後異動ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

納期開始前十五日ヨリ納期開始マテニ地租額ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ異動額ヲ所轄收稅官廳ニ報告スヘシ

第四條 市町村以外ノ公共團體又ハ戸長カ地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第五條 大藏大臣ハ隨時稅務署長又ハ其ノ代理官ヲシテ市町村其ノ他ノ公共團體又ハ戸長役場ニ於ケル國稅諸帳簿ノ整否ヲ監督セシムヘシ

附則

第六條 本法ハ明治三十七年分地租ヨリ之ヲ適用ス

●沖繩縣滯納舊租延納法 明治三十七年三月法律第十三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣滯納舊租延納法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣滯納舊租延納法

沖繩縣ニ於ケル明治三十五年以前ノ地租ニシテ非常特別稅法施行ノ際滯納ニ係ルモノハ同法施行中其ノ徵收ヲ爲サス

前項ノ地租ハ非常特別稅法廢止ノ年ノ翌年ヨリ十年間ニ平分シテ之ヲ徵收ス

●渡良瀨川沿岸地方特別地價修正ノ件 明治三十七年三月法律第十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル渡良瀨川沿岸地方特別地價修正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 栃木縣足利郡、安蘇郡、下都賀郡、群馬縣山田郡、新田郡、邑樂郡、茨城縣猿島郡、埼玉縣

北埼玉郡ニ於ケル田畑ニシテ銅分ノ爲土壤變質シタルモノハ本法ニ依リ其ノ地價ヲ修正ス

第二條 前條ノ土地ニ付テハ被害ノ情況ニ依リ政府ノ定メタル等級ニ從ヒ左ノ割合ヲ以テ現在地價ヲ

低減シテ其ノ地價ヲ修正ス

- 一 等 八割
- 二 等 六割
- 三 等 五割
- 四 等 四割五分
- 五 等 四割
- 六 等 三割五分
- 七 等 三割
- 八 等 二割五分
- 九 等 二割
- 十 等 一割五分

附則

本法ニ依リ修正シタル地價ハ明治三十七年分以後ノ地租ニ付之ヲ適用ス但シ免租年期ヲ有スル土地ニ付テハ免租年期明ニ至リ之ヲ適用ス

●土地臺帳規則中改正明治三十七年四月勅令第七七號

朕土地臺帳規則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

土地臺帳規則中左ノ通改正ス

第四條中「貳錢」ヲ「五錢」ニ改ム

●土地臺帳施行細則中改正明治三十七年三月大藏省令第六號

土地臺帳規則施行細則中左ノ通改正ス

第五條 土地所有權ノ移轉又ハ質入ハ登記所ヨリ通知アルニアラサレハ之ヲ登録セス但シ未登記ノ土地ニ付收用ニ因リ所有權ノ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

相續ノ場合ニ於テ相續人未登記所有權ノ保存登記ヲ爲シタルトキハ保存登記ニ關スル登記所ノ通知ニ依リ所有權ノ移轉ヲ登録ス

●同上明治三十七年四月大藏省令第八號

明治二十二年大藏省令第六號土地臺帳施行細則第一條中「地租」ノ二字及第四條土地臺帳簿本雜形中地租ノ欄ヲ削除ス

上卷二三三
六丁參看

上卷二三三
七丁參看

同上

●沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ノ地租納期明治三十六年十二月勅令第二百七十九號

朕沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ノ地租ノ納期ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ノ地租ハ左ノ納期ニ於テ之ヲ徵收ス但シ島尻郡島ノ地租ハ翌年六月一日ヨリ九月三十日限之ヲ徵收ス

一期	該年七月一日ヨリ 同七月三十一日限	市街宅地地租	五分
二期	同八月一日ヨリ 同八月三十一日限	田村宅地地租	全部
三期	翌年一月一日ヨリ 同一月三十一日限	市街宅地地租	五分
四期	同三月一日ヨリ 同三月三十一日限	畑地地租	五分
五期	同五月一日ヨリ 同五月三十一日限	畑地以外ノ地租	全部

●酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出入下戻金ノ件明治三十七年三月法律第五號

明治三十四年法律第十號中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

命令ノ定ムル所ニ依リ造石稅ヲ課セラレタル酒類、酒精若ハ酒精含有飲料又ハ麥酒稅ヲ課セラレタル麥酒ヲ外國ニ輸出シタル者ハ造石稅又ハ麥酒稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

上卷二四一
九丁參看

第十六類

土地臺帳規則中改正 土地臺帳施行細則中改正 沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ノ地租納期 酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出入下戻金ノ件中改正

追加 (三二九) 二二二二ノ六

第二條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 外國ニ陸揚シタルコトヲ證スヘキ書類但シ命令ヲ以テ之ヲ限定スルコトヲ得
附 則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行シ同日以後製成シタル酒類、酒精若ハ酒精含有飲料又ハ麥酒ニ之ヲ適用ス
造石税又ハ麥酒税納付済ノ酒類、酒精若ハ酒精含有飲料又ハ麥酒ニシテ本法施行前ニ製成シタルモノ
ヲ外國ニ輸出シタル者ニハ仍舊法ヲ適用ス

上卷二四二
〇丁參看

●酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル規定施行規則中改正明治三十七年四月
勅令第八十七號

明治三十四年法律第十號施行規則中左ノ通改正ス

第三條ノ二 外國ニ輸出スル酒精又ハ酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ニ付明治三十四年法律第十

號第一條ニ依リ金額下付ヲ請求セムトスル者ハ登簿噸數二百噸以上ノ汽船ニ積載スヘシ

前項ノ汽船ニシテ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキハ金額ノ下
付ヲ請求スルコトヲ得ス但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條中「輸出先」ノ下ニ「並積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地」ヲ加フ

第七條 韓國ニ陸揚シタル酒精、酒類又ハ其ノ他ノ酒精ヲ含有スル飲料ニ付明治三十四年法律第

十號第一條ニ依リ金額下付ヲ請求スル場合ニ於テ同法第二條第三號ノ添附書類ハ領事ノ交付シ

タルモノ又ハ領事ノ證明シタルモノナルコトヲ要ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●沖繩縣酒類出港税則中改正明治三十七年三月
法律第六號

沖繩縣酒類出港税則中左ノ通改正ス

第一條中「移出スルトキハ」ノ下ニ「旅客ノ携帶品タルト否トヲ問ハス」ヲ加フ

第二條 命令ヲ以テ定ムル港灣ニ由ルニ非サレハ沖繩縣ニ於テ製造シタル清酒濁酒白酒味淋又ハ燒酎

ヲ帝國内ノ他ノ地方ニ移出スルコトヲ得ス

第三條中「船改所ニ」ヲ削ル

第四條第一項中「船改所」ヲ「稅務署」ニ改メ第二項ヲ削ル

附 則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●沖繩縣酒類出港税則施行細則中改正明治三十七年四月
大藏省令第七號

沖繩縣酒類出港税則施行細則中左ノ通改正ス

第一條及第二條中「船改所」ヲ「稅務署」ニ改ム

第五條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加ス

第十六類

酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル規定施
行規則中改正 沖繩縣酒類出港税則中改正 沖繩縣酒類出港税
則施行細則中改正

追加 (三三一) 二二二二ノ八

上卷二四二
一丁參看

上卷二四二
三丁參看

第六條 沖繩縣ニ於テ製造シタル清酒、濁酒、白酒、味淋又ハ燒酎ヲ帝國内ノ他ノ地方ニ移出スルハ那覇港ニ由ルヘシ
附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

上卷二四二
四丁參看

●醫藥用工業用酒精戻税法中改正明治三十七年三月法律第四號

醫藥用工業用酒精戻税法中左ノ通改正ス

第一條中「若ハ輸入税」ヲ削リ「醫藥用又ハ工業」ヲ「命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル醫藥又ハ工業ノ」ニ改ム

第二條 前條ノ酒精ニシテ工業用ニ供スルモノニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ變性ヲ命スルコトヲ得

第三條中「又ハ輸入税」ヲ削ル

第四條 削除

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ於テ造石税又ハ輸入税ノ賦課ヲ受ケタル酒精ノ税金下戻ニ關シテハ仍舊法ヲ適用ス但シ本法施行後六箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

上卷二四二
五丁參看

●醫藥用工業用酒精戻税法施行規則中改正明治三十七年四月勅令第八十六號

醫藥用工業用酒精戻税法施行規則中左ノ通改正ス

第一條ヲ第一條ノ二トシ其ノ前ニ左ノ一條ヲ加フ

第一條 酒精ヲ左ノ藥品製造ニ使用シタルトキハ醫藥用ニ供シタルモノトシ醫藥用工業用酒精戻税法ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

苦味丁幾

芳香丁幾

酸性芳香丁幾

橙皮丁幾

羯答利斯丁幾

規那丁幾

龍膽丁幾

沃度丁幾

吐根丁幾

阿片丁幾

大黃丁幾

菘若丁幾

蕃木鼈丁幾
 安息香丁幾
 林檎鐵丁幾
 纈草丁幾
 ストロファンツス丁幾
 荳蔻越幾斯
 綿馬越幾斯
 大黃越幾斯
 蕃木鼈越幾斯
 カスカラ、サクラダ流動越幾斯
 コンヂュランゴ流動越幾斯
 ヒドラスチス流動越幾斯
 依的兒
 酒精ヲ左ノ物品製造ニ使用シタルトキハ工業用ニ供シタルモノトシ醫藥用工業用酒精戻税法ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲スコトヲ得
 火藥
 ニス

石鹼

單寧酸

龍腦

食醋

セルロイド

外國ニ輸出スル香水

酒精ヲ左ノ用途ニ供シタルトキ亦前項ニ同シ

蒸汽汽罐燃料

煙草醱酵用

セルロイド加工用

第二條ニ左ノ二項ヲ加フ

當該官吏ハ前項ニ依リ承認ヲ與ヘタル酒精ヲ使用スル場所ニ就キ酒精、酒精ト混和スヘキ物品、製品、残渣、器具、器械及帳簿書類ヲ検査シ其ノ他監督上必要ト認ムル方法ヲ施スコトヲ得
 當業者前項ノ検査又ハ處分ヲ拒ムトキハ當該官吏ハ既ニ與ヘタル承認ヲ取消スコトヲ得

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

酒精ヲ外國ニ輸出スル香水ノ製造用ニ供シ金額下付ヲ請求スル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ輸出免狀又ハ之ニ代ルヘキ書類ヲ添付スヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●砂糖消費税法施行規則中改正明治三十七年四月勅令第百八號

砂糖消費税法施行規則中左ノ通改正ス

第十三條第二項中「金庫所在地外ニ」ノ下ニ「在ル製造場ヨリ千斤未滿ノ第一種若ハ第二種砂糖

又ハ糖蜜ヲ引取ル場合ニ」ヲ加フ

附則

本令ハ明治三十七年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●輸入原料砂糖戻税法中改正明治三十七年三月法律第十號

輸入原料砂糖戻税法中左ノ通改正ス

第一條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

骨炭ヲ濾過セシメスシテ精製糖ヲ製造スル者ハ第一項ニ依リ金額ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス但シ

政府ノ認可ヲ得テ骨炭濾過ニ代ハルヘキ方法ヲ用非タル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

上卷二四二
九丁參看

上卷二四三
四丁參看

精製糖ヲ製造スル輸入原料砂糖ニシテ本法施行前ニ政府ノ承認ヲ得タルモノニ關シテハ仍舊法ヲ適用

ス

●醬油稅則中改正明治三十七年三月法律第七號

醬油稅則中左ノ通改正ス

第一條第二項ヲ削ル

第三條 削除

第十五條 削除

第十九條中「第一條第二項ニ該當セサル者ニシテ」ヲ削ル

第二十一條中「第十五條ノ申告ヲ爲ササル者」ヲ削ル

第二十三條 削除

第二十九條 削除

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●醬油稅則施行規則中改正明治三十七年三月勅令第八十八號

醬油稅則施行規則中左ノ通改正ス

卷上二四四
八丁參看

第十六類

砂糖消費税法施行規則中改正 輸入原料砂糖戻税法中改正 醬油稅則施行規則中改正 追加 (三三七) 二二二二ノ一四

上卷二四四
四丁參看

第一條 第一項中「醬油稅則第一條第二項ニ該當スル者ヲ除ク外」ヲ削ル

第二條 削除

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●自家用醬油稅法中改正明治三十七年三月法律第八號

自家用醬油稅法中左ノ通改正ス

第三條 自家用醬油製造人ハ其ノ製造見積高ニ依リ毎年左ノ製造稅ヲ納ムヘシ

第一種 一石未滿 金五十錢

第二種 二石未滿 金一圓

第三種 三石未滿 金二圓

第四種 四石未滿 金三圓

第五種 五石以下 金四圓

第十一條 左ニ記載スル者ニハ本法ヲ適用セス

一 醬油製造營業人、醬油請賣人

二 料理店、飲食店、旅人宿營業人

三 前二號ノ者ト同居スル者

上卷二四五
二丁參看

本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者前項各號ニ該當スルニ至リタルトキハ本法ニ依リ免許ヲ以テ醬油稅則

ニ依リ免許ト看做シ以後製造ニ係ル醬油ニハ同稅則ヲ適用ス但シ其ノ年ノ製造稅ハ之ヲ免除セス

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

醬油稅則ニ依リ自家用醬油製造ノ申告ヲ爲シタル者ハ本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

●自家用醬油稅法施行規則中改正明治三十七年四月勅令第八十九號

自家用醬油稅法施行規則中左ノ通改正ス

第四條中「第二號以下」ヲ「第一項各號ノ一」ニ改ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便ニ依リ外國ヨリ輸入シタル物品ノ内國稅ニ關スル件明治三十七年五月勅令第六十五號

朕郵便ニ依リ外國ヨリ輸入シタル物品ノ内國稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 郵便ニ依リ外國ヨリ輸入シタル物品ニシテ内國稅ヲ課スヘキモノアルトキハ稅關ハ其ノ稅金

額ヲ郵便局ニ通知スヘシ

第二條 郵便局ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ郵便物交付前ニ之ヲ其ノ名宛人ニ通知スヘシ

第十六類

自家用醬油稅法中改正 自家用醬油稅法施行規則中改正 郵便 追加 (三三九) 二二二二一〇六
ニ依リ外國ヨリ輸入シタル物品ノ内國稅ニ關スル件

第三條 前條ノ通知ヲ受ケタル者其ノ郵便物ヲ受取ラムトスルトキハ通知セラレタル金額ニ相當スル
 收入印紙ヲ該輸入物品又ハ前條ニ依ル通知書ニ貼用シ郵便局所ノ消印ヲ受クヘシ但シ内國稅中特別
 ノ印紙ヲ貼用スヘキコトヲ定メタルモノニ付テハ特別ノ印紙ヲ貼用スルコトヲ得
 第四條 受取人前條ノ手續ヲ履行セサルトキハ該郵便物ハ不能配達ノモノトシテ取扱フヘシ
 第五條 郵便局所ニ於テ前條ノ取扱ヲ爲シタルトキハ之ヲ稅關ニ通知スヘシ

●煙草專賣法 明治三十七年三月
 法律第十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル煙草專賣法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

煙草專賣法

第一條 煙草ノ製造ハ政府ニ專屬ス
 第二條 煙草ハ政府及政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ輸入スルコトヲ得ス
 第三條 煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ耕作スルコトヲ得ス
 第四條 煙草耕作者ノ收穫シタル葉煙草ハ政府之ヲ收納ス
 第五條 煙草ノ耕作區域ハ政府之ヲ定ム
 第六條 政府ハ毎年耕作スヘキ煙草ノ種類、耕作段別及葉煙草ノ賠償價格ヲ定メ豫メ之ヲ公示ス
 第七條 煙草ヲ耕作セムトスル者ハ毎年煙草苗床ノ位置及坪數、煙草耕作地ノ位置及段別、煙草ノ種
 類、本數、乾燥場及藏置場ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更シ又ハ耕作ヲ廢止セム

トスルトキ亦同シ

第八條 相續ニ因ルノ外煙草ノ耕作ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ

相續ニ因リ煙草ノ耕作ヲ承繼シタルトキハ政府ニ届出ヘシ

第九條 煙草耕作者ニ非サレハ煙草苗ヲ育成スルコトヲ得ス

煙草苗ノ讓渡及讓受ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 煙草耕作者ハ政府ノ定ムル方法及手續ニ依リ其ノ耕作ヲ完成スル義務ヲ負フ

第十一條 政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ收穫量目又ハ葉數ヲ査定ス

前項査定ノ場合ニ於テハ煙草耕作者ハ之ニ立會フヘシ若立會ハサルトキハ其ノ査定ニ對シ異議ヲ申

立ツルコトヲ得ス

第十二條 煙草耕作者前條ノ量目又ハ葉數ノ査定ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ申立アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ政府之

ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ量目又ハ葉數ト前項決定額トノ差カ前條ノ査定額ト前項決定額ト

ノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ異議申立人ノ負擔トス

第十三條 煙草耕作者ハ政府ノ許可ヲ受クルニ非サレハ第十一條ノ査定前ニ於テ葉煙草ヲ採取シ又ハ

幹根ヲ拔除スルコトヲ得ス第十二條ニ依リ異議ノ申立ヲ爲シタル者其ノ決定前ニ於テ亦同シ

第十四條 煙草耕作者一番葉ノ收穫ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ幹根ヲ拔除シ其ノ幹ニ附著スル葉煙草

ハ之ヲ廢棄スヘシ

種子ノ採取又ハ二番葉ノ收穫ヲ爲サムトスル者ハ政府ノ許可ヲ受クヘシ
前項ノ場合ニ於テ採取又ハ收穫ヲ終リタルトキハ第一項ノ處置ヲ爲スヘシ
第十五條 煙草耕作者ノ收穫シタル葉煙草ハ乾燥調理ノ後政府ニ納付スヘシ

納付ノ期日及場所ハ政府之ヲ定ム
煙草耕作者ノ收穫シタル葉煙草ニシテ政府ノ收納ニ適セサルモノハ政府ノ承認ヲ經テ之ヲ廢棄スヘシ

第十六條 煙草耕作者ノ納付シタル葉煙草ハ鑑定人ヲシテ之ヲ鑑定セシメ其ノ等級ニ依リ賠償金ヲ交
付ス

煙草耕作者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得但シ賠償金ノ請求ヲ爲シタルトキ
ハ此ノ限ニ在ラス
再鑑定申立人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ等級ト再鑑定等級トノ差カ第一項ノ鑑定等級ト再鑑定等級トノ
差ヨリ大ナルトキハ再鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

再鑑定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十七條 煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ査定若ハ決定シタル量目又ハ葉數以上ノ葉煙草ヲ納
付セサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ第十八條第二項ノ規定ニ準シテ算定シタル金額ノ三倍以下
ヲ納付セシムルコトヲ得

第十八條 煙草耕作者私ニ耕作段別ヲ減少シ又ハ耕作ヲ廢止シタルトキハ政府ハ其ノ減作地又ハ廢作

地ニ生産スヘキ葉煙草ノ價格ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得
前項葉煙草ノ價格ハ其ノ年ニ於ケル近傍類似煙草耕作地ノ葉煙草生産額及之ニ對スル賠償金額ヲ標
準トシ之ヲ算定ス

第十九條 煙草耕作者其ノ耕作段別ヲ減少シ又ハ耕作ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ耕作ヲ承繼スル者
ナキトキハ政府ハ其ノ現存スル煙草又ハ煙草苗ヲ廢棄セシムルコトヲ得

第二十條 煙草耕作者ノ葉煙草ハ其ノ耕作地、乾燥場、藏置場又ハ其ノ收納官署ノ外他ニ之ヲ運送ス
ルコトヲ得ス

政府ハ必要ト認ムルトキハ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得
第二十一條 公共團體又ハ私人ニ於テ試作場ヲ特設シ煙草ノ試作ヲ爲サムトスルトキハ命令ノ定ムル
所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ試作ニ關シテハ第四條、第七條、第九條、第十五條、第十六條第一項及第十九條ノ規定ヲ準
用ス
第二十二條 製造煙草ハ政府又ハ政府ノ指定シタル煙草元賣捌人若ハ煙草小賣人ニ非サレハ之ヲ販賣
スルコトヲ得ス

煙草賣捌人及煙草ノ販賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第二十三條 煙草小賣人ハ政府ノ定メタル價格ヲ以テスルニ非サレハ製造煙草ヲ消費者ニ販賣スルコ

トヲ得ス

第二十四條 煙草賣捌人ハ政府ノ封緘ヲ施シタル製造煙草ノ包裹ヲ開披シ若ハ之ヲ改装シ又ハ包裹ノ破損シタル製造煙草ヲ販賣スルコトヲ得ス

第二十五條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ノ賣渡ヲ請求スル者アルトキハ政府ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ之ヲ賣渡スコトヲ得

前項煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ調製シ其ノ營業ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

輸出ニ供スル煙草ヲ製造セムトスル者ノ爲政府ハ一定ノ地域ニ於テ煙草自由倉庫ヲ設置シ又ハ其ノ設置ヲ特許スルコトヲ得

煙草自由倉庫及其ノ特許ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 前條ニ依リ輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ政府ノ指定シタル期間内ニ輸出免狀ニ外國仕向港ニ陸揚ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ政府ニ差出スヘシ

正當ノ事由ナクシテ前項ノ免狀及書類ヲ差出ササルトキハ政府ハ葉煙草ニ付テハ第二十九條製造煙草ニ付テハ第三十條ノ規定ニ依リ相當金額ヲ納付セシム

第二十七條 輸出ノ爲政府ヨリ買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ハ輸出前之ヲ他ニ讓渡シ又ハ消費スルコトヲ得ス但シ其ノ使用ニ適セサルニ至リタルモノハ政府ノ許可ヲ受ケテ之ヲ廢棄スルコトヲ得

第二十八條 輸出ノ爲政府ヨリ買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ノ輸出ヲ廢止シタルトキ又ハ買受ノ日

ヨリ一箇年ヲ過キ之ヲ輸出セサルトキハ其ノ使用ニ適スルモノニ限り政府之ヲ收納シ其ノ他ハ之ヲ廢棄セシム

前項ノ收納ヲ爲ストキハ鑑定人ヲシテ鑑定セシメ賠償金ヲ交付ス但シ其ノ賠償金ハ第二十五條ニ依ル賣渡價格ニ超過スルコトヲ得ス

第二十九條 本法ノ規定ニ依リ輸出シ、廢棄シ及收納セラレタル葉煙草並現在葉煙草ノ總量目カ政府ヨリ買受ケタル葉煙草ノ總量目ニ比シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキハ政府ハ輸出者ヲシテ其

ノ不足額ニ對シ第二十五條ノ賣渡價格ニ相當スル金額ノ四倍以下ヲ納付セシム

第三十條 本法ノ規定ニ依リ輸出シ、廢棄シ及收納セラレタル製造煙草並現在製造煙草ノ總量目カ政府ヨリ買受ケタル製造煙草ノ總量目ニ比シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキハ政府ハ輸出者ヲシ

テ其ノ不足額ニ對シ第二十三條ノ賣渡價格ト第二十五條ノ賣渡價格トノ差額ニ相當スル金額ノ二倍以下ヲ納付セシム

第三十一條 政府ハ標本ニ供スルモノニ限り葉煙草ヲ交付シ又ハ煙草ノ輸入ヲ許可スルコトヲ得

標本ニ供スル煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケ標本トシテ他ニ讓渡シ又ハ試験ノ用ニ供シ又ハ廢棄スルノ外之ヲ處分スルコトヲ得ス

第三十二條 健康上若ハ習慣上缺クヘカラサル製造煙草ハ自用ニ供スルモノニ限り自用者ニ於テ政府ノ許可ヲ受ケ之ヲ輸入スルコトヲ得

第三十三條 輸出ノ爲買受ケタル煙草ハ政府ノ許可ヲ受ケタル場所ニ非サレハ之ヲ藏置スルコトヲ得

第三十四條 何人ト雖本法ニ於テ認メタル場合ノ外葉煙草、政府ノ證票ヲ附セサル製造煙草又ハ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ヲ所持シ、讓渡シ若ハ讓受クルコトヲ得ス

前項ノ物件ハ本法ニ依リ沒收スル場合ノ外政府ニ於テ之ヲ處分ス

第三十五條 何人ト雖營業ノ目的ヲ以テ煙草ニ代用スヘキ物品ヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第三十六條 煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製作シ、販賣シ又ハ藏置スルコトヲ得ス

第三十七條 煙草耕作者、試作者又ハ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ政府ハ耕作、試作、藏置又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第三十八條 政府ハ煙草ノ苗床、耕作地、試作地、乾燥場、藏置場又ハ煙草苗、煙草若ハ煙草製造器具機械及卷紙ノ所在ト認ムル場所又ハ煙草苗、煙草若ハ煙草製造器具機械及卷紙ヲ検査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

當該官吏ハ前項ノ検査ニ際シ必要ト認ムルトキハ關係人ヲシテ之ニ立會ハシムルコトヲ得

第三十九條 行政執行ノ手續ニ依リ費用ヲ納付セシムル場合ニ於テ義務者ニ交付スヘキ金額アルトキハ之ヲ差引スルコトヲ得

第四十條 本法ノ規定ニ依リ納付セシムヘキ金額ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

ヲ得

第四十一條 第三條又ハ第九條第一項ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス許可ヲ受ケスシテ試作ヲ爲シタル者亦同シ

第四十二條 煙草耕作者許可ヲ受ケサル土地ニ煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シ又ハ許可ヲ受ケサル種類ノ煙草ヲ耕作シ又ハ許可ヲ受ケスシテ煙草苗ヲ讓渡シ若ハ讓受ケタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス

第四十三條 煙草耕作者許可ヲ受ケサル場所ニ葉煙草ヲ乾燥シ又ハ藏置シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

情ヲ知リテ前項ノ場所ヲ供與シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十四條 第十三條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第四十五條 第十四條及第十九條ニ依リ葉煙草ヲ廢棄スヘキ者其ノ葉煙草ヲ收穫シ又ハ種子ヲ採取シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ種子ハ之ヲ沒收ス

第四十六條 天災其ノ他避クヘカラサル事變ニ依ルニ非スシテ第二十條第一項ニ違反シ又ハ政府ノ指定シタル通路若ハ時間ニ依ラスシテ葉煙草ヲ運送シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第四十七條 煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル納付期日ニ葉煙草ヲ納付セサルトキハ

三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第四十八條 政府ニ納付スヘキ葉煙草ヲ他ニ讓渡シ又ハ消費シ又ハ隠蔽シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス之ヲ讓受ケタル者亦同シ
 情ヲ知リテ葉煙草隠蔽ノ場所ヲ供與シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第四十九條 煙草賣捌人ニ非スシテ製造煙草ヲ販賣シ又ハ販賣ノ準備ヲ爲シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草ハ之ヲ沒收ス
 第五十條 第二十三條又ハ第二十四條ニ違反シタル者ハ五圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第五十一條 煙草輸出者帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第五十二條 第二十七條ニ違反シタル者ハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草ハ之ヲ沒收ス之ヲ讓受ケタル者亦同シ
 第五十三條 第三十一條第二項ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ煙草ヲ讓受ケタル者亦同シ
 第五十四條 第三十二條ニ依リ輸入シタル煙草ヲ他ニ讓渡シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草ハ之ヲ沒收ス
 第五十五條 第三十三條ニ違反シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ藏置ノ場所ヲ供與シタル者亦同シ

第五十六條 許可ヲ受ケサル者ノ耕作若ハ試作シタル葉煙草又ハ煙草耕作者、試作者ニ非サル者ノ育成シタル煙草苗又ハ權利者ノ不明ナル葉煙草若ハ煙草苗ヲ所持スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草若ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス
 第五十七條 第三十四條第一項ニ違反シテ製造煙草ヲ所持シ、讓渡シ又ハ讓受ケタル者ハ煙草賣捌人ニ在リテハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ他ノ者ニ在リテハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草ハ之ヲ沒收ス
 第五十八條 私ニ煙草ヲ製造シ又ハ製造ノ準備ヲ爲シタル者ハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草及煙草製造器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス
 第五十九條 第三十五條ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル物品並其ノ原料、製造器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス
 第六十條 第三十六條ニ違反シタル者又ハ權利者不明ノ煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ヲ所持シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ハ之ヲ沒收ス
 第六十一條 本法ノ犯罪ニ係ル物件ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ又ハ其ノ物件ニシテ他ニ所有者アル爲沒收スルコトヲ得サルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徴ス
 第六十二條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依

第六十三條 煙草耕作者、試作者、煙草賣捌人、煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者又ハ煙草輸出者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用非ス

第六十五條 煙草耕作者、試作者、煙草賣捌人、煙草製造専用ノ器具機械及卷紙ノ製作者、販賣者若ハ藏置者又ハ煙草輸出者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第六十六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第六十七條 間接國稅犯則者處分法ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ違反事件ニ之ヲ準用ス但シ本法ニ定メタル職務ヲ行フ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十八條 本法ハ明治三十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十二條第二項及第七十三條ハ本法

發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際ニ於ケル煙草製造業者ハ明治三十八年三月三十一日迄刻煙草ノ製造ニ限リ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

前項刻煙草ノ製造及其ノ原料ニ供スル葉煙草ノ賣買ニ關シテハ明治三十八年三月三十一日迄本法ノ規定ヲ適用セス仍葉煙草專賣法ヲ適用ス

第六十九條 本法施行ノ際ニ於ケル葉煙草耕作者ハ本法ニ依ル煙草耕作者ト看做ス

第七十條 左記ノ物件ハ政府之ヲ徵收シ之ニ對シ補償金ヲ交付ス

一 明治三十七年六月三十日ニ現在スル煙草製造専用ノ器具機械及卷紙但シ刻煙草製造専用ノモノ

二 明治三十八年三月三十一日ニ現在スル刻煙草製造専用ノ器具機械

三 明治三十八年三月三十一日ニ現在スル葉煙草

第七十一條 本法施行ノ際政府ノ保管ニ係ル輸出葉煙草ニ關シテハ本法施行後ト雖仍葉煙草專賣法ヲ適用ス

第七十二條 明治三十七年六月三十日ニ現在スル刻煙草以外ノ煙草製造業者ノ所有ニ係ル葉煙草ハ明治三十八年三月三十一日迄ハ刻煙草製造業者若ハ葉煙草賣買業者ニ限リ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ所有スルコトヲ得但シ外國産葉煙草ニ限リ明治三十七年七月二十日迄ニ其ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第七十三條 本法發布ノ際ニ現在スル煙草製造用ノ建物、其ノ敷地及其ノ製造場備附ノ煙草製造用ノ器具機械ハ政府ニ於テ之ヲ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ニ對シ補償金ヲ交付スルコトヲ得政府ハ本法發布ノ後煙草製造業者ノ營業場ニ就キ前項ニ依リ徵收スヘキ物件ヲ調査シ徵收目錄ヲ調成ス

徵收目錄ハ本法發布後六十日以内ニ之ヲ所有者ニ告知ス

前項ノ告知後ハ所有者ハ政府ノ承認ヲ受クルニ非サレハ徵收目錄ニ記載シタル物件ヲ處分スルコトヲ得ス

第七十四條 煙草製造業者ノ所有ニ係ル煙草ノ製造及裝置ニ使用スヘキ物件並其ノ現ニ使用スル煙草製造及裝置用器具機械ニシテ第七十條ノ規定ニ該當セサルモノハ其ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得但シ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年六月三十日ニ現在スルモノニ限り刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年三月三十一日ニ現在スルモノニ限ル

前項ニ依リ買上ヲ請求シ得ヘキ物件ノ種類數量並器具機械ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十五條 政府ハ煙草製造業者ニ對シ其ノ請求ニ依リ煙草賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額ヲ交付シ其ノ額金五百圓ニ滿タサル者ニ對シテハ金五百圓ヲ交付ス但シ煙草製造用ノ建物及其ノ敷地ヲ所有スル者ニシテ其ノ建物及敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シテハ尙交付金ニ相當スル金額ノ六分ノ一ヲ増給ス

煙草製造業者ニシテ煙草元賣捌人ニ指定セラレタルモノニ對シテハ前項ノ規定ヲ適用セス

第一項ニ依リ交付スヘキ金額ハ總計金九百十萬圓ヲ以テ限度トス若此ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ各自ニ按分シテ之ヲ減少ス

第一項ノ賣渡代金ハ明治三十五年ヨリ明治三十六年ニ至ル二箇年間ノ賣渡代金ノ平均高ニ依リ明治三十五年二月以後ニ其ノ營業ヲ開始シタル者ハ明治三十六年ノ賣渡高ニ依ル

第一項ニ煙草製造業者トアルハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十六年一月三十一日以前ヨリ明治三十七年六月三十日ニ至ル迄、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十六年一月三十一日以前ヨリ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄其ノ營業ヲ繼續シタルモノニ限ル但シ家督相續人カ被相續人ノ營ミタル煙草製造業ヲ繼續シタル場合ニ於テ被相續人ノ營業期間ハ家督相續人ノ營業期間ト看做ス

第七十六條 第七十五條第一項ノ賣渡代金ハ確實ナリト認ムル帳簿書類ニ依リ政府之ヲ決定ス

第七十七條 第七十條、第七十三條ノ補償價格及第七十二條、第七十四條ノ買上價格ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議整ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

前項ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス

第七十八條 第七十條第一號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十七年七月五日迄ニ、同條第二號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十八年四月五日迄ニ其ノ種類數量ヲ政府ニ申告スヘシ此ノ期限ヲ過キ申告ヲ爲

ササルトキハ其ノ物件ノ藏置ニ關シテハ第三十六條及第六十條ヲ適用ス
前項ニ依リ申告ヲ爲シタル物件ノ藏置ニ關シテハ之カ徵收ヲ終ル迄第三十六條ヲ適用セス
第七十九條 第七十條第三號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十八年四月五日迄ニ其ノ種類數量ヲ政府ニ
申告スヘシ此ノ期限ヲ過キ申告ヲ爲ササルトキハ其ノ物件ノ藏置ニ關シテハ第五十六條ノ例ニ依リ
處分ス

第八十條 第七十四條ニ依ル物件買上ノ請求ハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年七
月五日迄ニ、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年四月五日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第八十一條 第七十五條ニ依ル交付金ノ請求ハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年九
月三十日迄ニ、刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年六月三十日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第八十二條 本法施行ノ際現在スル製造煙草又ハ刻煙草製造業者ノ明治三十八年三月三十一日迄ニ製
造シタル刻煙草ハ本法ノ規定ニ依ラス之ヲ所持シ、讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得

政府ハ必要ト認メタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ製造煙草ニ包裹ヲ施サシメ並一定ノ證票
ヲ貼附セシムルコトヲ得

前項ニ依ル命令ニ違反シ包裹ヲ施サス又ハ證票ヲ貼附セサル製造煙草ニ關シテハ第三十四條及第五
十七條ヲ準用ス

第八十三條 煙草製造業者又ハ製造煙草ヲ販賣スル者ハ明治三十七年六月三十日ニ於テ現ニ其ノ所持
ニ係ル刻煙草以外ノ製造煙草ノ種類數量ヲ明治三十七年七月十日迄ニ政府ニ申告スヘシ

刻煙草製造業者ハ明治三十八年三月三十一日ニ於テ現ニ其ノ所持ニ係ル刻煙草ノ種類數量ヲ翌月十
日迄ニ政府ニ申告スヘシ

第八十四條 本法施行後政府ノ賣渡ササル製造煙草ヲ販賣スル者ハ營業ニ關スル帳簿ヲ調製シ明治三
十七年七月以後毎月末日ニ於ケル製造煙草ノ種類數量及其ノ月ノ受拂高ヲ翌月五日迄ニ政府ニ申告
スヘシ

第八十五條 第八十三條及第八十四條ノ規定ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十六條 葉煙草專賣法ニ違反シタル者ニハ本法施行後ト雖仍同法ヲ適用ス

第八十七條 本法ハ勅令ヲ以テ指定シタル島嶼ニハ之ヲ施行セス
本法ヲ施行セサル地ト本法施行地トノ間ニ於ケル煙草ノ移入移出ニ關シテハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定
ム

政府ノ外本法ヲ施行セサル地ヨリ煙草ヲ本法施行地ニ移入スルコトヲ得ス犯シタル者ハ十圓以上千
圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル煙草ハ之ヲ沒收ス

第八十八條 明治三十八年ニ於テハ煙草製造業者及葉煙草賣買業者ニ係ル免許料ハ之ヲ徵收セス
明治三十七年ニ於ケル刻煙草以外ノ製造業者ニ係ル免許料ハ其ノ十二分ノ六ヲ還付ス

第八十九條 第七十條、第七十三條ノ補償金、第七十二條、第七十四條ノ買上金及第七十五條ノ交付金
ニ充ツル爲政府ハ國庫債券ヲ發行スルコトヲ得

第七十五條ノ交付金ハ國庫債券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ五十圓未滿ノ端數ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス

第七十條、第七十三條ノ補償金及第七十二條、第七十四條ノ買上金ハ本人ノ請求ニ依リ國庫債券ヲ以テ給付スルコトアルヘシ

國庫債券ニ對シテハ一箇年百分ノ五ノ利子ヲ附シ發行ノ年ヨリ七箇年以内ニ之ヲ償還ス

國庫債券ニ關シテハ本條ニ規定スルモノノ外整理公債條例ニ準據ス

●煙草專賣法ヲ施行セサル地方明治三十七年六月勅令第三百三十三號

朕煙草專賣法ヲ施行セサル地方ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

煙草專賣法第八十七條ニ依リ左ノ島嶼ニハ當分ノ内同法ヲ施行セス

一 北海道廳管下國後郡、色丹郡、得撫郡、新知郡、占守郡、紗那郡、振別郡、擇捉郡、藥取郡

一 東京府管下南島島

一 鹿兒島縣管下硫黃島、黒島、竹島、口之島、臥蛇島、平島、中之島、惡石島、寶島、諏訪之瀬島、沖永良部島、與論島

一 沖繩縣管下伊平屋島、伊是名島、具志川島、野甫島、久米島、前慶良間島、前島、後慶良間島、阿嘉島、慶留間島、粟國島、渡名喜島、鳥島、多良間島、水納島、波照間島、與那國島

●煙草專賣ニ關シ國稅徵收法ヲ準用スル場合ニ關スル件明治三十七年六月勅令第三百六十九號

朕煙草專賣法第四十條ニ依リ國稅徵收法ヲ準用スル場合ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

●煙草賣捌規則明治三十七年四月大藏省令第十三號

煙草賣捌規則左ノ通相定ム

第一條 煙草元賣捌人ハ大藏大臣之ヲ指定ス

煙草專賣法發布ノ日迄一箇年以上引續キ煙草ノ製造又ハ製造煙草ノ仲買ヲ業トシ明治三十六年分ノ所得稅本規則發布後ノ追加ヲ包含ヲ納メタル者ハ其ノ申出ニ依リ本規則施行ノ際ニ限リ煙草元賣捌人ニ指定セラルコトヲ得但シ同一地方ニ元賣捌人タルトスル者多數ニシテ著シク現狀ヲ變更スルノ虞アリト認メタルトキハ大藏大臣ハ煙草製造ヲ業トシタル者ニ限リ其ノ所得額ノ多キ者ヨリ順次之ヲ指定シ相當ノ數ニ至リ之ヲ止ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ煙草元賣捌人タルトスル者ハ明治三十七年五月十日迄ニ第一號書式ニ依リ其ノ申出ヲ爲スヘシ

第二條 左ニ掲クル者ハ煙草元賣捌人又ハ煙草小賣人ニ指定セラルコトヲ得ス

一 煙草耕作者、之ト同一ノ家ニ在ル者又ハ煙草耕作者ノ同居者

二 專賣法規若ハ租稅法規ニ違反シ罰金以上ノ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

三 身代限處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者又ハ家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ確定スルニ至ル迄ノ者

四 國稅滯納處分ヲ受ケ又ハ之ニ準シタル處分ヲ受ケ一箇年ヲ經サル者

五 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

第十六類 煙草專賣法ヲ施行セサル地方 煙草專賣ニ關シ國稅徵收法ヲ準用スル場合ニ關スル件 煙草賣捌規則 追加 (三五七) 二二二二ノ三四

- 六 公權剝奪若ハ停止中ノ者
- 七 履行期日ヲ過キ仍ホ製造煙草ノ買入代金ヲ完済セサル者
- 第三條 煙草元賣捌人又ハ煙草小賣人ニ指定セラレタル者ハ指定ノ日ヨリ五箇年間其ノ營業ヲ爲スコトヲ得
- 煙草元賣捌人又ハ煙草小賣人死亡シタルトキ其ノ相續人ハ大藏大臣ニ届出テ殘期間其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得
- 第四條 煙草元賣捌人又ハ煙草小賣人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ廢業ノ日ヨリ三十日以前ニ其ノ旨大藏大臣ニ届出ツヘシ
- 第五條 左ノ場合ニ於テ大藏大臣ハ煙草元賣捌人又ハ煙草小賣人ノ指定ヲ取消スコトヲ得但シ第三號ノ規定ハ煙草小賣人ニハ之ヲ適用セス
 - 一 本規則ニ定ムル義務ヲ怠リ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ尙ホ之ヲ履行セザルトキ
 - 二 第二條ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ
 - 三 煙草賣渡代金一箇年五千圓未滿ナルトキ
- 第六條 煙草元賣捌人ノ買受クル煙草ノ代金ハ定價ニ對シ一定ノ割引歩合ニ依リ之ヲ定ム
- 第七條 煙草元賣捌人煙草ヲ買受ケムトスルトキハ第二號書式ニ依リ毎月五日迄ニ翌月分ノ煙草賣渡請求書ヲ大藏大臣ノ指定シタル煙草製造所又ハ煙草藏置場ニ差出スヘシ
- 第八條 煙草元賣捌人ハ煙草ノ買受代金ヲ納付シタル後ニ非サレハ現品ノ引渡ヲ受クルコトヲ得ス
- 第九條 煙草元賣捌人カ買受ケタル煙草ハ煙草製造所又ハ煙草藏置場ニ於テ之カ引渡ヲ爲スモノトス
- 煙草製造所又ハ煙草藏置場ノ所在地ヨリ煙草元賣捌人ノ所在地ニ至ル迄ノ間ノ煙草運搬費ハ一定ノ割合ヲ以テ政府之ヲ支給ス但シ煙草製造所又ハ煙草藏置場ノ所在地及之ニ準スヘキ地ニ在ル煙草元賣捌人ニハ之ヲ支給セス
- 第十條 煙草元賣捌人ト煙草小賣人トハ互ニ相兼ヌルコトヲ得ス又其ノ營業場ヲ同クスルコトヲ得ス
- 第十一條 煙草元賣捌人ノ營業場ハ一人一箇所ニ限ルモノトス但シ本規則發布ノ際煙草製造業者ニシテ二箇所以上ノ煙草製造場ヲ有シ又ハ製造煙草ノ仲買業者ニシテ支店又ハ代理店ヲ有シタル者ハ其ノ場所ニ限リ營業場ヲ設クルコトヲ得ス
- 第十二條 煙草元賣捌人ハ大藏大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ營業場ノ位置ヲ變更スルコトヲ得ス
- 第十三條 煙草元賣捌人他ノ營業ヲ兼ヌルトキハ其ノ營業場ト他ノ營業場トノ間ニ相當ノ區劃ヲ設クヘシ

- 第十四條 煙草ノ定價ヲ引下ケタル場合ニ於テハ煙草元賣捌人ハ變更定價ノ適用期日後十五日以内ニ其ノ舊定價ニテ買受ケ變更定價ノ適用期日ニ至ル迄所有シタル煙草買受代金ト變更定價ニ基キ計算シタル金額トノ差額ノ拂戻ヲ大藏大臣ノ指定シタル煙草製造所ニ請求スルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ其ノ煙草ノ種類、名稱、包裝別數量ヲ證明スルニ足ル書類及拂戻金計算書ヲ其ノ煙草製造所ニ差出スヘシ
- 第十五條 煙草元賣捌人ハ製造煙草ニシテ品質ノ惡變シ又ハ包裝ノ破損シタルモノアルトキハ大藏大臣ノ指定シタル煙草製造所ニ之カ引替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ煙草元賣捌人ハ其ノ事由ヲ詳記シタル書類ヲ調製シ其ノ煙草ハ別ニ之ヲ保存シ當該官吏ノ検査ヲ受ケ其ノ證明書ヲ添ヘ煙草製造所ニ現品ヲ差出スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ其ノ引替ノ原因カ煙草元賣捌人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ生シタルトキ又ハ引替若ハ買戻ノ爲メニ煙草小賣人ヨリ引渡ヲ受ケタル煙草ニシテ其ノ引替ノ原因カ煙草小賣人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ生シタルトキハ煙草元賣捌人ハ煙草ノ價格減少ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ
- 第十六條 煙草小賣人第二十二條ニ依リ煙草ノ引替ヲ請求シ又ハ第二十四條ニ依リ煙草ノ買戻ヲ請求シタルトキハ煙草元賣捌人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第十七條 煙草元賣捌人ハ第三號及ヒ第四號書式ノ帳簿ヲ調製シ翌月五日迄ニ第五號書式ノ煙草受拂月計表ヲ所管專賣支局ニ差出スヘシ
- 第十八條 煙草元賣捌人死亡シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ又ハ其ノ指定ヲ取消サレ若ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキ現存スル煙草ハ大藏大臣ノ指定シタル煙草製造所ニ之カ買戻ヲ請求スルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テ煙草元賣捌人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ由リテ煙草ノ品質惡變シ若ハ包裝ノ破損シタルモノアルトキ又ハ引替若ハ買戻ノ爲メニ煙草小賣人ヨリ引渡ヲ受ケタル煙草ニシテ煙草小賣人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ品質惡變シ若ハ包裝ノ破損シタルモノアルトキハ拂戻スヘキ金額ヨリ其價格減少ニ相當スル金額ヲ控除ス
- 第十九條 煙草小賣人ハ大藏大臣ノ指定ス
- 煙草專賣法發布ノ日ニ於テ煙草ノ製造又ハ製造煙草ノ仲買ヲ業トシタル者ニシテ煙草元賣捌人ニ指定セラレサル者製造煙草ノ小賣ヲ業トシタル者及葉煙草ノ賣買ヲ業トシタル者ハ本規則施行ノ際ニ限リ煙草小賣人ニ指定セラレルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ煙草小賣人タラムトスル者ハ明治三十七年五月十日迄ニ第六號書式ニ依リ所管專賣支局ニ其ノ申出ヲ爲スヘシ

第二十條 煙草小賣人ハ煙草元賣捌人以外ヨリ煙草ヲ買受クルコトヲ得ス
 第二十一條 煙草小賣人ハ營業場ノ見易キ場所ニ煙草定價表ヲ掲クヘシ
 第二十二條 製造煙草ニシテ品質ノ惡變シ又ハ包裹ノ破損シタルモノアルトキハ煙草小賣人ハ其ノ販賣ヲ爲シタル煙草元賣捌人ニ之カ引替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ煙草小賣人ハ其ノ事由ヲ詳記シタル書類ヲ調製シ其ノ煙草ハ別ニ之ヲ保存シ當該官吏ノ検査ヲ受ケ其ノ證明書ヲ添ヘ煙草元賣捌人ニ現品ヲ差出スヘシ
 前項ノ場合ニ於テ其ノ引替ノ原因カ煙草小賣人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ生シタルトキハ煙草小賣人ハ煙草ノ價格減少ニ相當スル金額ヲ辨償スヘシ
 第二十三條 煙草小賣人ハ第七號書式ノ帳簿ヲ調製シ第八號書式ノ煙草受拂月計表ヲ毎年十月五日及四月五日迄ニ所管專賣支局ニ差出スヘシ
 第二十四條 煙草小賣人死亡シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ又ハ其ノ指定ヲ取消サレ若ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキ現存スル煙草ハ其ノ販賣ヲ爲シタル煙草元賣捌人ニ之カ買戻ヲ請求スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テ煙草小賣人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ品質惡變シ若ハ包裹ノ破損シタルモノアルトキハ拂戻スヘキ金額ヨリ其ノ價格減少ニ相當スル金額ヲ控除スヘシ
 第二十五條 本規則中大藏大臣ニ差出スヘキ書類ハ所管專賣支局ヲ經由スヘシ
 (書式略)

●煙草專賣法ニ依リ物件申告並買上請求ニ關スル件 明治三十七年五月大藏省令第十六號

第一條 煙草專賣法第七十條第一號ノ物件ヲ所有スルモノハ明治三十七年七月五日迄ニ同條第二號ノ物件ヲ所有スル者ハ明治三十八年四月五日迄ニ第一號書式ニ依リ所管臨時煙草製造準備局出張所ニ申告スヘシ
 第二條 煙草專賣法第七十條第三號ノ葉煙草ヲ所有スル者ハ明治三十八年四月五日迄ニ第二號書式ニ依リ所管臨時煙草製造準備局出張所ニ申告スヘシ
 第三條 煙草專賣法第七十二條但書ニ依リ外國產葉煙草ノ買上ヲ請求セントスル者ハ明治三十七年七月二十日迄ニ第二號書式ノ請求書ニ其ノ現品ヲ添ヘ所管臨時煙草製造準備局出張所ニ差出スヘシ

第四條 煙草專賣法第七十三條第二項ニ依リ政府ニ於テ徵收スヘキ物件ノ調査ヲ爲ス場合ニハ當該官吏ハ豫メ其ノ期日ヲ告知シ所有者立會ノ上之ヲ調査シ調査済ノ物件ハ其ノ徵號ヲ標記スヘシ

第五條 煙草專賣法第七十四條ノ物件並器具機械ノ買上ヲ請求セントスル者ハ刻煙草以外ノ煙草製造業者ニ在リテハ明治三十七年七月五日迄ニ刻煙草製造業者ニ在リテハ明治三十八年四月五日迄ニ第三號書式ニ準シタル請求書ニ其ノ現品ヲ添ヘ所管臨時煙草製造準備局出張所ニ差出スヘシ
 但シ原動機ノ如キ特ニ運搬ニ困難ナルモノハ臨時煙草製造準備局出張所ノ承認ヲ受ケ現品ヲ添ヘサルコトヲ得

第六條 前條物件ノ種類數量並器具機械ノ種類ハ左ノ如シ
 一 庖刀 刻煙草、卷煙草及葉卷煙草製造ニ用フルモノ
 一 砥石
 一 口紙 口付紙卷煙草製造用
 一 吸口 蠟紙製、竹製及陶器製ノモノ
 一 包裹 商標其ノ他ノ記號ヲ印刷セル包紙、紙製及金屬製箱類封緘紙
 一 錫紙 製品包裝用
 一 包裹用紙 製品包裝用
 一 記號用紙類 商標記號等ヲ印刷セル紙類
 一 蠟紙 製品包裝用
 前各號ノ數量ハ明治三十六年ニ於ケル平均一箇月分ノ使用高ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 衡器
- 一 砂掃臺
- 一 葉卷臺
- 一 卷葉箱 卷葉ヲ入ルルニ用フルモノ
- 一 葉煙草骨拔臺
- 一 卷葉壓押器

- 一 庖刀銚 磨減セル庖刀ニ手入ヲ爲スモノ
- 一 庖刀打臺
- 一 刻煙草橫切機械
- 一 加香用霧吹ポンプ
- 一 煙草貯藏箱 加香後ノ刻煙草貯藏用
- 一 紙截臺
- 一 紙截器
- 一 包裏用型
- 一 煙草包裝用紙函製造ニ用フル器具機械
- 一 製品包裝用框 葉卷煙草製造用
- 一 葉卷煙草製造用尺度
- 一 填充葉浸漬用水槽 葉卷煙草製造用
- 一 水切臺 同上
- 一 醱酵箱 同上
- 一 葉卷煙草型
- 一 葉卷煙草型押壓器
- 一 紙卷煙草解放器 葉卷煙草製造用
- 一 吸口型 葉卷煙草製造用
- 一 葉卷煙草轉壓板 葉卷煙草製造用
- 一 葉卷煙草盒箱 葉卷煙草製造用
- 一 製品貯藏箱 葉卷煙草製造用
- 一 烙印押壓器
- 一 製品運搬箱

一 原動機 煙草製造用ノ爲メ特設シタルモノ
 一口紙旋絡機

一 前記各種機械ノ附屬品並卷板、擲板、押研、砥弓等煙草製造用ノ雜具

第七條 煙草專賣法第七十七條第一項ノ鑑定人ハ二人以上トシ臨時煙草製造準備局長官之ヲ選定ス

前項ノ鑑定人ハ少ナクトモ其ノ半數ヲ官吏以外ヨリ選定スルモノトス

臨時煙草製造準備局長官補償價格又ハ買上價格ノ決定ヲ爲シタルトキハ其決定書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第八條 前條ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲サントスル者ハ十日以内ニ不服ノ要領ヲ具シ必要ノ書類アルモノハ其書類ヲ添附シ所管

臨時煙草製造準備局出張所ヲ經由シ大藏大臣ニ再鑑定ノ請求ヲ爲スヘシ

第九條 大藏大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第七條ニ依リ選定シタル鑑定人以外ヨリ二人以上ノ鑑定人ヲ選定ス

前項ノ鑑定人ハ少クモ其半數ヲ官吏以外ヨリ選定スルモノトス

大藏大臣補償價格又ハ買上價格ノ決定ヲ爲シタルトキハ其決定書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第十條 煙草專賣法第八十九條第三項ニ依リ國庫債券ヲ以テ補償金又ハ買上金ノ給付ヲ受ケムトスル者ハ豫メ其旨所管臨時煙草製

造準備局出張所ニ申告スヘシ

第十一條 官吏以外ヨリ選定シタル鑑定人ニハ一日金壹圓乃至拾圓ノ範圍内ニ於テ手當ヲ支給ス

第十二條 官吏以外ヨリ選定シタル鑑定人ニハ左ノ範圍内ニ於テ旅費ヲ支給ス

一 汽車賃ハ一哩ニ付三錢以上六錢以下

二 船賃ハ一海里ニ付三錢以上六錢以下

三 車馬賃ハ一里ニ付十錢以上三十錢以下

前項旅費ノ支給ハ内國旅費規則ニ準據ス但シ同規則第九條ハ此ノ限ニ在ラス

(書式略)

● 煙草專賣法違反事件ニ關スル件

明治三十七年五月
 勅令第百六十四號

朕煙草專賣法ノ施行ニ關シ間接國稅犯則者處分法施行規則ヲ準用シ及收稅官吏又ハ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
煙草專賣法違反事件ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則ヲ準用ス
間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ煙草專賣官吏、收稅官吏、樟腦專賣官吏、稅關官吏又ハ警察官吏トシ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ違反事件發見地ヲ管轄スル葉煙草收納所長トス

附則

本令ハ明治三十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●煙草專賣法施行細則 明治三十七年五月 大藏省令第十九號

- 煙草專賣法施行細則左ノ通相定ム
- 第一條 煙草ヲ耕作セムトスル者ハ葉煙草收納所長ノ定ムル期間内ニ第一號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ許可ヲ受ケルヘシ
- 前項耕作ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第二號書式ノ許可證ヲ交付スヘシ
- 第二條 葉煙草收納所長ハ左ノ順序ニ依リ煙草ノ耕作ヲ許可スヘシ
 - 一 前年ニ於テ煙草ノ耕作、乾燥、調理、包裝、品質等他ノ模範トナルヘキモノト認メラレタル者
 - 二 前年迄煙草ノ耕作ヲ繼續シタル者
 - 三 本年新規耕作ヲ申請セル者
- 第三條 葉煙草收納所長ハ耕作許可申請ニ係ル段別カ申請者ノ資力及其ノ耕作上ノ設備ニ比シテ適當ナリト認ムルトキハ其ノ段別

ヲ減少シテ許可スルコトアルヘシ

- 第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ煙草耕作者タルコトヲ得ス
 - 一 煙草賣捌人
 - 二 煙草製造專用ノ器具機械又ハ卷紙ノ製作者、販賣者又ハ藏置者
 - 三 煙草ノ輸出又ハ移出ヲ業トスル者
 - 四 前各號ノ一ニ該當スル者ト同一ノ家ニ在ル者又ハ其ノ同居者
- 第五條 葉煙草收納所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ煙草耕作ヲ許可セサルコトアルヘシ
 - 一 煙草ニ關スル法令ニ違反シタル者
 - 二 煙草耕作ノ成績不良ナリシ者
 - 三 不適當ト認ムル場所ニ煙草ヲ耕作セムトスル者
 - 四 取締上不便ト認ムル場所ニ煙草ノ耕作、乾燥又ハ藏置ヲ爲サムトスル者
 - 五 段別五畝歩未滿ノ土地ニ煙草ヲ耕作セムトスル者
 - 六 其ノ他煙草耕作者タルニ不適當ナリト認ムル者
- 第六條 煙草耕作者苗床ノ場所、坪數、煙草耕作地ノ場所、段別、煙草ノ種類、本數、乾燥場及藏置場ヲ變更増減シ又ハ耕作ヲ廢止セムトスルトキハ第一號書式ニ準シ所管葉煙草收納所ニ申請シ許可ヲ受ケルヘシ
- 第七條 相續ニ因ルノ外煙草ノ耕作ヲ承繼セムトスル者ハ其ノ耕作許可證並第三號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ許可ヲ受ケルヘシ
- 相續ニ因リ其ノ耕作ヲ承繼シタルトキハ其ノ耕作許可證並第四號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ耕作許可證ノ交付ヲ受ケルヘシ
- 第八條 煙草耕作者其ノ耕作段別ノ減少又ハ耕作廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ其ノ現存スル煙草又ハ煙草苗ハ當該官吏ノ承認ヲ受ケ相當ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第九條 煙草耕作者煙草苗ノ讓渡又ハ讓受ヲ爲サムトスルトキハ第五號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ許可ヲ受ケルヘシ
- 第十條 煙草耕作者其ノ許可證ヲ亡失シタルトキハ直ニ事由ヲ具シ之カ再交付ヲ所管葉煙草收納所ニ申請スヘシ

第十六類 煙草專賣法施行細則

第十一條 左ニ掲クル事項ハ葉煙草收納所長ノ指示スル所ニ從フヘシ

- 一 種子ノ採收
 - 二 苗床ノ設備及其ノ管理
 - 三 播種期
 - 四 移植期
 - 五 畦間株間ノ距離
 - 六 腋芽ノ摘逐
 - 七 心止
 - 八 其ノ他ノ耕作方法
 - 九 葉分ノ選別
 - 十 乾燥方法
 - 十一 葉熨ノ方法
 - 十二 一把ノ葉數
 - 十三 一包ノ把數又ハ量目
 - 十四 結束材料
 - 十五 包裝ノ方法
- 第十二條 煙草ノ移植ヲ了シタルトキハ殘存セル煙草苗ハ直ニ廢棄スヘシ但シ移植後三週間ヲ限リ豫備苗トシテ必要ノ本數ヲ保存スルコトヲ得
- 第十三條 煙草耕作者ハ其ノ耕作地一箇所毎ニ字、地番、氏名及許可番號ヲ記シタル目標ヲ設クヘシ
- 第十四條 煙草專賣法第十一條ニ依リ葉煙草ノ量目又ハ葉數ヲ査定セムトスルトキハ葉煙草收納所長ハ其ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ公示スヘシ
- 第十五條 煙草耕作者當該官吏ノ査定シタル量目又ハ葉數ニ對シ異議ノ申立ヲ爲サムトスルトキハ即時異議申立簿ニ其ノ不服ノ要領ヲ記入シ捺印スヘシ

第十六條 煙草專賣法第十二條第二項ニ依リ選定スヘキ鑑定人ハ葉煙草收納所長ニ於テ少クトモ其ノ半數ヲ煙草專賣局員以外ヨリ選定スルモトス

第十七條 葉煙草收納所長煙草專賣法第十二條第二項ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ第六號書式ノ決定書ヲ異議申立人ニ交付スヘシ

第十八條 煙草耕作者災害其ノ他ノ事故ニ因リ其ノ耕作煙草ニ損害ヲ受ケタルトキハ其ノ事由ヲ具シ所管葉煙草收納所ニ届出ツヘシ

第十九條 枯葉、不熟葉、蝕損葉、立枯等アルトキハ煙草耕作者ハ當該官吏ニ申出テ其ノ指揮ヲ受ケ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第二十條 煙草耕作者種子採取ノ爲母木ヲ保存セムトスルトキハ其ノ種類、本數ヲ定メ豫メ所管葉煙草收納所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條 葉煙草ハ其ノ種類、乾燥法、葉分、品質、葉莖ニ依リ區分調理スヘシ

第二十二條 前條ノ葉分ハ總テ左ノ區分ニ依ルヘシ

- 一 土葉
- 二 中葉
- 三 木葉
- 四 天葉

前項ノ葉分ニ依リ難キモノハ雜葉トスヘシ

第二十三條 乾燥調理ノ際生シタル葉屑等ニシテ收納ニ適セサルモノハ當該官吏ノ承認ヲ經テ之ヲ廢棄スヘシ

第二十四條 葉煙草納付ノ場所及期日ハ葉煙草收納所長ノ決定メ豫メ公示スヘシ

第二十五條 煙草耕作者納付ノ爲葉煙草ヲ運送スルトキハ耕作許可證ヲ携帯スヘシ

前項ノ許可證ハ納付ノ際之ヲ所管葉煙草收納所ニ提出シ葉煙草ノ納付量目、賠償金等ノ記入ヲ受クヘシ

第二十六條 煙草耕作者ノ納付セムトスル葉煙草ニシテ乾燥、調理、包裝ノ不完全ナルモノハ耕作者ヲシテ更ニ相當ノ處理ヲ爲サシムヘシ

第二十七條 煙草耕作者煙草專賣法第十六條ニ依リ再鑑定ヲ求メムトスルトキハ賠償金ノ請求前ニ於テ第七號書式ニ依リ其ノ不服ノ要領ヲ所管葉煙草收納所長ニ申出ツヘシ

第二十八條 第二十七條ニ依リ再鑑定ノ申立アリタルトキハ葉煙草收納所長ハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徴シ之ヲ決定

シ第八號書式ノ決定書ヲ申立人ニ交付スヘシ
 前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ煙草專賣局員以外ヨリ選定スヘシ
 第二十九條 葉煙草收納所長ハ取締上必要ト認メタルトキハ煙草耕作者ニ對シ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得
 第三十條 公共團體又ハ私人ニ於テ試作場ヲ特設シ煙草ノ試作ヲ爲サムトスルトキハ第一號書式ニ準シタル申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ許可ヲ受クヘシ
 前項試作ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第二號書式ニ準シタル許可證ヲ交付スヘシ
 第三十一條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ノ賣渡ヲ請求セムトスル者ハ第九號書式ノ輸出煙草賣渡申請書ヲ煙草專賣局長ニ差出シ其ノ指定スル煙草專賣官署ニ代金ヲ納付シ現品ヲ引取ルヘシ
 輸出ノ爲煙草ヲ買受ケタル者煙草ノ藏置場ヲ變更セムトスルトキハ所管葉煙草收納所ニ申出テ許可ヲ受クヘシ
 第三十二條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ輸出後煙草專賣局長ノ指定シタル期間内ニ輸出免狀並外國仕向港ニ陸揚ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ煙草專賣局ニ差出スヘシ
 第三十三條 輸出ノ爲葉煙草又ハ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ帳簿ヲ調製シ少クトモ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 一 葉煙草ノ買入年月日、拂出(輸出、納付)年月日、包裝番號、種類、葉分、量目、代金及仕向先
 二 葉煙草ノ改裝年月日、元包裝番號、元量目、改裝番號及改裝量目
 三 製造煙草ノ買受年月日、拂出(輸出、納付)年月日、種類、名稱、數量、(本數別又ハ量目別)代金及仕向先
 第三十四條 輸出ノ爲買受ケタル葉煙草又ハ製造煙草ニシテ其ノ使用ニ適セザルニ至リ之ヲ廢棄セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ所管葉煙草收納所ニ申出テ許可ヲ受クヘシ
 第三十五條 標本ニ供スル爲葉煙草ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第十號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出スヘシ
 第三十六條 標本ニ供スル爲葉煙草又ハ製造煙草ノ輸入ヲ爲サムトスル者ハ第十一號書式ノ申請書ヲ煙草專賣局ニ差出シ許可ヲ受クヘシ
 第三十七條 第三十五條及第三十六條ノ標本煙草ヲ標本トシテ他ニ讓渡サムトスルトキハ第十二號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ許可ヲ受クヘシ
 第三十八條 煙草專賣法第三十二條ニ依リ製造煙草ヲ輸入セムトスル者ハ第十三號書式ノ申請書ヲ煙草專賣局ニ差出シ許可ヲ受ク

第三十九條 煙草專賣法ヲ施行セザル地ニ移出スル爲製造煙草ノ賣渡ヲ請求スル者アルトキハ煙草專賣局長ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ之ヲ賣渡スコトヲ得
 第四十條 移出ノ爲ニ製造煙草ノ賣渡ヲ請求セムトスル者ハ第九號書式ニ準シタル賣渡申請書ヲ煙草專賣局長ニ差出シ其ノ指定スル煙草製造所ニ代金ヲ納付シ現品ヲ引取ルヘシ
 第四十一條 移出ノ爲ニ製造煙草ヲ買受ケタル者ハ仕向地ニ陸揚ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ買受後相當ノ期間内ニ其ノ買受ヲ爲シタル煙草製造所ニ差出スヘシ
 正當ノ事由ナクシテ仕向地ニ陸揚ヲ爲シタル數量ヲ買受ヲ爲シタル數量ヨリ少キトキハ移出者ヲシテ其ノ不足額ニ對スル煙草ノ定價ト其ノ買受價額トノ差額ニ相當スル金額ヲ其ノ買受ヲ爲シタル煙草製造所ニ納付セシム
 第四十二條 移出者ハ第三十三條ノ規定ニ準シ帳簿ノ調製記載ヲ爲スヘシ
 第四十三條 煙草製造專用ノ器具機械又ハ卷紙ヲ製作シ販賣シ又ハ藏置セムトスル者ハ第十四號又ハ第十五號書式ノ申請書ヲ所管葉煙草收納所ニ差出シ許可ヲ受クヘシ
 前項ノ許可ヲ受ケタル者其ノ業ヲ廢セムトスルトキハ其ノ旨所管葉煙草收納所ニ届出ツヘシ
 第四十四條 煙草製造專用ノ器具機械又ハ卷紙ノ製作者又ハ販賣者ハ帳簿ヲ調製シ少クトモ器具機械又ハ卷紙ノ種類、數量、代金、製作月日又ハ買受月日、買受先、賣渡月日、賣渡先ヲ記載スヘシ
 第四十五條 煙草、煙草製造專用ノ器具機械又ハ卷紙ノ運送ヲ委託セラレタル者ハ其ノ運送中ハ委託者ノ代理人トナリタルモノト看做ス
 附則
 第四十六條 本省令ハ煙草專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第四十七條 明治三十年大藏省令第十六號葉煙草再鑑定規程及明治三十四年大藏省令第四號葉煙草專賣法施行細則ハ本省令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ煙草專賣法附則第六十八條第二項ニ依リ刻煙草ノ製造ヲ業トスル者及葉煙草ノ賣買ヲ業トスル者ニ對シテハ仍葉煙草專賣法施行細則ヲ適用ス
 第四十八條 煙草專賣法第八十三條ニ依ル申告書ハ第十六號書式ニ依リ所管葉煙草收納所ニ差出スヘシ

第四十九條 煙草專賣法第八十四條ニ依リ調製スヘキ帳簿ニ關シテハ第三十三條ノ規定ヲ準用ス
明治三十七年七月以後ニ於ケル毎月末日現在製造煙草ノ種類數量及其ノ月ノ受拂高ハ第十七書式ニ依リ翌月五日迄ニ所管葉
煙草收納所ニ申告スヘシ
(書式略)

●煙草鑑定人ノ手當旅費支給方及異議申立費用徴收方明治三十七年七月
大藏省令第三十二號

煙草專賣法第十二條及第十六條ニ依リ選定スル鑑定人ノ手當旅費支給方及異議申立人ノ負擔スヘキ費用徴收方等左ノ通之ヲ定ム
第一條 鑑定人鑑定ニ從事シ若ハ鑑定職務ノ爲メ旅行スルトキハ其日數ニ應シ手當トシテ一日金貳圓以内ヲ支給ス
第二條 鑑定人公務ニ依リ旅行スルトキハ前條手當ノ外旅費トシテ別表定ムル所ニ依リ汽車賃、船賃、車馬賃ヲ支給ス
第三條 旅費支給ノ方法ハ内國旅費規則ニ準據ス但シ同規則第九條ハ此限ニアラス
第四條 前各條ノ規定ハ之ヲ煙草專賣局員ヨリ選定スル鑑定人ニ適用セス
第五條 異議申立人ノ負擔スヘキ費用ハ鑑定人ノ手當、旅費及直接鑑定ニ要スル用紙代、郵便料、人夫賃トス
(別表)

旅費額

汽車賃一哩ニ付	船賃一哩ニ付	車馬賃一里ニ付
四錢	四錢	拾五錢

●粗製樟腦、樟腦油專賣法違反事件ニ關スル職務執行官吏明治三十六年九月
勅令第四百一十一號
朕粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十三條ニ依リ間接國稅犯則者處分法中收稅官吏又ハ稅務署長ニ屬
スル職務ヲ行フヘキ官吏ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

●粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十三條ニ依リ間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フ
ヘキ官吏ハ内地ニ於テハ粗製樟腦、樟腦油若ハ葉煙草專賣ニ從事スル官吏、收稅官吏、稅關官吏、
警察官吏又ハ森林官吏、臺灣ニ於テハ專賣ニ從事スル官吏又ハ警察官吏トシ稅務署長ニ屬スル職
務ヲ行フヘキ官吏ハ内地ニ於テハ樟腦事務局長、臺灣ニ於テハ專賣局長又ハ專賣支局長トス

●樟腦、樟腦油ノ輸出又ハ輸送明治三十六年九月
勅令第四百一十二號

朕樟腦、樟腦油ノ輸出又ハ輸送ヲ爲スコトヲ得ヘキ港灣指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
粗製樟腦、樟腦油專賣法第五條ニ依リ樟腦、樟腦油ノ輸出又ハ輸送ヲ爲スコトヲ得ヘキ港灣左ノ
通指定ス

- 神戸港
- 基隆港
- 淡水港

●粗製樟腦、樟腦油專賣法施行規則明治三十六年九月
大藏省令第二十三號

粗製樟腦、樟腦油專賣法施行細則左ノ通相定ム
第一條 粗製樟腦、樟腦油ヲ製造セムトスル者又ハ粗製樟腦ヲ精製セムトスル者ハ製造場、竈敷、一箇年ノ生産見込量目及製造者

第十六類 煙草鑑定人ノ手當旅費支給方及異議申立費用徴收方 粗製樟腦、樟腦油專賣法違反事件ニ關スル職務執行官吏 樟腦、樟腦油ノ輸出又ハ輸送港灣 粗製樟腦、樟腦油專賣法施行規則 追加(三七一) 一三二二ノ四八

水維 分物 及百 固分 形率 夾	乘		
	硫 酸 反		
	著 色 上 昇 溫 度 (攝氏 溫度)	二十 分 規 過 液 ヲ ヘ カ ラ ス	十五 分 規 過 液 ヲ ヘ カ ラ ス
0.5	1.00	0.98	
6.	0.98	0.96	
7.	0.96	0.94	
8.	0.94	0.92	
9.	0.92	0.90	
10.	0.90	0.88	
11.	0.88	0.86	
12.	0.86	0.84	
13.	0.84	0.82	
14.	0.82	0.80	
15.	0.80	0.78	
16.	0.78	0.76	
17.	0.76	0.74	
18.	0.74	0.72	

追加 (三七四) 二三二二ノ五二

第十五條ノ三 粗製樟腦、樟腦油製造者ノ納付セムトスル粗製樟腦ニシテ其ノ品質粗悪ナルモノ又ハ其ノ樟腦油ニシテ標準品質ニ適合セサルモノハ製造者ヲシテ更ニ相當ノ處理ヲ爲サシムルコトアルヘシ(上同)

第十六條 樟腦事務局ハ粗製樟腦、樟腦油ノ品質ヲ鑑定シ之ニ相當スル補償金ヲ交付ス

第十七條 粗製樟腦、樟腦油製造者又ハ其ノ代理人災害其ノ他ノ事故ニ因リ粗製樟腦、樟腦油ニ損害ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ現ニ損害アリタル地ヲ所轄スル樟腦事務局ニ届出ツヘシ

第十八條 粗製樟腦、樟腦油又ハ精製樟腦ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ直ニ代金ヲ納付シ現品ヲ引取ルヘシ若シ賣渡契約ノ日ヨリ三日以内ニ現品ヲ引取ラサルトキハ相當ノ保管料ヲ徴收ス但シ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 粗製樟腦、樟腦油又ハ精製樟腦ノ收納又ハ賣渡時間ハ公暇日ヲ除クノ外毎日午前九時ヨリ午後四時マテトス但シ既ニ收納ニ著手シタルモノニ付テハ午後四時ヲ過クルモノ之ヲ收納スルコトアルヘシ

第二十條 粗製樟腦、樟腦油製造者ハ少ナクトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 原料ノ種類、量目、他ヨリ引取リタルモノニ在リテハ引取ノ日及其ノ引取先

二 使用シタル原料ノ種類、一釜毎ノ原料使用量目、釜數、使用原料總量目及其ノ使用ノ日

三 製造シタルモノノ種類、一釜毎ノ製造量目、製造總量目及其ノ製造ノ日

四 政府ニ納付シタルモノノ種類、量目、補償金額、納付ノ日

第二十一條 粗製樟腦精製者ハ少ナクトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一 粗製樟腦ノ量目、價額、買入ノ日及其ノ買入先

二 使用シタル粗製樟腦ノ量目及其ノ使用ノ日

三 製造シタルモノノ種類、量目及其ノ製造ノ日

四 他ニ引渡シタル精製樟腦ノ量目、價額、引渡ノ日及其ノ引渡先

第二十二條 粗製樟腦、樟腦油專賣法第十二條ニ依リ検査又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲ス官吏ハ左ノ證票ヲ携帯スヘシ(證票略)

第二十三條 第十一條、第十四條、第十六條及第二十四條ヲ除クノ外本則中樟腦事務局ニ屬スル事務ハ樟腦事務局出張所アル地方ニ於テハ 事務局出張所之ヲ行フ

附 則

第二十四條 粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十六條ニ該當スル粗製樟腦、樟腦油ノ所有者ハ明治三十六年十一月三十日マテニ其ノ粗製樟腦、樟腦油ヲ所轄樟腦事務局ニ納付スヘシ

第二十五條 粗製樟腦、樟腦油專賣法第二十八條ニ依リ許可ヲ受ケノトスル者ニハ本則第一條ヲ準用ス

●印紙類賣下賣捌規則中改正 明治三十七年三月 勅令第八十二號

●印紙類賣下賣捌規則中左ノ通改正ス

第十五條中「沖繩縣」ヲ削ル

●稅關假置場使用料及手數料中改正 明治三十六年十一月 大藏省令第三十五號

第十六類 印紙類賣下賣捌規則中改正 稅關假置場使用料及手數料中改正 追加 (三七五) 二三二二ノ五二

六丁參看
上卷二四八
六丁參看

六丁參看
上卷二四八
六丁參看

六丁參看
上卷二四八
六丁參看

明治三十三年大蔵省令第十五號中左ノ通改正シ明治三十六年十二月一日ヨリ施行ス
第一條第一號中「五厘」ヲ「貳厘」ニ改メ同條第二號中「四拾錢」ヲ「貳拾錢」ニ改ム

追加 (三七六) 二二二二ノ五三

● 關稅定率法中改正 明治三十七年三月 法律第九號

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス

- 六九ノ一 各種變性アルコール 每リートル 四拾貳錢
- 六九ノ二 各種酒精(阿片丁幾ヲ除ク) 每リートル 四拾貳錢
- 二七八 石油 二、〇〇

附則

本法ハ發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

● 輸入物品從量稅目中改正 明治三十七年四月 勅令第九十一號

明治三十五年勅令第二百十九號中左ノ通改正ス

輸入物品從量稅目中ニ左ノ如ク加フ

- 三七 生 卵 每百斤 三九二三
- 二七八 石油 每ガロン 〇三八

附則

本令ハ發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

● 保稅倉庫法ニ依ル通路中改正 明治三十六年十月 大蔵省令第二十八號

明治三十四年大蔵省令第二十五號中左ノ通追加ス
名古屋四日市間 關西鐵道若ハ四日市港ヨリ熱田港堀川口及ヒ堀川口ヨリ堀川ヲ經テ名古屋市納屋町二丁目ニ至ル直航水路 官設鐵道 名古屋武豐間

● 私設保稅倉庫營業ノ特許等ニ關シ特許手數料徵收ノ件 明治三十七年四月 勅令第九十九號

朕私設保稅倉庫營業ノ特許等ニ關シ特許手數料ヲ徵收スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 私設保稅倉庫營業ノ特許又ハ常時使用ノ爲輸出入貨物ノ上屋若ハ陸揚船積ノ場所ヲ設ク

ルノ特許ヲ受ケタル者ハ毎月特許手數料ヲ納付スヘシ

特許手數料ノ額ハ主務大臣之ヲ定ム

第二條 特許手數料ハ毎月一箇月分ヲ特許ノ日附ニ應當スル日ニ於テ納付スヘシ但シ其ノ最初ノ

月ニ係ルモノハ特許ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘシ

前納セシ特許手數料ハ之ヲ還付セス但シ一時ニ二箇月分以上ノ特許手數料ヲ前納シタル場合ニ

於テハ未タ其ノ納付期限ニ至ラサルモノニ限り之ヲ還付ス

附則

本令ハ明治三十七年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前第一條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手數料ニ關シテハ本令施行ノ日ニ於テ特許ヲ受ケタ

第十六類 關稅定率法中改正 輸入物品從量稅目中改正 保稅倉庫法ニ依ル通路中改正 私設保稅倉庫營業ノ特許等ニ關シ特許手數料徵收ノ件

追加 (三七七)

二二二二ノ五四

ル者ト看做ス

●私設保税倉庫營業等ノ特許手数料

明治三十七年勅令第百九號ニ依ル特許手数料ノ金額左ノ通相定ム

特許手数料
税關監吏一人ノ派出ヲ必要ト認ムルモノ
金貳拾五圓
每一箇月

以上税關監吏ノ派出一人ヲ増ス毎ニ金貳拾五圓ヲ加フ

●非常特別税法

明治三十七年三月法律第三號
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル非常特別税法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

非常特別税法

第一條 臨時事件ニ因リ生シタル經費ヲ支辨スル爲本法ニ依リ地租、營業稅、所得稅、酒稅、砂糖消費稅、醬油稅、登錄稅、取引所稅、狩獵免許稅、鑛區稅及各種ノ輸入稅ヲ增徴シ毛織物及石油ニ消費稅ヲ課シ民事訴訟用印紙ヲ増貼セシム

第二條 地租、營業稅、所得稅、酒稅、砂糖消費稅、醬油稅、登錄稅、取引所稅、狩獵免許稅、鑛區稅及飲食物、衣服及附屬品、石油、砂糖、糖蜜、糖水、絹布類、酒類、煙草類ノ輸入稅ハ關係法規ノ定メタル稅額ノ外左ノ割合ノ稅額ヲ增徴ス

一 地租

市街宅地

地價百分ノ五、五

郡村宅地

地價百分ノ三、五

其ノ他ノ土地

地價百分ノ一、八

二 營業稅

營業稅法ニ依ル稅額十分ノ七

三 所得稅

所得稅法ニ依ル稅額十分ノ七

四 酒稅

酒造稅法ニ依ル酒類

第一種

一石ニ付金五十錢

第二種

一石ニ付金五十錢

第三種

一石ニ付酒精分一度毎ニ金二錢五厘

麥酒

一石ニ付金五十錢

酒精又ハ酒精含有飲料(原容量百分中純酒精ノ容量二十ヲ超ユルモノ)

一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇毎ニ金二錢五厘

沖繩縣酒類出港稅

沖繩縣酒類出港稅則第一條第一項ニ依リ課稅スヘキ酒類

同第二項ニ依リ課税スヘキ酒類

五 砂糖消費税

- 第一種
- 第二種
- 第三種
- 第四種

一石ニ付金五十錢
 一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量
 一箇毎ニ金二錢五厘
 百斤ニ付金一圓
 百斤ニ付金三圓
 百斤ニ付金三圓三十錢
 百斤ニ付金三圓七十錢

六 醬油税

醬油税則第二條本文ニ依ル場合

溜 醬油

諸味一石ニ付金五十錢
 製成一石ニ付金五十錢

醬油税則第二條但書ニ依ル場合

溜 醬油

諸味一石ニ付金二十五錢
 製成一石ニ付金二十五錢

七 登録税

不動産ニ關スル登記

法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格千分ノ三

法定ノ家督相續以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有

不動産價格千分ノ五

遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格千分ノ十

其ノ他ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格千分ノ三

從來保有セル所有權ノ保存

不動産價格千分ノ五

華族世襲財産ノ創設

船舶價格千分ノ二

船舶ニ關スル登記

船舶價格千分ノ五

法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ二

法定ノ家督相續以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有

船舶價格千分ノ五

遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ十

其ノ他ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ三

從來保有セル所有權ノ保存

船舶價格千分ノ五

登録税法第六條及第六條ノ二ニ依ル登録税

課税標準千分ノ一

課税標準ノ千分比例ヲ以テ税率ヲ定メタルモノ

一箇所毎ニ又ハ一件毎ニ税額ヲ定メタルモノ

税額金十圓ナルトキ	金五圓
税額金五圓ナルトキ	金二圓
税額金三圓ナルトキ	金二圓
税額金二圓ナルトキ	金一圓
税額金一圓ナルトキ	金五十錢
税額金五十錢ナルトキ	金二十錢
鑛業ニ關スル登録	金二十五圓
試掘	金五十圓
採掘	金十圓
試掘増區及増減區ニ係ル訂正	金二十五圓
採掘増區及増減區ニ係ル訂正	金二十五圓
買受、讓受	金二十五圓
八 取引所税	金二十五圓
商品、有價證券	萬分ノ三
國債及地方債證券	萬分ノ二
同	萬分ノ二
九 狩獵免許税	金十圓
一等	金十圓

二等	金五圓
三等	金一圓
十 鑛區税	鑛區一千坪毎ニ一箇年金十錢
十一 輸入税	關稅定率法附屬輸入稅表第二類ニ掲クル物品但シ糖菓類ヲ除ク
糖菓類	從價五分
甲 菓子	從價一割
乙・砂糖、糖蜜若ハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ	從價五分
關稅定率法附屬輸入稅表第三類中ニ掲クル物品ニシテ絹製及絹入ノモノ	從價二割
酒精(アルコール)	每リートル金三錢
各種變性アルコール	每リートル金三錢
各種酒精劑(阿片丁幾ヲ除ク)	每リートル金三錢
石油	從價二割
砂糖(和蘭標本色相第十五號未滿)	從價二割五分
糖蜜	從價二割

糖水	從價二割
支那縮緬	從價一割
支那絹紬	從價一割
支那絹繻子	從價一割
支那絹紋繻子	從價一割
絹綿繻子	從價一割
刺繡絹布及刺繡絹綿布	從價一割
其ノ他各種ノ絹布(純絹ト他物ヲ交ヘタルト別タス但シ絹ノ重量超過スルモノ)	從價一割
諸製造煙草	從價十割
支那酒(醸造シタルモノ)	從價二割
清酒	從價二割
各種ノ酒類ニシテ原容量百分中純酒精ノ容量五十以上ナルモノ	純酒精ノ容量一箇ヲ増ス毎二十「リートル」ニ付金五厘
第三條 毛織物及石油ニハ左ノ割合ニ依リ消費稅ヲ課ス	價格百分ノ十五
一 毛織物	

二 石油
 前項ニ於テ毛織物ト稱スルハ毛ノ分量ニ拘ラス總テ毛製、毛絹製又ハ毛綿製ノ織物ヲ謂フ

第四條 訴狀其ノ他民事訴訟ニ關スル申立又ハ申請ノ書面ニハ民事訴訟用印紙法ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外左ノ印紙ヲ増貼スヘシ

一 第一審ノ訴狀

財產權上ノ請求ニ係ルモノ	金五錢
訴訟物ノ價額金五圓マテ	金十錢
同	金二十錢
同	金三十錢
同	金五十錢
同	金三十錢
同	金五十錢
同	金二十圓
同	金三十圓
同	金五十圓
同	金二圓
同	金二圓
同	金二圓
同	金三圓
同	金三圓
同	金五圓

同	五千圓マテ	金五圓
同	五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ	金一圓
同	財産權上ノ請求ニ非サルモノ	金五十錢
二 控訴狀	第一審ノ訴狀ニ増貼スヘキ印紙金額ノ半額	
三 上告狀	第一審ノ訴狀ニ増貼スヘキ印紙金額ト同額	
四 支拂命令ノ申請	訴訟物ノ價額金十圓ヲ超過スル場合ニ依テハ民事訴訟用印紙法及本法ニ依リ第一審ノ訴狀ニ貼用スヘキ印紙金額ノ半額ト金二十錢トノ差額	
五 其ノ他ノ申立又ハ申請	期日ノ變更、辯論ノ延期又ハ辯論期日ノ指定ノ申立 中斷又ハ中止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立 從參加ノ申請	

忌避ノ申請		
和解ノ申立		
費用額確定ノ申請		
假執行ノ宣言ヲ求ムル申立		金二十錢
強制執行ノ停止又ハ續行若ハ執行處分ノ取消ノ申立		
配當要求		
家資分散ノ申立又ハ家資分散者ノ復權ノ申立		
強制競賣又ハ強制管理ノ申立		
債權又ハ他ノ財産權差押ノ申請		
民事訴訟法第七百三十二條乃至第七百三十四條ノ申立		
證據調ノ申立		
判決ノ送達ヲ求ムル申立		
執行力アル正本ヲ求ムル申立		
但シ此ノ正本數通ヲ求ムルトキハ每一通ニ付		金五十錢
假差押又ハ假處分ノ申請		
抗告		
故障		

答辯書其ノ他特ニ掲ケサル申立又ハ申請

金五錢

左ニ掲クル申立又ハ申請ノ書面ニハ民事訴訟用印紙法ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外金八十錢ノ印紙ヲ増貼スヘシ

一 裁判上代位ノ申請

二 競賣法ニ依ル競賣ノ申立

三 裁判上ノ代位、競賣法ニ依ル競賣又ハ不動産登記ニ關スル抗告

訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額金二十圓以下ナルトキハ第一項第五號ノ規定ヲ適用セス

本條第一項ノ規定ハ再審ヲ求ムルノ訴狀及原狀回復ノ申立ニ之ヲ準用ス

第五條 商事非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ノ書面ニハ商事非訟事件印紙法ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外左ノ印紙ヲ増貼スヘシ

一 左ニ掲クル申立

抗告

債權者ヨリ爲ス破産宣告ノ申立

支拂猶豫ノ申立

二 其ノ他ノ申立又ハ申請

金五十錢

金五錢

金十錢

金十錢

破産手續ニ付テハ商事非訟事件印紙法第四條ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外左ノ印紙ヲ増貼スヘシ
財團ノ價格金五圓マテ

同 十圓マテ

金二十錢

同 二十圓マテ

金四十錢

同 五十圓マテ

金六十錢

同 七十五圓マテ

金六十錢

同 百圓マテ

金一圓

同 二百五十圓マテ

金一圓

同 五百圓マテ

金四圓

同 七百五十圓マテ

金四圓

同 千圓マテ

金六圓

同 二千五百圓マテ

金十圓

同 五千圓マテ

金十圓

同 五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ

金二圓

前項ノ規定ハ商事非訟事件印紙法第六條及第七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

商事非訟事件印紙法第五條ノ規定ハ本條第二項ノ規定ニ依リ印紙ヲ増貼スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 左ニ掲クルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ消費稅ヲ免除ス

一 外國ニ輸出スル毛織物又ハ石油

二 製造者ノ自用ニ供スル毛織物又ハ石油

第七條 毛織物又ハ石油ノ消費税ハ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ毛織物又ハ石油ヲ引取ル時引取人ヨリ之ヲ徴收ス

第八條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毛織物及石油消費税ノ徴收ヲ猶豫スルコトヲ得

第九條 製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ毛織物ヲ引取ル者ハ引取ノ際其ノ價格ヲ政府ニ申告スヘシ前項ノ申告ヲ爲サス又ハ政府ニ於テ其申告シタル價格ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ毛織物ノ價格ヲ評定ス

毛織物引取人前項ノ評定價格ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ申立アリタルトキハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ係ル價格ト第二項ノ評定價格トノ差カ第二項ノ評定價格ト前項ノ決定價格トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

第十條 第六條又ハ第八條ニ該當スル場合ノ外消費税納付前ニ於テハ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ毛織物又ハ石油ヲ引取ルコトヲ得ス

第十一條 毛織物又ハ石油製造者ハ第六條又ハ第八條ニ該當スル場合ノ外消費税納付前ニ於テ毛織物又ハ石油ヲ他ニ引渡シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第十二條 自用ニ供スルモノヲ除ク外毛織物又ハ石油ヲ製造セムトスル者ハ政府ニ申告スヘシ

第十三條 毛織物又ハ石油製造者ハ其ノ製造場ニ於テ毛織物又ハ石油ノ賣買業ヲ兼營スルコトヲ得ス

第十四條 毛織物又ハ石油ノ製造者及販賣者ハ帳簿ヲ備ヘ毛織物又ハ石油ノ製造出入ヲ詳細明瞭ニ記

載スヘシ

第十五條 收税官吏ハ毛織物又ハ石油ノ製造場又ハ販賣場ニ立入り毛織物又ハ石油、其ノ原料、器具、器械、建築物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得

收税官吏ハ監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十六條 收税官吏ハ運搬中ニ在ル毛織物又ハ石油ヲ検査シ其ノ出所及到著先ヲ質問スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ監督上必要ト認メタルトキハ收税官吏ハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ消費税五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其ノ税金ヲ徴收ス但シ罰金額ハ十圓ヲ下ルコトヲ得ス

一 自用ニ供スル場合ノ外政府ニ申告セシテ毛織物又ハ石油ヲ製造シタルトキ

二 擔保物ヲ提供セシテ消費税ノ徴收ヲ猶豫セラレタル場合ニ於テ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ引取リ又ハ移出シタル毛織物又ハ石油ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ

三 第十條又ハ第十一條ノ禁令ヲ犯シタルトキ

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 毛織物又ハ石油ノ製造者又ハ販賣者毛織物又ハ石油ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキ

二 收税官吏其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ其ノ執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ

加ヘタルトキ但シ刑法ニ正條アル場合ハ刑法ニ依ル

第十九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用非ス

第二十條 毛織物又ハ石油ノ製造者、販賣者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 毛織物又ハ石油ノ製造者又ハ販賣者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第二十二條 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以内ノ地租附加税又ハ段別割ヲ課スルノ外土地ニ對シテ課税スルコトヲ得ス

一 北海道、府縣、北海道ノ區、一級町村及二級町村、沖繩縣ノ區及間切島

附加税ノミヲ課スルトキ

地租 十分ノ五

段別割ノミヲ課スルトキ

一段歩ニ付平均金四十錢

附加税段別割ヲ併課スル場合ニ於テ段別割ノ總額ハ總段別地租額ノ十分ノ五ト附加税總額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

二 其ノ他ノ公共團體

附加税ノミヲ課スルトキ

地租 十分ノ三

段別割ノミヲ課スルトキ

一段歩ニ付平均金四十錢

附加税及段別割ヲ併課スル場合ニ於テ段別割ノ總額ハ總段別地租額ノ十分ノ三ト附加税總額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

北海道府縣以外ノ公共團體ハ營業税又ハ所得税百分ノ三十ヲ超過スル附加税ヲ課スルコトヲ得ス

第二條ニ依ル地租、營業税及所得税ノ増徴額ニ對シテハ附加税ヲ課スルコトヲ得ス
府縣費ヲ市町村ニ分賦シタル場合ニ於テハ其ノ金額以内ニ限り市町村ハ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ第一項又ハ第二項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別割ヲ課シ若ハ附加税及段別割ヲ併課スルコトヲ得

明治三十六年度以前ニ起シタル負債ノ元金償還及利子仕拂ノ爲若ハ非常ノ災害ニ因リ復舊工事ノ爲費用ヲ要シ又ハ其ノ費用ノ分賦ヲ受ケタル場合ニ於テ特ニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ第一項又ハ第二項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別割ヲ課シ若ハ附加税及段別割ヲ併課スルコトヲ得

北海道ノ宅地及海産干場ニ付テハ特ニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受クルトキハ第一項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別割ヲ課シ若ハ附加税及段別割ヲ併課スルコトヲ得
水利ノ爲ニ費用ヲ要スル場合ニ於テ特ニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ第一項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別割ヲ課シ若ハ附加税及段別割ヲ併課スルコトヲ得

第一項及第二項ノ制限ハ特ニ賦課率ヲ定メタル特別法令ノ適用ヲ妨ケス
附則

第二十三條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ輸入税ニ關シテハ本法發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

地租、營業税、所得稅ニ關シテハ明治三十七年分ヨリ本法ヲ適用ス

第二十二條ノ課稅制限ハ明治三十七年度ヨリ之ヲ適用ス

北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ稅目又ハ稅率ニシテ本法ノ規定ニ牴觸スルモノハ其ノ牴觸ノ部分ニ限リ其ノ効力ヲ失フ

第二十四條 自用ニ供スルモノヲ除ク外本法施行前ヨリ毛織物又ハ石油ヲ製造シ本法施行後引續キ之ヲ製造セムトスル者ハ本法施行後一箇月以内ニ本法ニ依リ政府ニ申告スヘシ
前項ノ期間内ハ從前ノ製造ヲ繼續スルコトヲ得

第二十五條 第一種砂糖、糖蜜及石油ニ付テハ本法施行後六箇月ヲ經過シタルトキハ本法ニ依ル消費稅ヲ課セス

第二種砂糖ニ付テハ本法施行後六箇月ヲ經過シタルトキハ第二條第五號ヲ適用セス百斤ニ付金二圓三十錢ノ消費稅ヲ増徴ス

第二十六條 本法施行後保稅倉庫ニ庫入シタル砂糖ニシテ和蘭標本色相第十五號未滿ノモノ及糖蜜ニ付テハ庫出ノ日ニ於テ行ハルル輸入稅率ヲ適用ス

第二十七條 平和克復ニ至リタルトキハ其ノ翌年末日限本法ヲ廢止ス

●非常特別稅法施行規則 明治三十七年三月 勅令第八十五號

朕非常特別稅法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

非常特別稅法施行規則

第一條 本令ニ於テ製造者又ハ製造セムトスル者ト稱スルハ自用ニ供スルモノノミヲ製造シ又ハ製造セムトスル者ヲ包含セス

第二條 毛織物又ハ石油ヲ製造セムトスル者ハ製造場及製造スヘキ種類ヲ定メ其ノ製造場所轄稅務署ニ申告スヘシ

第三條 所轄稅務署ニ於テ必要ト認メ毛織物又ハ石油製造場ノ圖面若ハ製造用ノ器具、器械ノ目錄ヲ提出スヘキコトヲ命シタルトキハ毛織物又ハ石油製造者ハ之ヲ提出スヘシ

第四條 毛織物又ハ石油製造者製造場ヲ移轉セムトスルトキハ移轉先ノ製造場ヲ定メ其ノ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第五條 毛織物又ハ石油製造者ニシテ期間ヲ定メテ製造ヲ爲ストキハ製造ニ著手スル毎ニ著手及終了ノ時期ヲ豫メ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第六條 第二條若ハ第五條ニ依リ申告シタル事項又ハ第三條ニ依リ提出シタル圖面若ハ目錄ニ記載シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第七條 毛織物又ハ石油製造業ヲ相續シタルトキハ相續人ヨリ其ノ旨所轄稅務署ニ申告スヘシ

第八條 毛織物又ハ石油製造業ヲ讓渡サムトスルトキハ讓受人ト連署シ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第九條 外國ニ輸出スル毛織物又ハ石油ニ付消費稅ノ免除ヲ得ムトスル者ハ運搬線路及運搬先又ハ輸出港ヲ定メ所轄稅務署ノ承認ヲ受クヘシ

所轄稅務署ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項ノ物品ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ護送シ若ハ消費稅ニ相當スル擔保物ヲ提供セシムルコトアルヘシ

消費稅ノ免除ヲ得タル毛織物又ハ石油ヲ外國ニ輸出シタルトキハ輸出免狀又ハ之ニ代ルヘキ書類ヲ製造場所轄稅務署ニ提出スヘシ

製造場、稅關又ハ保税倉庫ヨリ毛織物又ハ石油ヲ引取リタル三箇月以内ニ前項ニ依リ輸出免除又ハ之ニ代ルヘキ書類ヲ提出セサルトキハ外國ニ輸出セラレサリシモノト看做シ引取者ヨリ直ニ消費稅ヲ徵收ス

第十條 製造者ニシテ其ノ自用ニ供スル毛織物又ハ石油ニ付消費稅ノ免除ヲ得ムトスルモノハ製造場外ニ移出セムトスルトキ所轄稅務署ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 左ノ場合ニ於テハ毛織物又ハ石油消費稅ノ徵收ヲ猶豫ス

- 一 消費稅額以上ノ價額アル擔保物ヲ提供シタルトキ
- 二 他ノ製造場又ハ藏置場ニ移入スルカ爲製造場ヨリ毛織物又ハ石油ヲ移出スルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ猶豫期間ハ三箇月以内トス

第一項第二號ノ場合ニ於テ藏置場ヨリ毛織物又ハ石油ヲ引取ルトキハ製造場ヨリ之ヲ引取ルモノト看做ス

第九條第一項及第二項ノ規定ハ本條第一項第二號ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 製造場ヨリ毛織物又ハ石油ヲ引取ラムトスル者ハ其ノ旨製造場所轄稅務署ニ申告スヘシ毛織物ニ付テハ其ノ價格ヲ併セ申告スヘシ

第十三條 金庫所在地以外ニ限り收稅官吏ハ自ラ消費稅金ノ領收ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ收稅官吏ハ口頭ヲ以テ納稅告知ヲ爲スコトヲ得

第十四條 本令ニ依リ提供スヘキ擔保物ノ種類ハ金錢及所轄稅務署ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル 擔保物ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ所轄稅務署ニ提出スヘシ

第十五條 擔保トシテ提供シタル有價證券ノ價格減少シタルトキハ所轄稅務署ハ更ニ相當ノ擔保物ノ提供ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ擔保物ノ提供ヲ命セラレタル者之ヲ提供セサルトキハ稅務署ハ直ニ消費稅ヲ徵收ス

第十六條 擔保物ヲ提供シタル場合ニ於テ消費稅納付濟ニ至リタルトキ又ハ消費稅免除ノ確定シタルトキハ所轄稅務署ハ返付ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 消費稅ヲ徵收スヘキ場合ニ於テ擔保物アルトキハ擔保物ヲ以テ稅金ニ充ツ

擔保物ヲ以テ稅金ニ充ツヘキ場合ニ於テハ有價證券ハ之ヲ公賣ニ付シ消費稅及公賣ノ費用ニ充ツ

前二項ノ場合ニ於テ不足アルトキハ之ヲ追徴シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

第十八條 毛織物又ハ石油製造者ハ少クトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

- 一 原料ノ種類、數量、他ヨリ引取リタル者ニ在リテハ引取ノ日及其ノ引渡人ノ住所、氏名又ハ名稱
- 二 使用シタル原料ノ種類、數量及其ノ使用ノ日
- 三 製造シタル種類、數量及其ノ製造ノ日
- 四 他ニ引渡シタル種類、數量、價額、引渡ノ日及其ノ引取人ノ住所、氏名又ハ名稱

第十九條 毛織物又ハ石油販賣者ハ少クトモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

- 一 引取リタル種類、數量、價額、引取ノ日及其ノ引渡人ノ住所、氏名又ハ名稱
- 二 販賣シタル種類、數量、價額、販賣ノ日及其ノ買受人ノ住所、氏名又ハ名稱

小賣人ノ場合ニ於テハ前項第二號買受人ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ記載スルコトヲ要セス

第二十條 本令ニ依リ所轄稅務署ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受ケタルトキハ稅務署ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受ケタル張シタル收稅官吏ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受ケタルトキハ稅務署ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十一條 收稅官吏ハ毛織物又ハ石油ノ製造者又ハ販賣者ノ營業ニ關シ職務上知得シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

第二十二條 本令中稅務署ニ屬スル事務ハ稅關又ハ保稅倉庫ヨリ引取ラルル毛織物又ハ石油ニ關シテハ稅關之ヲ行フ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法第二十四條ニ依リ政府ニ申告スヘキ場合ニ於テハ第二條ニ準シテ所轄稅務署ニ申告スヘシ

●非常特別稅法ニ依リ輸入稅ヲ増徴スヘキ物品ノ從量稅目 明治三十七年三月 勅令第九十號

朕非常特別稅法ニ依リ輸入稅ヲ増徴スヘキ物品ノ從量稅目ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

非常特別稅法第二條ニ依リ輸入稅ヲ増徴スヘキ物品ニ付關稅定率法第三條ニ依リ從量稅目左ノ通定ム

乾麵包	每斤	〇・一四
甲 船用ノモノ	每斤	〇・一九
乙 菓子製ノモノ	每斤	〇・三七
乳油	每斤	〇・二二
乾酪	每斤	〇・一三
咖啡(種子)	每斤	〇・七五
生卵	每百斤	〇・二四
麥粉	每百斤	〇・二四
火腿及ペーコン	每斤	〇・二四

上卷二五八
四丁參看

上卷二五八
四丁參看

上卷二五九
一丁參看

上卷二五九
一丁參看

● 間接國稅犯則者處分法施行規則中改正明治三十七年三月勅令第九十二號
● 間接國稅犯則者處分法施行規則中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ二號ヲ加フ

第一十條 毛織物消費稅

第十一條 石油消費稅

● 附則 勅令第九十二號ノ施行ス

● 關稅通關手續通關後中五

● 工業試驗所ニ於テ行フ分析試驗及鑑定ニ關スル手数料中改正明治三十六年十二月勅令第二百四號

明治三十六年勅令第十四號中左ノ通改正ス

第五條 工業試驗所ニ分析、試驗又ハ鑑定ノ依頼ヲ爲ス者ニシテ分析、試驗又ハ鑑定ノ報告書ノ複本ヲ

請求スルトキハ紙數一枚ニ付金十錢、其ノ外國語ニ依ルモノニ付テハ一件ニ付金二十錢以上金五圓

以下ノ手数料ヲ納ムヘシ

前項ノ手数料ニ付テハ第一條第二項及第四條ノ規定ヲ準用ス

第六條 手数料ノ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

終